

XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

本章は「茨城大学研究者情報総覧」に入力されたデータをもとに作成された。一人の教員を一つのデータシートとしてまとめている。なお、データは平成 26 年 3 月 31 日現在のものである。

1 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 橋浦 洋志
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949 年 11 月
学歴・職歴	東北大学文学研究科修士課程修了(1976 年)
学位	修士(文学)[東北大学]
受賞歴	平成 13 年度茨城大学推奨授業表彰学長賞(2001 年), 第8回日本詩人クラブ新人賞(1998)(日本詩人クラブ)(1998 年 03 月), 茨城文学賞(詩部門)(茨城県芸術祭実行委員会)(1988 年 03 月)
所属学会	日本現代詩研究者国際ネットワーク, 日本文芸研究会, 日本近代文学会
専門分野	日本近代文学
教育研究概要	近代日本文学研究 特に「北村透谷」「夏目漱石」「芥川龍之介」を中心に、方法の問題と詩精神との関わりについて考察すると同時に、近現代詩についての批評活動を行う。 (キーワード)小説及び詩の方法の問題を作品構造の分析を中心に考察する。
担当科目	(教養科目)ことばの力実践演習[コミュニケーション論] (専門科目)教職のためのパブリックスピーキング, 初等国語科内容研究, 近・現代散文研究 I, 近・現代韻文演習 I, 保育内容の研究(言葉), 教育における平和学, 現代文化批評, 初等国語科内容研究, 国文学史, 近・現代散文研究 II, 近・現代韻文演習 II, 卒業研究 (大学院科目)言語文化総合研究, 地域教育資源フィールドスタディ/教科コラボレートケーススタディ, 近代文学特論, 授業展開ケーススタディ, 研究と教育—知の往還をめぐる—, 国語教育授業設計, 現代文学研究 II, 特別課題研究, 研究と教育—知の往還をめぐる—

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「夏目漱石『三四郎』の方法—語り手の位相と〈迷羊〉の物語—」, 茨城大学教育学部紀要(人文、社会科学・芸術), , 63, 2014.

橋浦洋志「学校で詩を読むということ」, 茨城の国語教育, , 第十三号, 1-9, 2013.

社会的活動、地域貢献など

茨城詩壇選評(『茨城新聞』毎月隔週)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 川嶋 秀之
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955 年 11 月
学歴・職歴	東京都立大学人文科学研究科博士課程(1987 年)
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	古事記学会, 日本方言研究会, 国語学会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 日本語の世界[人間とコミュニケーション] (専門科目) 国語学概論, 国語学演習 II, 国語学演習 I, 言語と文化の諸相, 郷土の言葉, 保育内容の研究(言葉), 国語表現法, 卒業研究 (大学院科目) 言語文化総合研究, 古典語特論, 国語教育授業設計, 現代語演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「草野心平「春のうた」の解釈と授業実践」, 茨城大学教育実践センター紀要, , 32, 1-14, 2013.
 「「ごんぎつね」言語表現拾遺一兵十を中心に読む」, 茨城の国語教育, , 13, 48-57, 2013.

研究業績(2) 学会発表など

<基調講演> ひたちなか市市民大学(開講式基調講演)(2013 年 06 月)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 増子 和男
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年10月
学歴・職歴	<p>早稲田大学文学研究科博士前期課程修了(1978年03月)</p> <p>茨城大学教育学部附属特別支援学校校長併任(2012年04月～)</p> <p>早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科)非常勤講師兼任(2011年04月～)</p> <p>茨城大学 教育学部教授(2008年04月～)</p> <p>早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989年04月～1991年03月)</p> <p>鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990年04月～1991年03月)</p> <p>梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991年04月～1995年03月)</p> <p>九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994年04月～1999年03月)</p> <p>梅光女学院大学 文学部 助教授(1995年04月～2001年03月)</p> <p>梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001年04月～2002年03月)</p> <p>梅光学院大学 文学部教授(2001年04月～2008年03月)</p> <p>東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002年04月～2004年03月)</p> <p>梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002年04月～2008年03月)</p> <p>山口大学 非常勤講師兼任(2007年04月～2008年03月)</p> <p>台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008年02月～2008年02月)</p> <p>早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任(2011年04月～2014年03月)</p>
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本中国学会, 全国漢文教育学会, 和漢比較文学学会, 中唐文学学会, 早稲田大学中国文学学会, 中国詩文研究会, 中国古典学会, 日本詩経学会, 日本聞一多学会, 早稲田大学国文学会
専門分野	各国文学・文学論
教育研究概要	<p>唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。</p> <p>文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。</p> <p>また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。</p>
	(キーワード)六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較

担当科目	(教養科目)日中比較妖怪学入門[人間と文学・芸術] (専門科目)漢文学基礎, 漢文学研究法 I, 漢文学研究法 II, 漢文学概論, 漢文学演習 I, 卒業研究 (大学院科目)言語文化総合研究, 漢文学特論, 漢文学研究, 国語教育授業設計
------	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

増子 和男「芥川龍之介「杜子春」と唐代伝奇「杜子春伝」とのあいだ—唐代伝奇「杜子春伝」の出典と編者を中心として—, 和漢比較文学, , 52, 35-47, 2014.

増子 和男「姑獲鳥とウブメのあいだ—凶鳥・産死者・産鬼伝説の系譜—», 中国詩文論叢, , 32, 176-178, 2013.

研究業績(2)学会発表など

<招待講演> 台湾輔仁大学外国語学院大学院日本語日本文学系(特別講演 題目「姑獲鳥と産女のあいだ」

標記大学院所属の教員・大学院生に対する特別講演を行った。)(2014年03月)

<基調講演> 和漢比較文学学会第32回大会(公開シンポジウム「日本近代文学と中国」をテーマとした中で、「芥川竜之介『杜子春』と唐代伝奇『杜子春伝』とのあいだ—中国文学の角度からの確認事項いくつか」というタイトルで基調講演を行い、次いで他の2名の講演者とディスカッションを行った。)(2013年09月)

社会的活動、地域貢献など

日本詩経学会 理事(2002年04月～)

[非常勤講師]早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科)[非常勤講師](2011年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

台湾 台北、新北・国立政治大学、国立政治大学図書館、輔仁大学図書館[研究打合せ、資料収集](2013年9月:5日間)

台湾 台北、新北・国立政治大学、輔仁大学、台北市内史跡ほか[ゼミ研修旅行引率](2014年3月:3日間)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 鈴木 一史
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1967年7月
学歴・職歴	筑波大学教育研究科修士課程修了(1996年03月) 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000年04月～2012年03月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002年04月～2004年03月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005年04月～2012年03月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007年04月～2012年03月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会, 日本読書学会, 人文科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)国語科教育法 授業プログラム 語彙教育 コーパス 作文教育 作文 コーパス 教科書分析 作文語彙
担当科目	(教養科目) (専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法研究, 初等国語科内容研究, 国語科教育法演習 II, 初等国語科教育法研究, 初等国語科内容研究, 保育内容の研究(人間関係), 国語科教育法特講 I, 卒業研究 (大学院科目)言語文化総合研究, 国語科教育特論 I, 国語科教育演習 I, 国語教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

鈴木一史「習得型アプリ活用を考えた単元学習のヒント」, 教育科学 国語教育, 56, 1, 31-33, 2014.
鈴木一史・内川美佳「意見文作成における語彙および文型提示の教育的効果」, 茨城大学教育実践研究 第32号, , 32, 17-31, 2013.
「国語教材とどう向き合うか ―「やまなし」(宮沢賢治)を例に」, 茨城の国語教育, , 13, 23-37, 2013.
「学習内容の理解から学習方略の理解へ」, 教育科学 国語教育, 55, 10, 103, 2013.
鈴木一史「作文に含まれる「他教科」」, 実践国語教育研究318号, 7, 15-16, 2013.

研究業績(2)学会発表など

鈴木一史,「ことば同士の関係性 ～collocation in corpus～」(日本国語教育学会 茨城支部地区研究会・2014 年 02 月)

鈴木一史,「意見文作成における語彙および文型提示による学習者の意識変化」(全国大学国語教育学会 125 回 広島大会・2013 年 10 月)

鈴木一史,「語彙を豊かにする授業づくり ～コーパスを使った国語教育の可能性～」(第 75 回 国語教育全国大会教育学会・2013 年 08 月)

鈴木一史,「文章作成能力と語彙分析 ～学年発達による語彙変化と文章特性～」(全国大学国語教育学会 124 回 弘前大会・2013 年 05 月)

<その他> 茨城大学附属中学校教育研究協議会 公開授業研究会(事前指導・共同研究)(2013 年 11 月)

<パネリスト> 第 33 回 茨城国語教育学会研究会(シンポジスト)(2013 年 11 月)

<司会・議長・コンビーナ・コーディネータ> 第 45 回 解釈学会全国大会(司会)(2013 年 08 月)

<司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営> 第 76 回 国語教育全国大会(校種別分科会指定討論者兼司会)(2013 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

日本国語教育学会 高等学校部会副部会長(2010 年 04 月～)

解釈学会 常任委員・編集委員(2009 年 01 月～)

日本国語教育学会 全国大会企画委員(2008 年 04 月～)

日本国語教育学会 センター試験問題検討委員(2005 年 04 月～)

日本国語教育学会 センター試験問題検討委員会・現代文分野責任者(2012 年 04 月～)

[出前授業]ワールド・カフェをしよう, 水戸第三高等学校(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]ICT を活用した「語彙を豊かにする授業づくり」～コーパスを使った国語教育の可能性, 鳥取県教育センター(2013 年度実施)

筑波大学 (2013 年 04 月～2015 年 03 月)

[非常勤講師]筑波大学(2013 年 04 月～2015 年 03 月)

[兼業]教員免許状更新講習(2012 年 04 月～2015 年 03 月)

科学研究費補助金などの受領

「教科書コーパスと作文コーパスとのリレーション解析による言語教育の影響と授業開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2013 年 04 月～2015 年 03 月)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 池谷 文夫
-------------------	----------

教員履歴など

現職	特任教授
生年月	1948年4月
学歴・職歴	<p>東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学(1977年03月)</p> <p>茨城大学特任教授教育学部(2014年04月～)</p> <p>茨城大学講師教育学部(1977年04月～1982年06月)</p> <p>茨城大学助教授教育学部(1982年07月～1993年03月)</p> <p>茨城大学教授教育学部(1993年04月～2014年03月)</p> <p>茨城大学評議員(2002年04月～2002年08月)</p> <p>茨城大学副学長(教育)(2002年09月～2004年03月)</p> <p>茨城大学理事・副学長(教育)(2004年04月～2004年08月)</p> <p>茨城大学学長特別補佐(入学戦略担当)(2005年04月～2006年03月)</p> <p>茨城大学入学センター長(2006年05月～2008年04月)</p>
学位	博士(文学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	史学会, 日本西洋史学会, 歴史学研究会, 西洋史研究会, 早稲田大学史学会, 西洋中世学会
専門分野	西洋史, ドイツ中世史
教育研究概要	<p>中世ドイツ帝国史研究</p> <p>ドイツ中世後期を中心とする政治史・政治思想史の研究。</p> <p>中世皇帝権・ドイツ帝権・ドイツ王権, 帝国・ドイツ王国等のキーワードに即した理念と現実の交錯の解明。</p> <p>(キーワード) 中世ドイツ, 政治史, 国制史, 政治思想史, 帝権論, 神聖ローマ帝国史</p>
担当科目	<p>(教養科目) ヨーロッパの歴史と社会～昔も今も～[人間と歴史]</p> <p>(専門科目) ヨーロッパ歴史文化論 I/西洋史特講 I, 西洋史概説 I, 言語と文化の諸相, 初等社会科内容研究, ヨーロッパ歴史文化論 II, ヨーロッパの歴史と文化, 西洋史概説 II, 西洋史演習 I, 卒業研究</p> <p>(大学院科目) 西欧史特論, 社会・文化総合研究, 西欧史演習</p>

社会的活動、地域貢献など

[自治体での社会教育]「世界の歩き方講座～ドイツ編～」, 水戸市国際交流協会(2013年度実施)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 木村 勝彦
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程(1991年)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会, 日本教育方法学会, 全国社会科教育学会, 日本社会科教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、初期社会科の研究、社会科授業論に関する研究 社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会科的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究 (キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(教養科目)社会科における学びを考える[主題別ゼミナール] (専門科目)初等社会科教育法研究, 生活科内容研究, 初等社会科教育法研究, 公民科教育法研究 I, 社会科教育学入門, 社会科教育法演習 I, 卒業研究 (大学院科目)社会科教育特論 I, 社会科教育演習 I, 社会科授業設計

社会的活動、地域貢献など

日本社会科教育学会 評議員(2005年04月～) 日本公民教育学会 常任理事(2002年04月～) [非常勤講師]白鷗大学法学部[講師](2005年04月～) [その他]茨城県教育研修センター[講師](2004年07月～)
--

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 村山 朝子
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年7月
学歴・職歴	奈良女子大学文学研究科修士課程修了(1984年03月) お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984年04月～1990年03月) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992年12月～2004年03月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993年04月～2004年03月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998年04月～2005年03月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004年04月～2009年09月) 茨城大学教育学部教授(2009年10月～)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	人文地理学会賞(人文地理学会)(2007年11月17日)
所属学会	日本社会科教育学会, 日本地理教育学会, 日本地理学会, 人文地理学会, 茨城地理学会
専門分野	教科教育学 地理学 人文地理学
教育研究概要	地理教育を中心に、社会科教育のあり方、カリキュラム、内容、教材をどうするか、ということが現在の研究課題です。具体的には、地理教育の歴史的変遷や諸外国の動向、教材としての教科書研究、世界地誌教材開発などに取り組んでいます。地理教育研究、地誌教材の対象としてスウェーデンに注目しています。なお中学校社会科地理的分野の教科書作成にも長年関わっています。授業は中等社会科の指導法の科目を主に担当しています。 (キーワード)社会科教育 地理教育 教科書 教材 カリキュラム スウェーデン
担当科目	(専門科目)中等社会科教育法研究, 社会科教科論, 社会科教育学入門, 社会科教育法特講 II, 社会科教育法演習 II, 卒業研究 (大学院科目)社会科教育特論 II, 社会科授業設計, 社会科教育演習 II

研究業績(2)学会発表など

<p><招待講演> 全国幼児教育研究協会茨城支部講演会(「読本『ニルスのふしぎな旅』の世界」と題する招待講演を行った。)(2013年05月)</p> <p><司会・議長・コンピナー・コーディネータ, 企画・運営> 日本社会科教育学会春季研究集会「エネルギーと社会～社会科教育実践を考える」(学会研究推進委員会として春季研究集会の企画・運営にあたり、当日は司会を務めた。)(2013年05月)</p>

社会的活動、地域貢献など

日本地理教育学会 編集委員(2013 年 04 月～)

日本地理教育学会 評議員(2010 年 04 月～)

日本社会科教育学会 評議員(2010 年 04 月～2014 年 03 月)

日本社会科教育学会 幹事(2006 年 04 月～2014 年 03 月)

国土地理院関東地方測量部 茨城県教育庁 社団法人日本測量協会関東支部支部 いばらき児童生徒地図研究会・会長(2011 年 05 月～)

平成 25 年度茨城大学戦略的地域連携プロジェクト「生生と子どもで作る防災マップ」支援事業・代表者
小中学校での防災活動の一環として防災マップ作成を支援し、調査活動を実施し、その内容を WEB
マップ化するとともに、その活用について検討した。[日立市立田尻小学校][鉾田市立大洋中学校]

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 中野 雅紀
-------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	中央大学法学研究科博士課程後期課程(1996 年)
学位	法学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本比較法研究所, 憲法裁判研究会, ドイツ憲法判例研究会, 憲法理論研究会, 日本公法学会, 法文化学会, 日本法哲学会, 日本法制史学会, 日本法政学会, 比較憲法学会, 史学会, DAS 研究会,
専門分野	日本国憲法
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)現代人権論[日本国憲法], 現代人権論[日本国憲法], 現代人権論[日本国憲法]/日本国憲法, 情報と倫理 (専門科目)法と社会, 日本国憲法, 法学概論, 憲法と社会生活, 法学演習, 情報社会と情報倫理 (大学院)憲法特論, 憲法演習 (公開講座・生涯学習)日本国憲法, 法学概論, 法学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>「[討議内容]公法学会第二部会 石川健治会員報告について 中野雅紀会員(茨城大学)と石川健治会員(東京大学)の質疑」, 公法研究, 75, 230, 2013.</p> <p>「[討議内容]公法学会第一部会 齊藤笑美子会員報告について 中野雅紀会員(茨城大学)と齊藤会員(茨城大学)の質疑」, 公法研究, 75, 163, 2013.</p> <p>「[討議内容]公法学会第一部会 土井真一会員報告について 中野雅紀会員(茨城大学)と土井会員(京都大学)の質疑」, 公法研究, 75, 154, 2013.</p> <p>「選挙権と学生の住所—茨城大学星嶺寮事件」, 憲法判例インデックス, 304-305, 2014.</p> <p>「選挙権・被選挙権の本質と選挙の公正—選挙犯罪処罰者選挙・被選挙権停止違憲事件」, 憲法判例インデックス, 302-303, 2014.</p> <p>「学習指導要領の拘束力と教育の自由—伝習館高校事件」, 憲法判例インデックス, 208-209, 2014.</p> <p>「教育を受ける権利と教育権—旭川学力テスト事件」, 憲法判例インデックス, 206-207, 2014.</p> <p>「教育を受ける権利と義務教育の無償性の意義—教科書費国庫負担請求訴訟」, 憲法判例インデック</p>

ス,204-205, 2014.

「家永訴訟」, 憲法判例インデックス, 200-203, 2014.

「学問の自由と大学の自治—東大ポポロ事件」, 憲法判例インデックス, 198-199, 2014.

「国歌起立斉唱命令と教師の思想・良心の自由」, 憲法判例インデックス, 98-99, 2014.

「君が代」ピアノ伴奏命令と教師の思想・良心の自由—「君が代」ピアノ伴奏拒否事件」, 憲法判例インデックス, 96-97, 2014.

「内申書の記載内容と生徒の思想・信条の自由—麴町中学内申書事件」, 憲法判例インデックス, 94-95, 2014.

「良心の自由と謝罪広告—謝罪広告強制事件」, 憲法判例インデックス, 92-93, 2014.

「定住外国人参政権訴訟(最判平成 7.2.28 民集 49 卷 2 号 639 頁)」, 新・スタンダード憲法〔第四版〕, 333, 2013.

「〔判例セレクト〕森林法事件(最(大)判昭和 62.4.22 民集 41 卷 3 号 408 頁)」, 新・スタンダード憲法〔第四版〕, , 326, 2013.

「〔判例セレクト〕前科照会事件(昭和 56.4.14 民集 35 卷 3 号 620 頁)」, 新・スタンダード憲法〔第四版〕, 320, 2013.

「憲法秩序」, 新・スタンダード憲法〔第四版〕, 271-280, 2013.

「憲法判例インデックス」, 商事法務,
92-93,94-95,96-97,98-99,198-199,200-230,204-205,206,207,206-207,208-209,302-303,305-306,
2014.

「新・スタンダード憲法〔第四版〕」, 尚学社, 271-280,320,326,333, 2013.

研究業績(2) 学会発表など

林康文(立正大学)、黒田信明(東京大学)、浅妻章如(立教大学)、中野雅紀(茨城大学)、山内進(一橋大学), 「パネルディスカッション「貨幣・通貨とは何か」」(法文化学会第 16 回研究大会・2013 年 11 月)
 , 「ジャン・ボーダンの国家の貨幣鑄造権といわゆる“プレコミットメント”理論について」(法文化学会第 16 回研究大会報告・2013 年 11 月)
 , 「公法学会第二部会 棟居快行会員報告(国立国会図書館)について」(公法学会・2013 年 10 月)
 , 「公法学会第一部会 水島朝穂会員(早稲田大学)報告について」(公法学会・2013 年 10 月)

社会的活動、地域貢献など

NHK 水戸放送局による「憲法改正問題」についての取材に対するコメント(2013 年 4 月～5 月まで)

海外出張・海外研修・内地研修など

京都大学大学院法学研究科博士課程後期課程にて「国法学」および「立法学」の履修・研修(2014 年度)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 小野寺 淳
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年8月
学歴・職歴	筑波大学大学院歴史・人類学研究科博士課程(1985年)
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会, 日本国際地図学会, 東京地学協会, 日本地理学会, 人文地理学会, 歴史地理学会, 日本地理教育学会, 茨城地理学会
専門分野	人文地理学
教育研究概要	主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。
	(キーワード)江戸時代の古地図研究, 伊勢参り, 古道, 城下町
担当科目	(教養科目)都市の歴史的景観[社会と人間] (専門科目)茨城の歴史と文化, 初等社会科内容研究, 人文地理学 I/人文地理学, 歴史地理学 II, 人文地理学演習, 卒業研究, 地理学野外実習 III (大学院科目)人文地理学特論, 人文地理学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「茨城県歴史の道調査事業報告書近世編Ⅱ」, 茨城県教育委員会, はしがき, 2014. 渡辺理絵・小野寺淳「渡辺理絵・小野寺淳「鶴岡城下絵図の精度に関する GIS 分析」, 平井松午・安里進・渡辺誠編『近世測量絵図の GIS 分析-その地域的展開』古今書院, 225-238, 2014.

研究業績(2)学会発表など

Onodera.A, Oda.M, Oshima.N, "Maps in Early Modern Japan Collected by Philipp Franz Balthasar von Siebold(Onodera.A, Oda.M, Oshima.N)" (International Geography, 2013年08月, 国立京都国際会館) 野積正吉・小野寺淳「シーボルト第一次収集古地図の概要と個別分析」(第35回国絵図研究会, 2014年03月, 日南市)
--

〈基調講演〉 写される絵図-内務省引継地図・赤門書庫の蝦夷図に関する若干の考察-(2014 年 02 月, 東京大学)

〈招待講演〉 城下町水戸と水戸街道の成立(25 年度都市計画全国大会(講演))(2013 年 11 月, 水戸市)

〈パネリスト〉 「奄美大島のハブ咬害」にみる千葉徳爾のフィールドワーク(第 871 回日本民俗学会談話会)(2013 年 11 月, 国学院大学)

社会的活動、地域貢献など

茨城地理学会 会長(2012 年 08 月～)

日本国際地図学会 評議員(2005 年 04 月～)

日本地理学会・代議員(2010 年 05 月～)

国絵図研究会・代表(2007 年 08 月～)

「ぶらり城下町水戸」ノ案内役[水戸市商工会議所商工振興課まちの駅みとネットワーク協議会](2013 年 09 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ ライデン・ライデン大学図書館[シーボルト収集地図調査](2013 年 9 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

「ライデン大学所蔵シーボルト収集古地図の研究-江戸時代の地図による日蘭学术交流-[科研費]基盤研究(B)一般(代表)(2011 年 06 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大島 規江
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科 博士課程博士後期課程修了(2002 年 03 月)
学位	博士(理学)(筑波大学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	The Royal Dutch Geographical Society, 秋田地理学会, 茨城地理学会, 東京地学協会, 人文地理学会, 日本地理学会
専門分野	地誌学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)オランダの環境と社会[社会・国際系科目] (専門科目)地理学研究法, 基礎地理, 地誌学 IV, 地誌学演習, 地理学野外実習 I (大学院科目)地誌学特論, 社会・文化総合研究, 地誌学演習

研究業績(2)学会発表など

Onodera,A., Oda,M., and Oshima,N., "Maps in Early Modern Japan Collected by Philipp Franz Balthasar von Siebold" (Kyoto Regional Conference, 2013 年 08 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ ライデン、アムステルダム・ライデン大学図書館、海事博物館[シーボルト収集地図調査、地図史展の見学調査](2013 年 9 月:4 日間)
オランダ リンブルフ、アムステルダム・リンブルフ州農家、アムステルダム市内書店[聞き取り調査、文献収集](2013 年 9 月:7 日間)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 根本 博
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年10月
学歴・職歴	筑波大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(1981年03月) 文部科学省(旧文部省)(1991年04月～2006年03月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会, 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	<p>確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 —数学教育の社会的考察の試み— 現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。</p> <p>(キーワード) 数学教育学 数学科教育課程論 認知科学</p>
担当科目	<p>(教養科目) 数学の楽しみ[身近な数学] (専門科目) 算数科教育法研究, 算数科教育法特講 II, 数学科教育法演習 I, 数学科教育法研究 I, 算数科教育法研究, 数学科教育法研究 II, 卒業研究 (大学院科目) 数学教育学特論 I, 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 数学教育学演習 I, 特別課題研究</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「数学教育の挑戦—数学的な洞察と目標準拠評価」 東洋館出版社 2004.10. など

研究業績(2) 学会発表など

東京都 都理数教育推進本部会議(都理数教育推進委員)(2013年08月)

社会的活動、地域貢献など

日本数学教育学会 全体会での講演 その他 全国各地の数学教育研究会での講演 など

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 小口 祐一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	茨城大学教育学部教授(2013年04月～) 盛岡大学文学部助教授(2005年04月～2007年03月) 盛岡大学文学部准教授(2007年04月～2010年03月) 茨城大学教育学部准教授(2010年04月～2013年03月)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会, 日本教授学習心理学会, 日本科学教育学会, 日本数学教育学会, National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育 (キーワード)統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	(教養科目)数学と教育[身近な数学] (専門科目)算数科教育法研究 C, 数学科教育法演習 II, 数学科教科論, 算数科教育法研究 D, 卒業研究 (大学院科目)数学教育学特論 II, 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 数学教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小口祐一「学校数学におけるデータの変動性の系統的な指導に向けて—GAISE レポートを参照して—」, 日本数学教育学会誌, 96, 1, 47-50, 2014.

小口祐一「標本比率の散らばり判断に及ぼす変換操作シミュレーションの効果」, 日本教授学習心理学会誌
教授学習心理学研究, 9, 2, 90-101, 2013.

小口祐一「標本分布の散らばりに関する学習者の誤判断とその修正—標本分布の性質の教授による効果—」, 茨城大学教育実践研究, , 32, 33-47, 2013.

小口祐一「データの散らばり判断に及ぼす変換操作シミュレーションの効果」, 日本数学教育学会誌, 95, 73-80, 2013.

小口祐一「統計判断に及ぼすルール命題の変換操作の影響」, 日本科学教育学会
年会論文集, 37, 118-119, 2013.

研究業績(2)学会発表など

小口祐一,「データの散らばりに関する学習者の誤判断とその修正
—標準偏差ルールの変換操作シミュレーションの効果—」(日本教授学習心理学会
第9回年会・2013年06月)
〈基調講演〉茨城県高等学校教育研究会数学部会総会(講師)(2013年08月)

社会的活動、地域貢献など

日本数学教育学会 編集部幹事(2011年11月～)
日本教授学習心理学会 編集委員(2011年07月～)
日本統計学会 統計教育委員(2008年04月～)
[非常勤講師]近大姫路大学教育学部[非常勤講師](2011年04月～)

科学研究費補助金などの受領

「中等教育における統計的リテラシーのオンライン評価システムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2010年04月01日～2014年03月31日)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 梅津 健一郎
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学大学院数学研究科博士課程修了(1993年03月) 筑波大学大学院数学研究科研究生(1993年4月) 筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993年06月) 筑波大学数学系助手(1997年03月) 前橋工科大学工学部講師(1997年04月～2001年03月) 前橋工科大学工学部助教授(2001年04月～2007年03月) 前橋工科大学工学部准教授(2007年04月～2008年03月) 茨城大学教育学部准教授(2008年04月～2012年03月) 茨城大学教育学部教授(2012年04月～)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	The ISAAC Award for Young Scientists (The International Society for Analysis, its Applications and Computation) (2003年08月)
所属学会	日本数学会, 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	分岐理論, 変分法を用いた非線形楕円型境界値問題の正値解に対する存在, 一意性, 多重性の研究. (キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線形境界条件, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 分岐理論, 写像度, 人口動態論.
担当科目	(教養科目)数学入門[主題別ゼミナール], 数学の楽しみ[身近な数学] (専門科目)解析学C, 解析学A, 解析学の基礎I, 解析学D, 解析学B, 解析学の基礎II, 卒業研究 (大学院科目)応用数理学特論, 数学総合研究, 応用数理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Kenichiro Umezu, "Global structure of supercritical bifurcation with turning points for the logistic elliptic equation with nonlinear boundary conditions", *Nonlinear Analysis: Theory, Methods & Applications*, 89, 250-266, 2013.

研究業績(2)学会発表など

梅津健一郎, 「人口動態論における S 字形及び CS 字形分岐について」(日本数学会 2014 年年会函数方程式論分科会・2014 年 03 月)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 栗原 博之
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 5 月
学歴・職歴	千葉大学自然科学研究科博士課程修了(1999 年) 埼玉短期大学 情報メディア学科 講師(2002 年 04 月～2008 年 03 月) 八戸工業高等専門学校 総合科学科 准教授(2009 年 04 月～2013 年 09 月) 茨城大学 教育学部 准教授(2013 年 10 月～)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)コンピュータ概論, 幾何学の基礎 II, 算数科内容研究, 幾何学D (大学院科目)幾何学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「確率統計問題集」, 森北出版, 2014. 「応用数学問題集」, 森北出版, 2014. 「確率統計」, 森北出版, 2013. 「応用数学」, 森北出版, 2013.
--

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 伊藤 孝
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1964年10月
学歴・職歴	筑波大学地球科学研究科博士課程修了(1993年)
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 資源地質学会, 日本堆積学会, 日本地球化学会, 日本地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)地球表層の環境とその変遷[身近な地球科学] (専門科目)基礎地学, 生活科内容研究, 環境地球科学, 地学実験指導法, 地学実験A/地学実験指導法, 地学野外実習, 地学実験B, 初等理科内容研究, 天文学, 地球科学演習, 地学演習, 卒業研究 (大学院科目)自然科学総合研究, 地学特論, 地学特別実験, 研究と教育一知の往還をめぐって—

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

相原悠平・清川昌一・Christion Bohm・坂本 亮・伊藤 孝「約 28 億年前カナダ・ウティクレイクグリーンストーン帯・ミスタウ地域における熱水脈の産状と岩石記載」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 62, 33-41, 2013.
上栗伸一・伊藤 孝・郡司晴元・大辻 永・三田直樹・岡崎智鶴子「北海道十勝周辺を対象とした「地学野外実習」の授業報告」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 62, 61-71, 2013.
伊藤 孝・片山大輝・白井園葉・篠原 巧「地元の地学的な素材を活用した地域貢献の試み:高萩市・萩っ子育成事業「目指せ!!石炭アーティスト」の報告」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 62, 53-59, 2013.
清川昌一・伊藤 孝・池原 実・尾上哲治「地球全史スーパー年表」, 岩波書店, 1-24, 2014.

研究業績(2)学会発表など

伊藤 孝, 「北部関東における河川水硫黄同位体地図」(第 2 回同位体環境学シンポジウム, 総合地球環境学研究所, 2013 年 2 月)

伊藤 孝・片口直樹・上栗伸一・谷津夏未・初澤彩香・荻野京也・大門亜由美・眞田怜・佐野栞・小関めぐみ・畠山勝浩, 「石炭とアート: 地域の地学素材を生かした教科連携の試み」(日本地学教育学会第 67 回全国大会(大阪大会), 大阪教育大学 2013 年 8)

伊藤 孝, 石川大樹, 遠藤理美, 松本典子, 「学部 3 年次「地球科学演習」を通じた茨城県の地球化学図作成」(第 3 回同位体環境学シンポジウム, 総合地球環境学研究所, 2013 年 12 月)

社会的活動、地域貢献など

日本堆積学会 教育問題検討委員(2008 年 01 月～)

日本地学教育学会 編集委員(2006 年 09 月～)

[兼業]独立行政法人海洋研究開発機構 横須賀本部海底資源研究プロジェクト資源成因研究グループ[招聘主任研究員](2011 年 08 月～2014 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

カナダ バンクーバー[授業引率](2013 年 11 月～12 月:9 日間)

フィリピン セブ[現地調査](2014 年 2 月～3 月:11 日間)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 上栗 伸一
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1977年6月
学歴・職歴	九州大学比較文化研究科博士課程修了(2005年03月) 茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012年04月～) 北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005年04月～2007年03月) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007年04月～2008年03月) 日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008年04月～2011年03月) 高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011年04月～2012年03月)
学位	博士(理学)[九州大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会, 日本地質学会, 日本古生物学会
専門分野	層位・古生物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)地球のしくみ[身近な地球科学] (専門科目)基礎地学, 生活科内容研究, 地学実験指導法, 地学実験A/地学実験指導法, 地学野外実習, 地学実験B, 初等理科内容研究, 地質学, 天文学, 地球科学演習, 地学演習, 卒業研究 (大学院科目)自然科学総合研究, 地学特論, 地学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「北海道十勝周辺を対象とした「地学野外実習」の授業報告」, 茨城大学教育学部紀要, 63, 11-22, 2013.

研究業績(2)学会発表など

- , 「過去 1200 万年間の赤道循環の変遷史」(MRC 研究集会・2014 年)
- , 「伊豆半島における地学野外実習の指導案作成」(地学教育学会・2013 年)
- , 「茨城県の地層と化石」(地学教育学会・2013 年)
- , 「前期～中期始新世の低緯度放散虫群集」(地球惑星科学連合大会・2013 年)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 松川 寛
------------------	---------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1969年11月
学歴・職歴	東京工業大学理工学研究科博士課程(1997年) 茨城大学教育学部 助教授(2001年04月～) 千葉大学 助手(1997年04月～2001年03月)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会, 理科教育学会, 有機合成化学協会, 日本化学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。 (キーワード)有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	(教養科目)化学と環境と生活[身近な化学], サイエンス・コミュニケーション・スキル [主題別ゼミナール] (専門科目)有機化学, 化学実験指導法/化学実験I, 化学実験II, 無機化学, 環境化学, 初等理科内容研究, 基礎化学, 初等理科実験観察内容研究, 有機化学演習, 化学実験II, 化学演習, 卒業研究 (大学院科目)化学特論, 自然科学総合研究, 化学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Satoru Matsukawa, Kumiko Tsukamoto, Takeru Harada, Shiori Yasuda, "An efficient method for opening N-tosyl aziridines with silylated nucleophiles using polystyrene-supported TBD as a reusable organocatalyst", *synlett*, 45, 2959-2965, 2013.

Satoru MATSUKAWA, Sayaka Takahashi, Hiroshi Takahashi, "TBD-Catalyzed Trifluoromethylation of Carbonyl Compounds with (Trifluoromethyl)trimethylsilane", *Synth. Commun.*, 43, 11, 1523-1529, 2013.

研究業績(2)学会発表など

ポリスチレン担持トリフェニルホスフィンを触媒とした向山アルドール反応 日本化学会 第94春季年会 3PC-002

空気に安定な新規ジホスフォニウム塩の合成とその利用 日本化学会第 94 春季年会
3PC-003

社会的活動、地域貢献など

- [公開講座]茨苑祭 特別企画 公開講座「続・花火の科学」(2013 年度実施)
- [出前授業]出前授業「花火の科学」笠間高等学校(2013 年度実施)
- [出前授業]出前授業「食とエネルギー問題」いわき光洋高等学校(2013 年度実施)
- [出前授業]出前授業「花火の科学」第一高等学校(2013 年度実施)
- [出前授業]出前授業「花火の科学」鉾田第一高等学校(2013 年度実施)
- [出前授業]出前授業「花火の科学」水戸第二高等学校(2013 年度実施)
- [出前授業]出前授業「プラスチックの科学」水戸第二高等学校(2013 年度実施)
- [その他]サイエンスパートナーシッププログラム, 高萩市立秋山小学校(2013 年度実施)
- [非常勤講師]茨城県立農業大学校[非常勤講師](2012 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 永尾 敬一
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973年9月
学歴・職歴	東京大学総合文化研究科博士課程修了(2002年) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007年04月～) 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002年04月～2003年01月) 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003年01月～2005年03月) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005年04月～2007年03月)
学位	学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)ことばの力実践演習[コミュニケーション論] (専門科目)基礎物理学, 初等理科内容研究, 電磁気学, 物理学演習 I (大学院科目)自然科学総合研究, 物理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen, "Momentum relation and classical limit in the future-not-included complex action theory", Progress of Theoretical and Experimental Physics, 073A03, 1-22, 2013.
--

研究業績(2)学会発表など

永尾 敬一, 「Momentum relation and classical limit in the future-not-included complex action theory」(QMKEK2014 量子論の諸問題と今後の発展・2014年03月)
永尾 敬一, 「Momentum relation and classical limit in the future-not-included complex action theory」(中部夏の学校2013・2013年09月)
永尾 敬一, 「Momentum relation and classical limit in the future-not-included complex action theory」(基研研究会 素粒子物理学の進展2013・2013年08月)

永尾 敬一, 「Theory Including Future Not Excluded」(茨城大学理学部素粒子論研究室セミナー・2013 年 04 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク コペンハーゲン・Niels Bohr Institute[研究打合せ](2014 年 1 月～2 月:20 日間)

科学研究費補助金などの受領

「複素作用理論の基礎的研究およびその宇宙論への応用」[茨城大学教育学部 平成25年度教育学部研究費特別配分](代表)(2013 年 06 月 28 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 小野 義隆
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年10月
学歴・職歴	パデュウ大学大学院農学研究科博士課程修了(1978年) 茨城大学教授(教育学部)(1999年10月～) 東京都立豊島高等学校(定時制)教諭(1974年04月～1975年12月) 茨城大学助手(教育学部)(1980年04月～) 茨城大学講師(教育学部)(1985年04月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1986年04月～) 茨城大学教授(教育学部), 大学院理工学研究科(後期課程)(2000年04月～)
学位	Ph. D. [パデュウ大学大学院]
受賞歴	日本菌学会菌学研究奨励賞(1991年), 秩父宮記念学術賞(ヒマラヤとその周辺地域の隠花植物調査隊、共同受賞)(1993年), 日本菌学会賞(2006年)
所属学会	日本菌学会, アメリカ菌学会, イギリス菌学会, 日本植物病理学会, 日本生物教育学会, 日本進化学会
専門分野	系統・分類 植物保護
教育研究概要	植物サビ病菌の分類学的・生態学的研究 教育:基礎生物学、生物学実験、生物学野外実習、植物学、植物分類学、系統分類学特論(大学院修士課程)、真菌系統分類学(大学院博士後期課程) 研究:植物寄生菌(特にさび病菌)の生態学および系統分類学的研究 (キーワード)植物寄生菌、サビキン、同定、分類、宿主特異性、生活環、多様性、サビキン相、地理的分布、分子系統
担当科目	(教養科目)自然と人間社会における真菌[物質・生命系科目] (専門科目)植物分類学, 生物学実験, 生物学野外実習, 初等理科内容研究, 生物学演習, 卒業研究 (大学院科目)自然科学総合研究, 生物学特論, 生物学特別実験, 真菌系統学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Pota S, Chatasiri S, Ono Y, Yamaoka Y, Kakishima M. 2013. Taxonomy of two host specialized *Phakopsora* populations on *Meliosma* in Japan. *Mycoscience* 54: 19-28.

Ono Y. 2013. Ampelocissus plants harbor *Phakopsora* rust pathogens of grapevines and Boston Ivy. *Bulletin of the College of Education, Ibaraki University (Natural Sciences)*. 62: 1-7.

研究業績(2) 学会発表など

Ono, Y. How many pathogens cause grapevine leaf rusts in the world? Asian Mycological Congress 2013 (21 August 2013, Beijing, China)

社会的活動、地域貢献など

日本菌学会 日本菌学会関東支部会長(2013年04月～2015年04月)
 国際自然保護連合 国際自然保護連合 種保存委員会 サビキン・クロボキン専門委員会・(2009年11月～)
 (株)茨城放送, 放送番組審議会(2013年09月～)茨城県教育庁義務教育課〔小学校理科教育推進事業助言者など〕(2011年09月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 北京・中国コンヴェンションセンター〔2013 アジア菌学会議への出席〕(2013年8月:5日間)
 アメリカ エイキン、オーガスタ、ウエイクロスほか・ブドウ畑、フィニジースワンプ自然公園、オシオラ国立森林公園ほか〔調査・資料収集〕(2013年10月～11月:12日間)
 タイ バンコク、パクチョン、ホアヒンほか・カセサート大学、王立森林局植物標本館、パクチョン周辺ブドウ園ほか〔ブドウさび病の接種試験、標本検査、ブドウさび病発生生態調査・資料収集〕(2014年2月:7日間)

科学研究費補助金などの受領

日本学術振興会学術研究助成基金助成金「ブドウさび病菌の系統分類と地理的分布」(2013年度-2015年度)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 大辻 永
------------------	---------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1966年7月
学歴・職歴	千葉県立千葉高等学校(非常勤講師)(1991年04月～1994年03月) 東京工業大学総合理工学研究科博士課程中退(1995年03月) 茨城大学講師(教育学部 専任)(1995年04月～1997年09月) 茨城大学助教授(教育学部)(1997年10月～2004年03月) 国立大学法人茨城大学助教授(教育学部 改組による)(2004年04月～2007年03月) 国立大学法人茨城大学准教授(教育学部)(2007年04月～)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	East-Asian Association for Science Education(2011年10月28日), 日本教育工学会研究奨励賞(1995年), 日本科学教育学会 科学教育研究奨励賞(1994年)
所属学会	日本環境教育学会, 日本科学技術社会論学会, ASERA (Australian Science Education Research Association), 日本高等教育学会, National Association of Geoscience Teachers, 日本教育工学会, 日本理科教育学会, 日本認知科学会, 日本科学教育学会, 日本地学教育学会, 東亜科学教育学会
専門分野	科学教育
教育研究概要	科学教育の周辺。 (キーワード)科学教育の文化研究
担当科目	(専門科目)初等理科教育法研究, 理科教育法特講A, 中等理科内容研究, 理科教育演習 I, 理科教育演習A, 卒業研究 (大学院科目)理科教育学演習, 理科教育学特論, 理科授業設計, サステイナビリティ教育演習 I, サステイナビリティ教育演習 III

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>田崎裕太・大辻永「日本における理科教育の社会文化的特徴－日本の理科教育における仏教思想の影響－」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 73-88, 2013.</p> <p>大辻永「三村信男監修・田村誠・伊藤哲司・木村競・加藤禎久・坂上伸生編『ポスト震災社会のサステイナビリティ学:地域と大学の新たな協働をめざして』, 国際文献社, 57-58, 2014.</p> <p>郡司晴元・大辻永「三村信男監修・田村誠・伊藤哲司・木村競・加藤禎久・坂上伸生編『ポスト震災社会のサステイナビリティ学:地域と大学の新たな協働をめざして』, 国際文献社, 171, 2014.</p>
--

研究業績(2)学会発表など

戸田雅彦・大辻永, 「小学校3年生「光の性質」で分光と紫外線を扱った授業実践報告:放射線教育を包含した現代的科学リテラシー育成のためのカリキュラム開発」(日本科学教育学会研究会・2014年03月)

大辻永, 「理科と理科教師の人間化:科学教育授業実践にみる日本仏教の影響」(日本理科教育学会第52回関東支部大会・2013年11月)

延岡梓生・大辻永, 「STS的問題意識の醸成に関する研究」(日本理科教育学会第52回関東支部大会・2013年11月)

大辻永, 「東日本大震災を受け「理科教育研究者の社会的責任」を考える」(日本科学教育学会第37回年会・2013年09月)

戸田雅彦・大辻永, 「現代的科学リテラシーを育成する放射線教育ー見えない環境を自ら測定するー」(日本科学教育学会第37回年会・2013年09月)

<パネリスト> 第3回サイバーフォレスト・シンポジウム(パネラー)(2014年03月)

<招待講演> Special Lecture, College of Education, University of St. La Salle ((Special Lecture) Without Transferring Scientific Knowledge: A Video of "Hungry Caterpillar") (2014年03月)

<司会・議長・コンビーナ・コーディネータ> 茨城大学教育学部第3回附属学校フォーラム, 科学的な見方や考え方を育てるー(コーディネーター:理科教育における授業実践・教員研修・自由研究の指導を通してー)(2014年03月)

<招待講演> The Perspective for the Elementary Science Education, Lecture 5, The Winter School of the East-Asian Association for Science Education (EASE), Ewha Womans University, B151. (2014年01月)

<基調講演> クリーンアップひぬまネットワーク 第13回「ひぬま環境フォーラム」(基調講演「涸沼の魅力を再発見ー震災後の状況とラムサール条約登録に向けてー」)(2013年11月)

<企画・運営> How much primary science education is embedded in culture? Symposium: "Culturally embedded elementary science teaching in East Asia"(Coordinator)EASE2013, Hong Kong Institute of Education. (2013年07月)

社会的活動、地域貢献など

[出前授業]サケと環境 水戸市立見川小学校 2014.2.27, 水戸市立見川小学校 伝統を引き継ぐプロジェクト:地域に貢献し隊〜鮭の放流を通して桜川の環境を考える〜学習会(2013年度実施)

[出前授業]異常気象と地球温暖化 ひたちなか市立平磯小学校 2014.1.21, 平成25年度ひたちなか市・わくわくサイエンスサポート事業(特別授業), ひたちなか市立平磯小学校(2013年度実施)

[出前授業]日光のひみつ, 水戸市立見川小学校3年2組(出前授業). 2014.1.14, 水戸市立見川小学校(2013年度実施)

[出前授業]サケってどんな魚だろう(水戸市立見川小学校, 2013.2.27), 水戸市立見川小学校(2013年度実施)

[出前授業](2013 年度実施)

「子どもの科学技術・理科に対する関心を高める家庭環境の実現のための保護者に対する科学教室等の取組のあり方についての調査研究」(共同研究):(2003 年～)

大辻永・五島浩一.(2013).「模擬授業実践をととした生徒が主体的に取り組む理科授業の在り方」, 第4回神栖市教育会理科教育研究部研修会(講師), 2013.8.20. 8:50-12:30. 神栖市中央公民館第3会議室(神栖市教育会理科教育研究部員 25 名、小学校理科教科担任及び中学校理科担当教員等 10 名 計 35 名)[神栖市教育会理科教育研究部](2013 年 08 月～), ふしぎな森の謎(食べ物による生物の関係)2013.8.7. 15:00-16:30.

てんびん(筑波大学附属小学校で開発された実践).2013.8.8. 15:00-16:30.

杉並区内の小中学校教員・中学校理科教員を対象にした教員研修「理科の指導法を考える」杉並区立科学館第 3 実験室[東京都杉並区立科学館](2013 年 08 月), [附属小学校 公開授業研究会 助言](2013 年 02 月～), 美浦村立安中小学校(担当:山本紀子先生)5年 天気と情報(2)台風と気候の変化[平成 24 年度茨城県「小学校理科教育推進事業における推進地域のモデル小学校」公開授業研究会助言(美浦村立安中小学校)](2012 年 11 月～), [茨城県 教員連 助言者](2012 年 10 月～), 大辻永, 2010, 見えないところにそれはある, 茨城大学教育学部同窓会会報 43, 6-7, H22.12.27[茨城大学教育学部同窓会会報 執筆](2010 年 12 月～), 茨城高等学校・中学校 第7回 PTA 研修会 講演「地球温暖化」茨城大学人文学部 10 番教室 約 130 名[茨城高等学校・中学校](2009 年 11 月～), 日食観察会 1-6 年生 142 名[水戸市立見川小学校](2009 年 07 月～), わくわくタイム(総合的な学習)講師 2008 から[水戸市立緑岡小学校](2009 年 05 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 香港・香港教育学院[学会参加](2013 年 7 月:4 日間)

台湾 嘉義・国立嘉義大学[調査・研究打合せ](2013 年 11 月:2 日間)

カナダ バーナビー、バンクーバー、ノースバンクーバーほか・サイモンフレーザー大学、ブリティッシュコロンビア大学、Norgate Elementary School ほか[教育に関する視察](2013 年 11 月～12 月:6 日間)

韓国 ソウル・Eha Womans University[アンケート結果報告・研究打合せ](2014 年 1 月:1 日間)

フィリピン セブ市・セブ市内[視察](2014 年 3 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

「科学教育授業実践にみる仏教の影響(The Influence of Buddhism on the Practice of Science Education in Japan)」[科研費]萌芽研究(代表)(2012 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

(ほか奨学寄付金 1 件)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 矢島 裕介
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 8 月
学歴・職歴	東京大学理学系研究科博士課程修了(1982 年) 茨城大学教育学部教授(2003 年 04 月～) 日立製作所(株)(1982 年 04 月～2003 年 03 月) フラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988 年 02 月～1989 年 01 月)
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会, 日本物理教育学会
専門分野	物性
教育研究概要	物理学
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)暮らしと数理[認知・数理系科目] (専門科目)熱学概論, 初等理科内容研究, 量子力学, 物理学演習 I, 物理学実験指導法, 物理学実験 I, 物理学演習 A, 卒業研究 (大学院科目)自然科学総合研究, 物理学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>Yusuke YAJIMA, "Geometrical Approach to Kepler's Laws of Planetary Motion", Creative Education, 4, 8A, 6-8, 2013.</p> <p>Yusuke YAJIMA, "A Note on the Endoreversible Thermal Processes", Bull. Col. Edu. Ibaraki Univ. (Nat. Sci.), 62, 9-16, 2013.</p> <p>小暮香織, 矢島裕介, "茨城大学のエネルギーマネジメント ～大学キャンパスの省エネルギー可能性～", 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 第 62 巻, 17 頁-32 頁, 2013 年.</p> <p>Yusuke YAJIMA, "Graphical Approach to Endoreversible Thermodynamics", JPS Conference Proceedings, 1, 017022-1-4, 2014.</p>

研究業績(2)学会発表など

<p>Yusuke YAJIMA, "Graphical Approach to Endoreversible Thermodynamics" (The 12th Asia Pacific Physics Conference: APCC12, 2013 年 07 月)</p>

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 棗田 孝晴
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1967年9月
学歴・職歴	<p>京都大学理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1998年03月)</p> <p>財団法人自然環境研究センター 研究員(1999年04月～1999年08月)</p> <p>地球・人間環境フォーラム 客員研究員(2000年04月～2001年03月)</p> <p>山梨学院大学 非常勤講師(2000年04月～2007年03月)</p> <p>富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員(環境防災学部 非常勤講師兼任)(2006年04月～2008年03月)</p> <p>独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室 研究補助／研究支援職員(2008年04月～2009年03月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師(2008年09月～2009年03月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 専任講師(2009年04月～2013年03月)</p>
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	平成22年度 日本水産学会論文賞(公益社団法人 日本水産学会)(2011年03月29日)
所属学会	日本水産学会, 日本生態学会, 応用生態工学会, 日本魚類学会, 日本動物行動学会
専門分野	動物生態学 河川生態学 魚類生態学 保全生物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(専門科目)基礎生物学, 生物学実験, 生物学野外実習, 動物生態学, 動物学, 動物学演習, 初等理科内容研究, 生物学演習, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)自然科学総合研究, 生物学特別実験, 生物学特論</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

棗田孝晴・大木智矢「千葉県北東部の谷津田におけるトウキョウサンショウウオ *Hynobius tokyoensis* の産卵場の分布及びその周辺環境」, 応用生態工学, 16, 2, 119-125, 2014.

O. Katano, T. Natsumeda & N. Suguro, "Diurnal bottom feeding of predator fish strengthens trophic cascades to benthic algae in experimental flow-through pools", *Ecological Research*, 28, 907-918, 2013.

濱尾章二・秋葉 亮・棗田孝晴「採食環境が競合するアオサギとダイサギにおける餌生物および獲得食

物量の比較」, Bird Research, 9, A23-A29, 2013.

Takaharu Natsumeda, Masahide Yuma & Michio Hori, "Variation in life-history traits of male Japanese fluvial sculpin *Cottus pollux* in relation to nest abundance along a stream course", Environmental Biology of Fishes, 96, 9, 1123-1133, 2013.

棗田孝晴・松田武也・遊磨正秀「千葉県北東部の谷津田における水生ホタル類の生息環境要素の抽出」, 保全生態学研究, 18, 1, 91-99, 2013.

研究業績(2)学会発表など

棗田 孝晴(茨城大教育)・武島 弘彦(東大大気海洋研)・井口 恵一郎(長崎大院水産環境科学), 「河川工作物がカジカ大卵型の移動に及ぼす影響」(2013 年度日本魚類学会年会・2013 年 10 月)
古屋康則・森 温子(岐阜大教育)・藤井亮吏(岐阜県河環研)・田原大輔(福井県大)・山家秀信(東農大生物産業)・棗田孝晴(茨城大教育), 「冬季の高水温がカジカ小卵型の雄の繁殖活性に及ぼす影響」(日本水産学会秋季大会・2013 年 09 月)

<招待講演> Seminario: Eutrofication en Lagos y Biodiversidad de Peces: Perspectiva de Conocimiento del Lago Titicaca (Eutrophication in lakes: implications of mitigation from ecological perspective (Literacy lecture with regard to management implication for mitigation of eutrophication of shallow lakes from ecological perspective)) (2013 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

日本魚類学会 日本魚類学会 会計幹事(2014 年 01 月～2015 年 12 月)

日本魚類学会 日本魚類学会自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員(2011 年 01 月～)

日本魚類学会 会計幹事・会計幹事(2014 年 01 月～2015 年 12 月)

日本魚類学会 日本魚類学会自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員・(2011 年 01 月～)

科学研究費補助金などの受領

「カジカ等の生態的移動弱者の生物多様性に配慮した河川管理方策の提案」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2013 年 04 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 藤田 文子
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1957年9月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程単位取得満期退学(1995年)
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	推奨授業の候補に推薦される。(2007年07月), 教養教育における推奨授業の候補(2004年), 善意本合唱連盟関東支部合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981年09月)
所属学会	音楽教育史学会, 日本音楽教育学会, 教育実践学会, 教育哲学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会, 教育史学会
専門分野	音楽科教育 教育学
教育研究概要	(キーワード)音楽科における歌唱指導, フレーベルの音楽教育思想、小・中・高等学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想
担当科目	(教養科目)音楽を学ぶ意味[主題別ゼミナール], ことばの力 (専門科目)独唱 I -c, 初等音楽科教育法研究 C, 独唱 I -d, 音楽科教育法研究 III, 独唱, 初等音楽科教育法研究 F, 独唱, 音楽教育特別演習 III, 音楽教育特別演習 IV (大学院科目)音楽文化総合研究, 音楽科教育演習, 音楽教育授業設計, 音楽科教育特論 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

渡辺興司、藤田文子「音楽科教育におけるヴォーカルパーカッションの演奏指導に関する研究-8ビートの完成を目指して-」, 『茨城大学教育実践研究』, 32, 49-60, 2013.

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<芸術系の活動・建築作品等>第33回 グループ・カンパネラ ヴォーカル・コンサート
モーツァルト作曲 モテット“踊れよ喜べ”より「アレルヤ」を独唱した。
ヴェルディ作曲 オペラ“椿姫”より「ああ、そは彼の人か」、「さようなら」を独唱した。(2013年10月)

社会的活動、地域貢献など

教育実践学会 常任理事(2006年10月～)

教育実践学会 理事・(2001 年 06 月～)

[公開講座]平成 25 年度 茨城大学附属小学校公開授業研究会講師, 茨城大学教育学部附属小学校 (2013 年度実施)

[公開講座]茨城大学教育学部附属中学校 平成 25 年度 公開授業研究会共同研究者, 茨城大学教育学部附属中学校 (2013 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]平成 25 年度第 58 回 茨城県教育研究連盟研究集会, 茨城県教育研究連盟助言者 (2013 年度実施)

[兼業]教員免許状更新講習

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 神部 智
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年5月
学歴・職歴	ヘルシンキ大学大学院音楽研究科博士課程修了(2005年)
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学]
受賞歴	なし
所属学会	International Semiotics Institute, 美学会, 日本音楽学会, 音楽表現学会, 日本シベリウス協会
専門分野	音楽学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)音楽を学ぶ意味[主題別ゼミナール] (専門科目)音楽学特別演習 I, ピアノ, 音楽史, ピアノ, 音楽学特別演習 II, 初等音楽科内容研究, 音楽学 I, ピアノ (大学院科目)音楽文化総合研究, 音楽学研究, 音楽教育授業設計, 音楽学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「シベリウス〈四つの伝説〉ほか」, 「フィルハーモニー」NHK 交響楽団機関誌, 86, 2, 13-16, 2014.
--

社会的活動、地域貢献など

日本シベリウス協会 理事(2001年12月～)
日本教育大学協会全国音楽部門 モデル・コア・カリキュラム検討プロジェクト・委員(2006年07月～)
[出前授業]茨城県立水戸第三高等学校[講師](2013年12月～)
[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校[講師](2007年07月～)
[非常勤講師]宇都宮大学[非常勤講師](2006年10月～)
[出前授業]常陸大田高校[講師](2003年07月～)
[その他]日本シベリウス協会[理事](2000年12月～)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 佐藤 篤
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年5月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科修士課程修了(1974年)
学位	芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	名誉博士号(2000年), 山田康子基金(1996年), 山田康子基金(1991年), ヴィオッティ国際コンクールディプロマ・ディ・フィナリスタ(1981年), ハエン国際ピアノコンクール第3位入賞(1977年), 安宅賞(1972年)
所属学会	全日本ピアノ指導員協会, 茨城演奏家連盟, 日本演奏連盟, 日本ピアノ教育連盟
専門分野	芸術, 音楽 ピアノ
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 音楽を学ぶ意味[主題別ゼミナール] (専門科目) ソルフェージュ I, ピアノ, 初等音楽科内容研究, ピアノ, 卒業研究 (大学院科目) 器楽研究 I, 音楽文化総合研究, 器楽演習 I, 音楽教育授業設計, 特別課題研究

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 健次
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1954年3月
学歴・職歴	国立音楽大学音楽研究科修士課程修了(1980年) 茨城大学教育学部教授(2002年10月～) 佐賀大学文化教育学教授 (2003年より茨城大学併任)(1996年10月～2003年03月) カシオ計算機株式会社営業開発本部電子楽器企画部(1980年04月～1982年03月) 日本ハモンドオルガン株式会社 音楽教育プログラム企画(契約)(1983年04月～1988年03月) 株式会社サウンドスタッフプロデューサー(1985年04月～1995年03月) 佐賀大学教育学部助教授(1995年04月～1996年09月)
学位	博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME), 東洋音楽学会, 日本音楽学会, 日本音楽教育学会, 音楽学習学会
専門分野	音楽教育学 伝承文化研究、ミュージックテクノロジー
教育研究概要	音楽教育、音楽産業、日本の音楽文化 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 音楽を学ぶ意味[主題別ゼミナール] (専門科目) 初等音楽科教育法研究 A, 初等音楽科教育法研究 B, 音楽科教育法研究 II, 音楽教育特別演習 I, 初等音楽科教育法研究 D, 音楽科教育法研究 I, 初等音楽科教育法研究 E, 保育内容の研究(表現) (大学院科目) 音楽科教育研究法, 音楽文化総合研究, 音楽科教育特論 I, 音楽教育授業設計

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

田中健次「中国の音楽事情 3 マレーシアの音楽文化と中華系の人々」, 『音楽文化の創造』, 69号, 26-27, 2014.

研究業績(2) 学会発表など

〈その他〉財団法人音楽文化創造「平成 24 年度生涯学習音楽指導員養成講習会 C 級クラス」(講師「音楽産業論」)(2014 年 03 月)

さいたま市教育研究会音楽部会(講師「いま求められる音楽科教育とは」)(2014 年 02 月)

〈その他〉新居浜市教育研究会音楽部会(講師「音楽科における ICT 活用」)(2014 年 01 月)

〈その他〉音楽鑑賞教育研究会「冬の研究会」(講師「日本音楽の不思議」)(2013 年 12 月)

〈その他〉神奈川県中郡(大磯町・二宮町)音楽教育部会研修会(研修会講師「音楽教育における言語活動について」)(2013 年 09 月)

大津市教育研究会音楽部会夏季研究会(講師「楽しい音楽授業のつくり方」)(2013 年 08 月)

茨城県音楽教育研究会県東ブロック(講師「音楽科の授業づくり」)(2013 年 08 月)

〈基調講演〉ミュージックテクノロジーセミナー in 九州(全体会講話「音楽教育における ICT の可能性」)(2013 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

[その他]早稲田大学オープンカレッジ講師 全 3 回(7 月 12、19 日、8 月 2 日)テーマ「歌い継ごう日本の文化遺産ー唱歌を聴く、歌う、考える」, 早稲田大学オープンカレッジ(2013 年度実施)

埼玉大学教育学部 非常勤講師(2013 年 09 月～2014 年 03 月)

早稲田大学エクステンションセンター オープンカレッジ講師(2013 年 07 月～2013 年 08 月)

[非常勤講師]埼玉大学教育学部[非常勤講師](2013 年 09 月～2014 年 03 月)

[その他]早稲田大学エクステンションセンター[オープンカレッジ講師](2013 年 07 月～2013 年 08 月)

[兼業]放送大学[非常勤講師](2007 年 04 月～)

[非常勤講師]放送大学[大学院特別講師](2006 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

マレーシア クアランパール、セパン、シャー・アラム・KL メリディアンホテル、Bandar Baru Salak Tinggi 中高等学校、University of Technology MARA ほか[研究打合せ、伝統音楽学習指導の視察・協議、ヒアリング、資料収集](2013 年 9 月:4 日間)

中国 杭州・浙江音楽学院[研究会参加・資料収集](2013 年 12 月～2014 年 1 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

「『次世代型 rFuture schod』システムの実践的研究」[茨城大学 平成 25 年度茨城大学推進研究プロジェクト支援]() (2013 年 08 月 20 日～2014 年 03 月 31 日)

「『児童・生徒の心的ケア』のための授業モデルの開発」[茨城大学 平成 25 年度茨城大学復興支援プロジェクト]() (2013 年 08 月 10 日～2014 年 03 月 31 日)

「日本伝統音楽のデジタルコンテンツ開発に関する研究」科学研究費萌芽研究(2013-2014)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 谷川 佳幸
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年8月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科修士課程修了(1995年03月)
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	第2回藤沢オペラコンクール奨励賞
所属学会	
専門分野	芸術音楽、声楽
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(教養科目)音楽を学ぶ意味[主題別ゼミナール], 台本と音楽[人間と文学・芸術], 水戸芸術館で学ぶ、音楽、演劇、美術[人間・文化系科目] (専門科目)初等音楽科内容研究, 独唱, 独唱, 独唱, 合唱, 独唱, 卒業研究 (大学院科目)音楽文化総合研究, 声楽研究, 音楽教育授業設計, 声楽演習

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

<p><芸術系の活動・建築作品等>第3回春のコンサート(2014年03月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>平井秀明 歌劇《かぐや姫》(2014年02月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>ニューイヤーガラコンサート(2014年01月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>ベートーヴェン 交響曲第9番(2013年12月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>ベートーヴェン 交響曲第9番第4楽章(2013年12月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>谷川佳幸テノールコンサート(2013年11月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>同声会茨城支部演奏会</p> <p>モーツァルト 歌劇「魔笛」抜粋(2013年10月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>独演コンサート(2013年09月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>平井秀明 歌劇「小町百年の恋」(2013年08月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>ファウスト「ゲーテのファウストと音楽」(2013年07月)</p> <p><芸術系の活動・建築作品等>谷川佳幸テノールコンサート(2013年06月)</p>

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]日本声楽家協会研究所[研究科副主任](2012年04月～2015年03月)
--

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 山口 哲人
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 8 月
学歴・職歴	東京芸術大学音楽研究科
学位	
学位	
受賞歴	<p>第 4 回東京国際歌曲作曲コンクール 入選(国際芸術連盟)(2014 年 04 月 03 日), 第 19 回日本歌曲コンクール作曲部門最優秀賞 および全音楽譜出版社賞(社団法人 日本歌曲振興会)(2013 年 03 月 15 日), 第 2 回小田原賞作曲コンクール 入選(2012 年 05 月 31 日), 第 10 回記念弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(ミュージックラボ)(2012 年 04 月 29 日), 白蓮の和歌作曲コンクール 入選(飯塚市・財団法人飯塚市教育文化振興事業団)(2012 年 02 月 19 日), 東京国際芸術協会第 11 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 第 1 位(一般社団法人 東京国際芸術協会)(2011 年 11 月 04 日), 第 18 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門 中田喜直賞受賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2011 年 05 月 29 日), 第 10 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 審査員賞受賞(一般社団法人 東京国際芸術協会)(2011 年 03 月 31 日), 東京国際芸術協会第 9 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 奨励賞(一般社団法人 東京国際芸術協会)(2010 年 11 月 09 日), 第 3 回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール 第 1 位(社団法人 全日本吹奏楽連盟)(2010 年 06 月 30 日), 第 17 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2010 年 05 月 23 日), 第 14 回東京国際室内楽作曲コンクール 第 2 位(国際芸術連盟)(2009 年 12 月 01 日), 第 17 回日本歌曲コンクール作曲部門 優秀賞(社団法人 日本歌曲振興会)(2009 年 09 月 22 日), 第 16 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2009 年 05 月 24 日), 第 15 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 3 位入賞(財団法人 台東区芸術文化財団)(2008 年 05 月 25 日), 平成 8 年度文化庁 舞台芸術創作奨励特別賞(最高位)受賞(文化庁)(1997 年 04 月 15 日), 稲門グリークラブ 40 周年記念作曲コンクール 最優秀賞(早大グリークラブ OB 会・稲門グリークラブ)(1994 年 05 月 01 日), 94 年度全日本合唱コンクール公募「朝日作曲賞」受賞(社団法人 全日本合唱連盟)(1994 年 02 月 25 日), 93 年度全日本合唱コンクール公募佳作入選(社団法人 全日本合唱連盟)(1993 年 04 月 10 日), 第 14 回神奈川県芸術祭創作コンクール 第 1 位入賞(神奈川県・神奈川県教育委員会・神奈川県合唱連盟)(1990 年 10 月 08 日)</p>

所属学会	1世紀音楽の会, ニュー・サウンド・スケイプ 96'～
専門分野	作曲・編曲・指揮
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)新しい音楽を探す[人間と文学・芸術] (専門科目)作曲特別演習 I, 作曲法 I, 現代音楽へのいざない, 和声学 I, 初等音楽科内容研究, 作曲特別演習 II, 音楽通論 II, 対位法 I, 卒業研究 (大学院科目)作曲・指揮法研究, 音楽文化総合研究, 作曲・指揮法演習, 音楽教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など**研究業績(2)学会発表など**

千葉博美, 「ピアノ独奏曲 発表 『百鼠』ピアノ独奏のための」(茨城演奏家連盟 第 16 回定期演奏会・2014 年 02 月)

加古 勉 指揮・東邦音楽大学ウインドオーケストラ・スペシャルユニット, 「吹奏楽曲 CD 発売 組曲“レイ・ブラッドベリ讃歌” 吹奏楽のための」(東邦音楽大学が奏でるコンクール自由曲集・2013 年 11 月)

M.sop. 由比昌子 Pf. 海老塚光生, 「声楽曲 発表 独唱とピアノのための『8つの夜の断章』詩: 立原道造」(ニュー・サウンド・スケイプ 96 第 12 回演奏会・2013 年 08 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<審査員> 第 26 回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール(2014 年 03 月)

<芸術系の活動・建築作品等> 『百鼠』ピアノ独奏のための(2014 年 02 月)

<芸術系の活動・建築作品等> 組曲“レイ・ブラッドベリ讃歌” 吹奏楽のための
:小序曲「 R (R を見るとロケットのことしか思い浮かばない) 」
:諧謔小遁走曲「 四十七羽のかささぎ 」
:譚詩曲「 火星人の笛吹きケラック 」
:回旋円舞曲「 D (真夜中に踊るドラゴン) 」(2014 年 01 月)

<芸術系の活動・建築作品等> 小交響詩『エドワード3世』小編成吹奏楽のための(2013 年 10 月)

<審査員> 第 25 回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール(2013 年 08 月)

<芸術系の活動・建築作品等> 序曲『アーサー王宮廷のヤンキー』金管・打楽器のための八重奏(2013 年 07 月)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 金子 一夫
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年12月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1975年) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996年10月～) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976年04月～1978年03月) 茨城大学教育学部講師(1978年04月～1985年06月) 茨城大学教育学部助教授(1985年07月～1987年07月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987年08月～1996年09月) 茨城大学教育学部附属中学校長併任(2008年04月～2011年03月)
学位	博士(美術)[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会, 美術科教育学会, 大学美術教育学会, 美術史学会, 美学会, 日本美術教育連合, 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	日本美術教育史研究。美術教育方法論研究—鑑賞教育方法を中心に 日本絵画の研究 古代から近代までほとんどの日本絵画は画面に構図決定格子を設定し、それに則って画面構成をしたことを実証する 様々な研究を発展させるような、近代日本の美術教育に関する基礎調査をする。 (キーワード)美術教育 美術科教育 美術教育史
担当科目	(教養科目)美術教育実践演習[主題別ゼミナール], 近代日本美術と西洋 1[人間と文学・芸術] (専門科目)美術科教育特別演習AI, 生活科内容研究, 図画工作科教育法研究, 美術科教育法研究, 美術科教科論, 図画工作科教育法研究, 美術科教育特別演習AII, 美術教育授業研究I, 美術教育授業研究III, 日本美術実地研究 (大学院科目)美術教育研究I/図画工作科内容研究, 美術文化総合研究, 美術教育演習I, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

(単)「近代日本の中等学校図画教育と白牙会会員」茨城県近代美術館『ようこそ、白牙会展へ』(茨城県近代美術館, 2013.10) pp.6-12.
(単)「クローキー指導における指示の構成と評価観点—非美術選修学生に対する実践を通して—」『美

術教育学』第 55 号, 2014.3, pp.255-267.(有査読)

(単)「大正・昭和戦前期の全国中等学校図画教員の研究(4)―茨城県」『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』2014.3. pp.103-122.

研究業績(2)学会発表など

(単)「視線経路と鑑賞教育」第 36 回美術科教育学会奈良大会(口頭発表)2014.3.

(共)「他者の視線を参照した表現主題文による自己像制作―自己の視線のみを参照した制作との比較を中心に―」第 36 回美術科教育学会奈良大会(中川知子・有田洋子との共同口頭発表)2014.3.

社会的活動、地域貢献など

明治美術学会 理事(2006 年 10 月～)

美術科教育学会 理事(1982 年 03 月～)

体表理事(2010 年 4 月～2013 年 03 月)

明治美術学会 論文査読委員(2006 年 12 月～)

日本美術教育学会 理事(2008 年 04 月～2011 年 03 月)

日本美術教育連合 理事(2008 年 04 月～2012 年 03 月)

美術科教育学会 美術科教育学会美術教育史研究部会・責任者(2000 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

科学研究助成基金助成金 2013～2015 年度 「大正・昭和戦前期の中等学校図画教員と出身美術学校の総覧的研究」

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 片口 直樹
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 1 月
学歴・職歴	金沢美術工芸大学美術工芸研究科修士課程(2002 年) 茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009 年 04 月～) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003 年 04 月～2006 年 03 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006 年 04 月～2009 年 03 月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	修士[金沢美術工芸大学]
受賞歴	第 22 回天展 天理ビエンナーレ 2005 大賞(2005 年), 第 20 回国際瀧富士美術賞(1999 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	絵画
教育研究概要	<p>絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。</p> <p>また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。</p> <p>以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。</p> <p>(キーワード) 絵画・油画・インスタレーション・ワークショップ</p>
担当科目	<p>(教養科目)美術教育実践演習[主題別ゼミナール], 美術の表現[人間と文学・芸術]</p> <p>(専門科目)絵画基礎/平面表現演習 I, 絵画 I/平面表現演習 II, 絵画 II/平面表現演習 III, 絵画表現演習 I, 絵画表現演習 II, 絵画特別演習, デッサンの基礎 I/表現の基礎 I, デッサン II/造形実技 II, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, 美術教育授業研究 III, 彩画特別演習, 日本美術実地研究, 卒業研究</p>

(大学院科目)美術文化総合研究, 絵画研究, 絵画演習, 美術教育授業設計, 研究と教育一知の往還をめぐって—

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

<芸術系の活動・建築作品等>ワークショップ「にじのたね in 大生小学校」/常総市立大生小学校/常総(2014年)

<展示会>「光彩」/INFORM gallery/金沢(2013年)

<展示会>「信濃橋画廊コレクション」/兵庫県立美術館/神戸(2013年)

<展示会>「茨城大学美術科教員展」/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2013年)

<芸術系の活動・建築作品等>ワークショップ「空想どうぶつえん〜創造ってすばらしい〜」/かみね動物園/日立(2013年)

<芸術系の活動・建築作品等>ワークショップ「目指せ!!石炭アーティスト〜石炭で自分の絵具を作り表現しよう〜」/リーベロ高萩/高萩(2013年)

<展示会>「茨城大学教員三人展」/Gallery ESPACE/ひたちなか(2013年)

<展示会>「Station」/日立駅情報交流プラザ/日立(2013年)

社会的活動、地域貢献など

大学美術教育学会 関東地区理事(2012年04月〜2014年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など

フランス パリ国立高等美術学校、ルーブル美術館、パリ周辺の美術館・博物館、ルーブル・ランスほか
[調査活動](2013年10月:6日間)

科学研究費補助金などの受領

富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用(基盤研究C・2014年〜2016年・分担)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 向野 康江
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1959 年 10 月
学歴・職歴	<p>筑波大学芸術学研究科博士課程修了(1994 年)</p> <p>茨城大学大学院教育学研究科指導教官(2004 年 10 月～)</p> <p>中華人民共和国 華東師範大学芸術教育研究センター特招聘研究員(2000 年 09 月～)</p> <p>茨城大学助教授(1996 年 10 月～)</p> <p>武蔵野美術大学短期大学部通信教育部にて日本・東洋美術史の非常勤講師(1993 年 04 月～1998 年 03 月)</p> <p>茨城大学教育学部講師・同大学大学院教育学研究科授業担当教官(1995 年 04 月～1996 年 09 月)</p> <p>茨城高等工業専門学校にて非常勤講師を兼任(1997 年 04 月～1998 年 03 月)</p> <p>中国 華東師範大学へ海外研修上、外国人講師を兼任(1998 年 09 月～1999 年 08 月)</p> <p>北九州市立大学博士課程後期(社会システム研究科・社会システム専攻)(2013 年 4 月入学・現在在籍)</p>
学位	博士(芸術学)[筑波大学]
受賞歴	<p>平成25年度ソロプチミスト日本財団活動資金援助クラブ賞(公益財団法人ソロプチミスト日本財団)(2013 年 04 月 05 日), 二零零一年全国中小学優秀美術課例表彰等奨(中国)(2001 年), 中国華東地区首届優秀美術課例表彰等奨(中国山東省教育学会美術教学研究專業委員会・華東師範大学芸術教育研究中心)(2001 年)</p>
所属学会	中国現代史研究会, 現近代東北アジア地域史研究会, 孫文研究会, 日本教育史研究会, 教育実践学会, 淡窓研究会, 大学美術教育学会, 教育史学会, 日本美術教育連合, 美術科教育学会, アジア教育史学会, 直方郷土研究会, 直方文化連盟特別会員
専門分野	近代日中関係史(経済史) 芸術学 教科教育学
教育研究概要	<p>向野堅一(1868-1931)伝記作成および向野コレクション(向野文庫を含む)に関する調査研究</p> <p>勤務先である大学教育においては美術教育について教えている。研究については向野堅一(1868-1931)研究に主眼を置いている。</p>

	(キーワード)向野堅一研究
担当科目	(教養科目)美術教育実践演習[主題別ゼミナール] (専門科目)図画工作科教育法研究, 美術科教育特別演習BI, 図画工作科内容研究, 図画工作科教育法研究, 美術科内容研究, 美術科教育特別演習BII, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 日本美術実地研究 (大学院科目)美術教育研究 II, 美術文化総合研究, 美術教育演習 II, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

茨城大学教育学部紀要第 63 号(分野:人社芸)所収 「向野堅一記念館所蔵『向野書簡目録』(二)13～30 頁, (三)31～48 頁, (四)49～67 頁」

社会的活動、地域貢献など

NPO 法人・向野堅一顕彰会研究会事務局・(2009 年 09 月～)
 NPO 法人・向野堅一顕彰会研究部・(2009 年 09 月～)
 淡窓研究会 淡窓研究会事務局・編集員(2005 年 01 月～)
 NPO 法人・向野堅一顕彰会(2013 年度)
 「中国人の玉認識アンケート調査について」(共同研究)
 「玉作品を対象にした鑑賞教育教材による授業/千波小学校での実践報告」(共同研究)
 「玉作品を対象にした鑑賞教育教材研究の開始」(共同研究)
 「「自分づくり」を支える教育活動の創造(第 1 年次)
 –他とのかかわり合いを通して–」(共同研究): 茨城大学教育学部附属小学校(2009 年～)
 向野堅一顕彰会 理事(非常勤)(2013 年 05 月～2014 年 03 月)
 [兼業]向野堅一顕彰会[理事(非常勤)](2013 年 05 月～2014 年 03 月)
 「向野堅一および向野コレクション(向野文庫を含む)研究」プロジェクトの開始[直方市](2007 年 11 月～)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 島 剛
------------------	--------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1963 年 7 月
学歴・職歴	東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了(1989 年 03 月) 茨城大学 助教授 教育学部(2000 年 04 月～) 東京藝術大学 美術学部彫刻科講師(非常勤)(1995 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学 講師 教育学部(1996 年 04 月～2000 年 03 月)
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	第 9 回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004 年), 第 2 回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000 年), 第 6 回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999 年), 第 7 回日本現代陶彫展'98、大賞(1998 年), 第 2 回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木 '95、大賞(1995 年), 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990 年), 第 19 回現代日本美術展、大賞(1989 年), オブジェ TOKYO 展'88、佳作賞(1988 年), 第 18 回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	彫刻 (キーワード) 彫刻の制作研究
担当科目	(教養科目) 美術教育実践演習[主題別ゼミナール], 美術の表現[人間と文学・芸術] (専門科目) 彫刻基礎/立体表現演習 I, 彫刻表現演習 I, 彫刻 I/立体表現演習 II, デッサン I/造形実技 I, 保育内容の研究(表現), 彫刻表現演習 II, 彫刻 II/立体表現演習 III, デッサンの基礎 II, デッサン指導実践演習, 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 表現の基礎 II, 塑造特別演習, 卒業研究, 日本美術実地研究 (大学院科目) 彫刻研究, 彫刻演習, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

<展示会> 0 point 1207-2/現代茨城の陶芸展/茨城県陶芸美術館(2014 年 02 月～2014 年 06 月)
 <展示会> 元型の海/茨城大学美術科教員展/ギャラリー ESPACE/茨城(2013 年 12 月)
 <展示会> 0 point /Art town in Misato 2013 風と土の芸術祭/会津美里町本郷地区(2013 年 09 月)
 <展示会> Leveling—地ならし/島剛展—parallel World—/ギャラリーしえる/水戸市(2013 年 04 月～2013 年 05 月)

<展示会> 生命の総体の器／sculptures×drawings展／六本木画廊／東京(2013年04月)

社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2009年08月～)

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2007年07月～)

[兼業]大阪教育大学〔講師〕(2007年01月～)

[兼業]茨城県教育研修センター〔講師〕(2006年07月～)

[出前授業]光洋高校〔講師〕(2006年05月～)

[兼業]桜の牧高校〔講師〕(2005年11月～)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 寺本 輝正
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949 年 8 月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1979 年)
学位	芸術学修士
受賞歴	水戸芸術館現代美術センターディレクター賞(1997 年), 板谷波山賞(1989 年), 茨城工芸会賞(1989 年)
所属学会	茨城工芸会, 世界漆文化会議, 日本文化財漆協会, 大学美術教育学会
専門分野	美術教育
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)美術教育実践演習[主題別ゼミナール], 木のいのち 木の魅力[文明・技術系科目] (専門科目)工芸表現演習 I, 工芸 I/生活用品デザイン演習 I, ベーシックデザイン, 生活資源プロジェクト I, 工芸表現演習 II, 工芸 II/生活用品デザイン演習 II, 工芸基礎/デザイン素材研究, 生活資源プロジェクト II, 卒業研究, 日本美術実地研究 (大学院科目)工芸・デザイン研究, 木材工芸研究, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 日下 裕弘
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年2月
学歴・職歴	筑波大学体育科学研究科博士課程(1984年) 仙台大学体育学部助教授(1985～1991) 茨城大学教養部助教授・教授(1991～1996) 茨城大学教育学部教授(現在まで)(1996年04月～)
学位	教育学博士
受賞歴	なし
所属学会	人体科学会, 日本社会学会, International Committee for Sociology of Sport, 日本スポーツ社会学会, 日本体育学会, 日本民族学会, 日本スポーツ史学会, 日本温泉協会
専門分野	体育学 人体科学・哲学 文化人類学 社会学
教育研究概要	教育学博士論文:「成立期におけるわが国のスポーツ精度に関する研究」(筑波大学)1984 「日本スポーツ文化の源流」、不昧堂出版)1996 <著書> 分担執筆「スポーツ規範の社会学」(不昧堂出版)1980 分担執筆「スポーツ技術の社会学」(不昧堂出版)1984 分担執筆「現代スポーツ指導者論:その社会学的な見方・考え方」(ぎょうせい出版)1988 分担執筆「スポーツ社会学への招待」(不昧堂出版)1990 分担執筆「スポーツ社会学ノート」(中央法規出版)1994 「日本の自然遊:湯浴の聖と俗」(近代文藝社)1995 編・分担執筆「身体活動の科学」(大修館書店)1995 分担執筆「生涯学習講座:今を生きる人間学」(分真堂)1997 編・分担執筆「健康スポーツの科学」(大修館書店)1999 編・分担執筆「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)2001 分担執筆「総合的な学習での野外校外体験事例:野外遊びと子どもの”からだ・こころ”」 (日本教育科学研究所)2002 分担執筆「温泉医学:湯治再発見」(日本温泉協会ほか)2002

<p>分担執筆「フロー理論の展開:自然体験活動におけるフローと身体アイデンティティ」(世界思想社)2003</p> <p>分担執筆“The emergence and development of Japanese school sport”, in “JAPAN SPORT AND SOCIETY:Tradition and Change in a Globalizing World”(Routledge)2006</p> <p>< 翻訳書 ></p> <p>分担翻訳「国際スポーツ社会学評論」(日本体育学会 体育社会学専門分科会)1977</p> <p>分担翻訳「スポーツ文化・社会」(ベースボールマガジン社)1988</p> <p>分担翻訳「スポーツと社会理論」(不昧堂出版)1991</p> <p>< 主要論文 ></p> <p>「明治期における武士的・武士道的野球信条に関する文化社会学的研究」(体育・スポーツ社会学研究)1985</p> <p>“The Development of Baseball Organizations in Japan”(International Review for the Sociology of Sport)1987</p> <p>「一般成人のスポーツ観に 関する研究」(体育・スポーツ社会学研究)1988</p> <p>「スポーツ制度論に関する成果と課題」(体育・スポーツ社会学研究)1991</p> <p>「体育教育における生涯体育論の再検討:E. H. エリクソンのアイデンティティ論のバースペクティブから」(教育学論説資料)1991</p> <p>「日本の自然遊:湯浴文化の隠れた形」(スポーツ社会学研究)1995</p> <p>「湯治の身体論的意義」(人体科学)1998</p> <p>「高齢者の生きがいと自然遊に関する研究:ハイキング・登山実践者の事例から」(スポーツ社会学研究)1999</p> <p>「高齢者の温泉浴に関する研究:湯浅の身体論に準拠して」(体育学研究)1999</p> <p>「糖尿病の克服に関する事例研究」(人体科学)2000</p> <p>「中国におけるレジャー研究の分析枠組み」(中国関係論説資料)2000</p> <p>「自然遊びにおける子どもの笑顔とその<身体>」(体育学研究)2003</p> <p>「スポーツ身体論序説:ひとつの社会学的分析枠組みの提示」(スポーツ社会学研究)2004</p> <p>「遊戯世界における子どもの身体:光るどろだんごづくりを事例に」(人体科学会)2004</p> <p>「スポーツ身体論序説」(日本スポーツ社会学会)2004</p> <p>(キーワード)子どもの遊び、スポーツの歴史社会学、生涯スポーツ、高齢者の健康、温泉</p> <p>体育学、教育学、社会学、哲学、身体論、民俗学</p>
--

担当科目	(教養科目)テニスⅡ(C)[身体活動], 卓球Ⅰ(C)[身体活動], 卓球Ⅱ(C)[身体活動] (専門科目)体育史, 卓球・テニス/卓球・テニス指導法/卓球・テニス, 生涯スポーツの実現, 体育経営管理学, 体育スポーツ社会学, 体育科教育法研究, ボールゲーム方法論Ⅱ, 卒業研究 (大学院科目)体育社会学特論, 保健体育授業設計, 体育科学総合研究, 特別課題研究
------	--

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 篠田 明音
------------------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
生年月	1976 年 12 月
学歴・職歴	上越教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了(2003 年 03 月)
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ運動学会, 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究会, 日本体育・スポーツ哲学会, 運動伝承研究会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード)表現運動, 表現する身体, ダンス, 運動学(方法学を含む)
担当科目	(教養科目)身体活動[ソフトボール(C)], 身体活動[フィジカルフィットネス(M)] (専門科目)ダンス・身体表現

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 渡邊 将司
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1978年5月
学歴・職歴	筑波大学人間総合科学研究科博士課程修了(2006年03月) 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006年04月～2007年03月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007年04月～2009年03月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009年04月～)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008年11月), Roy Acuff ACSM Abstract Award (2005年05月)
所属学会	National Strength and Conditioning Association, American College of Sports Medicine, 日本トレーニング科学会, 日本発育発達学会, 日本成長学会, 日本体力医学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近では早生まれの子どもの運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード)発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目)保健体育入門[主題別ゼミナール], ソフトボール I(C)[身体活動]/保健体育科総合演習/保健体育特別演習 II, ソフトボール II(C)[身体活動], 屋内ボールゲーム I(M)[身体活動]/保健体育特別演習 I (専門科目)体育科教育法研究, 保育内容の研究(健康), 形態学, 陸上競技方法論, 陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技, 測定評価, 卒業研究 (大学院科目)保健体育授業設計, 形態学特論, 体育科学総合研究, 授業展開ケーススタディ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「オリンピック・世界選手権代表選手における青少年期の競技レベル — 日本代表選手に対する軌跡調査 —」, 陸上競技研究紀要, 9, 1-6, 2014.

Masashi Watanabe, Yuki Hikihara, Masahiro Horiuchi, "Does the usage of a pedometer and a diary

improve physical activity during the snowy season?”, Human Performance Measurement, 10, 8-15, 2013.

「中学校 3 年間における生徒の身体活動量ならびに体力の経年変化 ―首都圏郊外の追跡事例―」, 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「生活習慣病予防や身体機能維持のためのエネルギー・たんぱく質必要量の推定法に関する基盤的研究」平成 25 年度総括・分担研究報告書, , 21-33, 2014.

研究業績(2)学会発表など

<その他> 笠間市スポーツ少年団研修会(家庭でできるケガ予防の体作り)(2014 年 02 月)

<その他> 鉾田市スポーツ推進委員連絡協議会(ウォーキング講習会)(2013 年 12 月)

<その他> 日立第一高等学校附属中学校 健康教育講座(トータル・フィジカルトレーニング)(2013 年 11 月)

立川市保育課研修会(子どもが楽しくなる運動遊びのヒント)(2013 年 11 月)

<その他> 茨城県教育研修センター スポーツ医科学研修講座(テーピングの理論と実際)(2013 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

[その他]「臨海実習」筑波大学における集中授業(2013 年度実施)

[その他]「からだの成長」筑波大学における集中授業(2013 年度実施)

日本陸上競技連盟 普及育成委員(2013 年 06 月～2015 年 06 月)

[兼業]日本陸上競技連盟[普及育成委員](2013 年 06 月～2015 年 06 月)

[兼業]日本陸上競技連盟[普及育成委員](2011 年 04 月～2013 年 06 月)

科学研究費補助金などの受領

「幼少期の運動スキルや体力は、思春期の身体活動状況の予測因子となるか?」[科研費]若手研究(B)(代表)(2013 年 04 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 吉野 聡
------------------	---------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1967年6月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程(1993年)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(2006年03月10日)
所属学会	日本体育学会, 日本体育授業研究会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	<p><球技カリキュラム> 実証的な球技の分類、各カテゴリーで保障すべき技能水準、球技スキルの効果的な指導法に関する研究行っています。</p> <p><体育教師教育> 体育・保健体育科を指導する大学生、初任・中堅教員の指導力向上に役立つ研修のあり方について研究を行っています。</p> <p>(キーワード)球技カリキュラム 体育教師教育 授業研究 指導法</p>
担当科目	<p>(教養科目)サッカー I(C)[身体活動], サッカー II(C)[身体活動], ソフトボール II(C)[身体活動]</p> <p>(専門科目)体育科内容研究, 保育内容の研究(健康), ボールゲーム方法論 I, 体育科教育法研究, サッカー指導法/サッカー/サッカー/サッカー, 保健体育科教育法研究 I, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)保健体育授業設計, 体育教育特論, 体育科学総合研究, 体育教育演習</p>

社会的活動、地域貢献など

日本スポーツ教育学会 国際交流委員長(2009年04月～)

日本体育科教育学会 国際交流委員長(2011年04月～2013年3月)

日本体育学会 日本体育学会・International Journal of Sport and Health Science 編集委員(2013年04月～2015年03月)

日本スポーツ教育学会 日本スポーツ教育学会・理事・国際交流委員長(2009年04月～2015年03月)

日本体育授業研究会 日本体育授業研究会編集委員会・理事・編集委員(2007年08月～2014年08月)

学校体育振興事業技術審査委員会(2013 年度)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(2013 年度)

海外出張・海外研修・内地研修など

ポーランド ワルシャワ・J.Pilsudski University of Physical Education[学会参加](2013 年 7 月:5 日間)

ニュージーランド オークランド・Auckland University [学会参加](2014 年 2 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

学校体育における球技カリキュラム構築のための理論的・実践的研究

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 工藤 雄司
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	<p>東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1987年03月)</p> <p>学校法人科学技術学園高等学校・教諭(1987年04月～1991年03月)</p> <p>筑波大学附属坂戸高等学校・文部教官教諭(1991年04月～2012年03月)</p> <p>茨城大学・教授(教育学部 技術教育教室)(2012年04月～)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報コミュニケーション技術」(2000年04月～2004年09月)</p> <p>筑波大学・非常勤講師(人間学群)「教育内容・方法論」(2004年04月～)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2005年04月～2005年09月)</p> <p>愛知教育大学・非常勤講師(教育学部)「工業科教育C」(2007年12月～2008年03月)</p> <p>茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報教育研究法」(2009年04月～2012年03月)</p> <p>埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009年10月～)</p> <p>茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」「職業指導原論」(2010年04月～2012年03月)</p>
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	日本教育情報学会論文賞(日本教育情報学会)(2013年11月09日)
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本工業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育情報学会, 筑波大学教育学会, 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 情報教育
教育研究概要	(キーワード)各教科の教育(技術, 情報), 専門教科の教育(工業), 情報教育, 教材開発
担当科目	(教養科目)技術教育概論[主題別ゼミナール], 情報処理概論[情報処理概論] (専門科目)技術科教育演習A, 情報システム, 工業科教育法, 技術科教育法研究II, 基礎情報処理/情報通信ネットワーク演習/基礎情報処理, 情報教育研究法, 情報と職業, 卒業研究

(大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科教育特論 I, 技術科授業設計, 技術科教育演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

伊藤大河, 山本利一, 工藤雄司「高等学校「情報科」で指導する災害発生時の情報伝達に関する授業実践」, 日本情報科教育学会誌, 6, 1, 11-16, 2013.
--

研究業績(2)学会発表など

本村猛能, 森山潤, 山本利一, 角和博, 工藤雄司, 「諸外国の中学・高等学校情報教育における教授内容の比較研究」(日本教育情報学会第 29 回年会 11-2013(沖縄)・2013 年 11 月)
工藤雄司, 平田晴路, 「制御技術を扱う学習教材の開発について」(日本産業技術教育学会第 56 回全国大会(山口)・2013 年 08 月)
工藤雄司, 本村猛能, 「中学校技術科情報分野と高校共通教科「情報」の体系化ー論理回路学習における科学的理解の実践を通してー」(日本産業技術教育学会第 56 回全国大会(山口)・2013 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

日本工業技術教育学会 事務局(1998 年 07 月～)
日本工業技術教育学会 編集委員(1998 年 07 月～)
[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]茨城大学教育学部附属中学校公開授業研究会共同研究者, 茨城大学教育学部附属中学校(2013 年度実施)
[非常勤講師]埼玉大学教育学部[非常勤講師](2012 年 04 月～)
[非常勤講師]筑波大学人間学群[非常勤講師](2012 年 04 月～)
[非常勤講師]筑波技術大学[非常勤講師](2012 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

「触覚・力覚インタフェースによる制御学習支援システムの研究」[科研費]萌芽研究(代表)(2013 年 04 月 01 日～2016 年 03 月 31 日)
--

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 榊 守
------------------	--------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年4月
学歴・職歴	豊橋技術科学大学工学研究科修士課程修了(1987年) 茨城大学教育学部 技術教育 助教授(2000年04月～) 鉏路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987年04月～1989年03月) 鉏路工業高等専門学校 電気工学科 講師(1989年04月～1993年03月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994年04月～1996年03月) 鉏路工業高等専門学校 電気工学科 助教授(1996年04月～2000年03月)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	平成7年度 優秀論文発表賞(電気学会)(1995年)
所属学会	日本産業技術教育学会, 応用物理学会, 表面技術協会, 日本視覚障害理科教育研究会, 日本生活支援工学会
専門分野	放電応用 福祉機器
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。 研究分野: アークやグロー放電の基礎研究および視覚障害者用学習支援装置の研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 技術教育概論[主題別ゼミナール], 物理学実験基礎[物理学] (専門科目) 電気工学, 電気の基礎技術, 電気工学演習, 基礎電気, 電気の応用技術, 家庭電気・機械, 卒業研究 (大学院科目) 電気工学特論 I, 技術と生活総合研究, 電気工学演習 I, 技術科授業設計

研究業績(2) 学会発表など

郡司和徳、榊 守、小野浩二、「Kinectを用いた視覚障がい生徒用「中学理科・直並列回路実験」支援装置の開発」(第4回福祉情報教育フォーラム・2013年08月)

柴田伊織、鈴木 渉、片岡李那、榊 守、金田幸裕、「視覚障がい者用高感度”光プローブ”の開発」(第4回福祉情報教育フォーラム・2013年08月)

社会的活動、地域貢献など

関東甲信越地区視覚障害教育研究会

助言者および講習担当[茨城県立盲学校](2009年11月～)

科学研究費補助金などの受領

平成24ー平成26 挑戦的萌芽研究 「盲学校の理科実験で使用する音階出力高感度感光器の開発」
研究代表 課題番号 24653290

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 白坂 高司
------------------	----------

教員履歴など

現職	講師
生年月	1981年4月
学歴・職歴	広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了(2011年03月)
学位	博士(学術)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本科学教育学会, 日本教育工学会, 教育システム情報学会, 電気学会
専門分野	木材加工教育, 教科教育学
教育研究概要	(キーワード) 中学校技術科, 木材加工, ものづくり教育, 技術教育, 教育システム
担当科目	(教養科目) 技術教育概論[主題別ゼミナール], 情報処理概論[情報処理概論] (専門科目) 技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術, 木材加工演習, 基礎木材加工, 木材加工の応用技術, 木材加工学, 卒業研究, 技術科指導論 (大学院科目) 技術と生活総合研究, 木材加工学特論, 技術科授業設計, 木材加工学演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

飯塚尊, 白坂高司「木材加工学習における Flash を用いた学習支援教材の開発」, 茨城大学教育実践研究, 第 32, 61-69, 2013.

藤井貴広, 白坂高司, 野崎英明「新学習指導要領における中学校技術科の指導状況に関する調査研究」, 日本産業技術教育学会誌, 第 55, 3, 155-162, 2013.

研究業績(2) 学会発表など

保坂和樹, 白坂高司, 「単語の関連から見る技術・家庭技術分野教科書の内容比較」(日本教育工学会第 29 回全国大会(秋田)・2013 年 09 月)

白坂高司, 山本透, 「データ駆動型内部モデル制御に基づく学習支援システムの設計」(電気学会 電子・情報・システム部門大会・2013 年 09 月)

長松正康, 白坂高司, 川田和男, 山本透, 「制御工学的アプローチに基づく教師-学習者間モデルに関する考察」(電気学会 電子・情報・システム部門大会・2013 年 09 月)

高橋将太郎, 白坂高司, 「木材加工学習の目違い払い場面における工程と思考要因の解析」(日本産業技術教育学会第 56 回全国大会(山口大学)・2013 年 08 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 数井 みゆき
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年4月
学歴・職歴	<p>メーランド大学院博士課程修了(1991年)</p> <p>茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006年04月～)</p> <p>茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996年04月～2005年)</p> <p>成蹊大学、東京女子大学等 非常勤講師(1992年04月～1994年03月)</p> <p>日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994年04月～1996年03月)</p>
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メーランド大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998年)
所属学会	日本発達心理学会, 児童発達研究学会(society of Research in child Development), 日本教育心理学会, アメリカ心理学会(American Psychological Association), 日本心理臨床学会, 日本保育学会, 日本心理学会
専門分野	教育心理学
教育研究概要	<p>本学では、家政教育教室で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。</p> <p>専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、アタッチメントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を始めている。</p> <p>(キーワード)アタッチメント(の世代間関連)、養育、喪失</p>
担当科目	<p>(教養科目)生活環境とライフスタイル[生活・福祉系科目]</p> <p>(専門科目)親子関係学, 保育学, 学校における子ども虐待の予防と防止/情報文化特講/学校における子ども虐待の予防と防止, 中等家庭科内容研究, 保育学演習, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)児童学特論, 児童学演習, 家庭科授業設計, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

『アタッチメントの実践と応用』(編著)、誠信書房、平成24年8月1日出版。

社会的活動、地域貢献など

<p>[自治体での社会教育]</p> <p>「増加するDVやネグレクトに対する学校の対応」、茨城県高等学校長協会(平成24年度)</p>
--

「非行少年にとってのアタッチメント」、茨城県警察本部 生活安全部少年課(平成24年度)
「子ども・家庭の問題を解決しうる家庭科のあり方」、茨城県高等学校教育研究会家庭部 (平成25年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

“国際アタッチメント学会第6回大会”イタリア バヴィア、パヴィア大学[学会出席](2013年8月～9月:4日間)

科学研究費補助金などの受領

「父方祖父－父親－子の3世代におけるアタッチメント(Attachment relationships among father-side grandfather, father, and preschooler)」[科研費](B)(2012年04月01日～2017年03月31日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 木村 美智子
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年3月
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1989年03月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010年10月～)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995年10月～1999年03月)</p> <p>太田看護専門学校・非常勤講師(1990年04月～)</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983年04月～1984年03月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(1987年08月～1988年03月)</p> <p>桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988年04月～1989年03月)</p> <p>桜の聖母短期大学・講師(1989年04月～1993年03月)</p> <p>桜の聖母短期大学・助教授(1993年04月～1999年03月)</p> <p>東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999年04月～2004年03月)</p> <p>東北文化学園大学・助教授(2004年04月～2009年03月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2009年04月～2012年03月)</p>
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	<p>日本環境共生学会発表論文賞(Japan Association for Human and Environmental Symbiosis)(2006年09月), お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金(Ochanomizu University)(1995年11月), お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金(Ochanomizu University)(1989年11月)</p>
所属学会	日本繊維製品消費科学会, 日本家庭科教育学会, 日本環境共生学会, 日本環境教育学会, 日本生活学会, 日本油化学会, 繊維学会, 日本家政学会
専門分野	生活科学一般(衣生活) 科学教育 環境影響評価・環境政策
教育研究概要	<p>環境に配慮したライフスタイルを構築するための研究を展開しています。その1つは環境負荷を低減する洗濯方式に関する研究、2つ目は天然資源を有効に活用する染色方法に関する研究、3つ目に環境教育の視点に立った家庭科教育の研究を進めています。</p> <p>(キーワード) 洗浄科学, 生活環境学, 環境教育</p>
担当科目	<p>(教養科目) 生活環境とライフスタイル[生活・福祉系科目]</p> <p>(専門科目) 被服構成学基礎, アパレル科学, 衣生活論, 被服環境学, 初等家庭科内容研究, 被服科学, 被服構成学応用, 被服学演習, 卒業研究</p>

(大学院科目)被服学特論, 生活科学総合研究, 被服学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

木村美智子「大学生の環境配慮意識・行動に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 131-138, 2014.

岡田睦美・木村美智子「タマネギ外皮染色布の紫外線防止効果に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 63, 57-62, 2014.

菅井清美・諸岡晴美・後藤景子・木村美智子・光松佐和子・渡邊敬子「消費者の視点からの衣生活概論」, 井上書院, 88-99, 2013.

研究業績(2)学会発表など

木村美智子, 「大学生の環境配慮意識・行動に関する研究—韓国と日本の比較—」(日本環境共生学会第 16 回学術大会・2013 年 09 月)

木村美智子, 「環境配慮行動に関する研究—韓国と日本の比較—」(日本環境教育学会第 24 回大会・2013 年 07 月)

社会的活動、地域貢献など

日本環境共生学会 理事(2007 年 05 月～)

日本油化学会 洗剤・洗浄部会幹事(2007 年 04 月～)

日本環境共生学会 日本環境共生学会・理事(2007 年 03 月～)

日本油化学会 洗浄・洗剤部会・幹事(2005 年 04 月～)

宮城県環境審議会水質専門員(2006 年 03 月～)

宮城県環境影響評価技術審査会委員(2008 年 01 月～)

[非常勤講師]お茶の水女子大学(2010 年 10 月～)

[非常勤講師]太田西ノ内病院附属看護学校(1990 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

スウェーデン スtockホルム、ウプサラ、イエブレほか・Stockホルム市庁舎、ウプサラ市水道局、イエブレ地域開発局[聞き取り調査、バイオガス生産システム見学、授業見学ほか](2013 年 9 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 西川 陽子
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1969年4月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(1998年) お茶の水女子大学大学院人間環境学 助手(1998年04月～2001年03月) ースウェスタンリザーブ大学, 生化学(Dr.Monnier)研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州,クリーブランド)博士研究員(2001年04月～2002年03月) 茨城大学 教育学部 家政教育 准教授(2002年04月～)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	(2001年)日本農芸化学会論文賞
所属学会	社)日本農芸化学会, 日本ビタミン学会, (社)日本家政学会, 日本調理科学会, 日本食品化学学会
専門分野	食品科学 食生活学
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明 ・生体内メイラード反応におけるアスコルビン酸の作用機序の解明 ・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝について ・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方 (キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育
担当科目	(専門科目)食物科学, 食生活論, 食生活と健康, 食物学演習, 初等家庭科内容研究, 栄養学, 食品衛生管理学, 卒業研究 (大学院科目)食物学特論, 食物学演習, 家庭科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

西川陽子, 「生きる力」として求められる教育の再考, 茨城教育, 842, 4-13, 2013.

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]茨城キリスト教大学[講師](2007年04月～)

[その他]茨城キリスト教大学[倫理審査委員会委員](2006年07月～)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 野中 美津枝
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 3 月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(2001 年 03 月) 茨城大学教育学部・准教授(2013 年～) 愛媛大学教育学部・准教授(2010 年 12 月～2013 年 03 月) 愛媛大学教育学部・講師(2009 年 04 月～2010 年 11 月) 東筑紫短期大学食物栄養科・助手(1983 年 04 月～1983 年 08 月) 山口県立美祢高等学校・家庭科講師(1984 年 01 月～1984 年 03 月) 山口県立徳佐高等学校・家庭科教諭(1984 年 04 月～1987 年 03 月) 山口県立久賀高等学校・家庭科教諭(1987 年 04 月～1987 年 08 月) 三基商事株式会社お客様相談室・消費生活アドバイザー相談員(1992 年 04 月～1993 年 03 月) 千葉商科大学附属高等学校・家庭科教諭(1994 年 04 月～2008 年 03 月) 九州女子大学家政学部人間生活学科・准教授(2008 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会, 日本消費者教育学会, 日本家政学会, 日本家庭科教育学会
専門分野	生活科学一般 教科教育学
教育研究概要	(キーワード)家庭科、消費者教育、食教育、参加型アクション志向学習
担当科目	(教養科目)生活科学の視点[主題別ゼミナール] (専門科目)生活科内容研究, 家庭科教育実践研究, 初等家庭科教育法研究, 家庭科教諭, 中等家庭科内容研究, 家庭科教育学演習, 初等家庭科教育法研究, 中等家庭科教育法研究, 初等家庭科教育法研究 (大学院科目)家庭科教育特論 I, 家庭科授業設計, 家庭科教育演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「高校生における食育と食生活の授業づくり」, 家庭科通信, , 51, 3-7, 2013.

研究業績(2)学会発表など

野中 美津枝, 「高校生の家庭形成意識と家庭科教育」(日本家庭科教育学会 2013 年度例会・2013 年

12 月)

社会的活動、地域貢献など

日本家庭科教育学会関東地区会 日本家庭科教育学会関東地区会「関東地区高校家庭科研究会」・代表(2013 年 04 月～2015 年 03 月)

[その他]「学校における食育の理由と今後」, 草加市立高砂小学校(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]「消費者教育の授業づくり」, 愛媛県教育研究協議会(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]「家庭科における問題解決的な学習の授業づくり」, 山口県高等学校教育研究会(2013 年度実施)

愛媛大学教育学部 非常勤講師(2013 年 04 月～2013 年 09 月)

[非常勤講師]愛媛大学教育学部[非常勤講師](2013 年 04 月～2013 年 09 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 佐藤 裕紀子
------------------	-----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1968年2月
学歴・職歴	お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程単位取得満期退学(2004年03月)
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会, 日本家政学会家族関係学部会, 日本家政学会生活経営学部会, 日本家族社会学会, 日本家庭科教育学会, 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	(キーワード)家族関係、家政教育、家庭科教育、ライフスタイル、生活時間
担当科目	(教養科目)生活環境とライフスタイル[生活・福祉系科目] (専門科目)初等家庭科内容研究, 現代家族論, 家庭経営学, 家庭経営学演習, 家事労働論, 卒業研究 (大学院科目)生活科学総合研究, 家庭関係学特論, 家庭関係学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

直井裕紀・佐藤裕紀子「中学校教員のワーク・ライフ・バランスとその背景」, 茨城大学教育実践研究, 32, 71-80, 2013. 佐藤裕紀子「ワークショップ「生活する、生涯生きていくのに必要な生活行為・活動」にはどのようなものがあるか」, 生活経営学研究, 49, pp.18-19, 2014.
--

研究業績(2)学会発表など

妹尾理子、西原直枝、井元りえ、大矢英世、加賀恵子、佐藤典子、佐藤裕紀子、志村結美、檜府暢子、新實五穂、「EDDとしての家庭科教育の可能性と役割 中間報告」(日本家庭科教育学会第56回大会・2013年06月)

社会的活動、地域貢献など

日本家庭科教育学会 課題研究「ESDとしての家庭科教育の可能性と役割」研究会・会計(2012年03月～2014年03月) 一社)日本家政学会家政学原論部会 「家政学原論部会行動計画2009-2018」授業研究グループ・
--

(2010 年 08 月～2018 年 08 月)

水戸市少子対策検討委員会(2013 年度)

[兼業]茨城県高等学校家庭クラブ連盟〔審査委員〕(2014 年 01 月)

[兼業]茨城県教員免許状更新講習専門委員会〔教員免許状更新講習講師〕(2013 年 05 月)

科学研究費補助金などの受領

「家庭科における生活資源とライフスタイル選択に関する実践的ライフキャリア教育の研究」〔科研費〕基盤研究(C)一般(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」〔科研費〕基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 猪井 新一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年9月
学歴・職歴	千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979年04月～1993年03月) 奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993年04月～2001年09月) 北海道教育大学教育学部助教授・旭川校(2001年10月～2004年03月) 北海道教育大学教育学部教授・旭川校(2004年04月～2005年03月) 会津大学短期大学部・教授(2005年04月～2007年03月) 茨城大学教育学部・教授(2007年04月～現在) 東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了(2008年09月)
学位	博士(学術)[東北大学大学院情報科学]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会, 全国英語教育学会, 全国語学教育学会(JALT), 大学英語教育学会(JACET), 小学校英語教育学会, 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略, 小学校外国語活動
担当科目	(教養科目) 総合英語(プレレベル3), ことばの力 (専門科目) 英語科教育法研究 I, 小学校英語 I, 英語コミュニケーション III, 英語科内容研究, 卒業研究 (大学院科目) 英語科授業設計, 英語教育学特論 I, 言語と文化総合研究, 英語教育学演習 I, 特別課題研究

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

猪井新一・真歩仁しょうん「小学校外国語活動は必修化後変化したのか, しないのか。」, 茨城大学教育実践研究, , 32, 81-95, 2013.

研究業績(2) 学会発表など

猪井新一, 「小学校教員および中学校教員から見た外国語活動の児童・生徒に及ぼす影響」(第39回全国英語教育学会北海道研究大会・2013年08月)

猪井新一・真歩仁しょうん, 「外国語活動の小中連携に関する全国調査」(第13回小学校英語教育学会沖縄大会・2013年07月)

真歩仁しょうん・猪井新一, 「小学校 ALT の視点から見た「外国語活動」: 全国調査の結果」(第 13 回小学校英語教育学会沖縄大会・2013 年 07 月)

社会的活動、地域貢献など

全国英語教育学会 ARELE 査読委員(2012 年 04 月～)

小学校英語教育学会 学会誌査読委員(2012 年 04 月～2014 年 03 月)

茨城大学教育学部附属中学校 平成 25 年度茨城大学教育学附属中学校教育研究協議会・共同研究者(2013 年 04 月～2014 年 03 月)

[その他]平成 25 年度小美玉市中学生英語プレゼンテーションフォーラム, 小美玉市教育委員会(2013 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]平成 25 年度茨城大学教員免許状更新講習会 I 期・II 期
講座名: 小学校外国語活動, 茨城大学(2013 年度実施)

[その他]第 2 回茨城県小学校外国語活動交流会, 茨城大学教育学部猪井研究室(2013 年度実施)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ テンピ・アリゾナ州立大学[学会参加](2013 年 11 月: 3 日間)

科学研究費補助金などの受領

「外国語活動に関する児童の好き嫌いの度合いと学級担任の満足度」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

「習得困難度と中心特性に焦点化した小学校教員用英語発音向上マルチメディア教材開発」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

「小・中学校の英語学習・指導の一致性に関する調査」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 君塚 淳一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	茨城大学教育学部教授(2006年04月～) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2006年03月) 中国短期大学英語英文科専任講師(1993年04月～1997年03月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997年04月～1999年09月)
学位	文学修士
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(茨城大学)(2004年04月21日), 第1回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998年)
所属学会	英文学会, 黒人研究会, 英米文化学会, 日本マラマッド協会, アメリカ学会, アメリカ文学会, ポップカルチャー学会, 多民族研究学会
専門分野	アメリカ文学
教育研究概要	<p>アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。</p> <p>ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Gold などを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。</p>
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)総合英語(学術)

	<p>(専門科目) 英米文学演習 IV, 英米文学演習 III, 言語と文化の諸相, 英米文学特講 IV, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学概論 II/アメリカ文学史, 英米文学特講 III, 映像作品と時代そして文化的背景, 卒業研究</p> <p>(大学院科目) 英米文学特論 I, 英語科授業設計, 英米文学演習 I, 言語と文化総合研究, 特別課題研究</p>
--	--

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「ガーヴェイとワシントンにとっての大衆・教育・自立」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会), , 2014.
 多民族研究学会編『エスニック研究のフロンティア』, 金星堂書店, 2014.

研究業績(2) 学会発表など

「The Monkees—British Invasion が生んだ 1960 年代アメリカン・ポップ・バンドの光と影」(ポップカルチャー学会第 48 回例会・2013 年 12 月)
 アメリカ 1920 年代の黒人指導者マーカス・ガーヴェイと、同じくそれ以前の指導者ブッカー・T・ワシントンの関連を、昨今のワシントン再評価の中で探る。「ガーヴェイとワシントンにとっての大衆・教育・自立」(英米文化学会第 142 回例会・2013 年 11 月)

社会的活動、地域貢献など

多民族研究学会 副会長(2012 年 04 月～)
 英米文化学会 理事(編集委員長)(2011 年 10 月～)
 [非常勤講師] 青山学院女子短期大学[非常勤講師](1995 年 04 月～2012 年 3 月)
 大学模擬授業を「ハリウッド映画から見るアメリカ」と題して行った。[茨城県立取手第一高校](2009 年 06 月～), 大学模擬授業として「ハリウッド映画から見えるアメリカーその歴史と映画の観かた」と題して講義を行う。[茨城県立水戸桜の牧高校](2007 年 11 月～)

科学研究費補助金などの受領

「マーカス・ガーヴェイとハーレム・ルネッサンスの黒人たち—その反目と裏と表」(2012 年 4 月～)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 小林 英美
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 10 月
学歴・職歴	早稲田大学教育学研究科博士課程修了(2001 年) 茨城大学教育学部・准教授(2003 年 04 月～) 早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000 年 04 月～) 法政大学付属第一高等学校・非常勤講師(1990 年 04 月～1991 年 03 月) 国土舘大学・非常勤講師(1993 年 04 月～1995 年 03 月) 早稲田大学教育学部助手(1994 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城県立医療大学・非常勤講師(1995 年 04 月～2003 年 03 月) 東邦大学・非常勤講師(1996 年 04 月～1997 年 03 月) 日本学術振興会特別研究員(1997 年 04 月～1999 年 03 月) 学習院大学・非常勤講師(1999 年 04 月～2003 年 03 月) 東京国際大学・非常勤講師(2000 年 04 月～2003 年 03 月)
学位	学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	イギリス・ロマン派学会, 欧米言語文化学会, 日本ジョンソン協会, 早稲田大学英語英文学会, 日本英文学会, 美学会, 日本カレドニア学会
専門分野	ヨーロッパ語系文学
教育研究概要	<p>18－19 世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関心を音読実践と童謡から引き出す。</p> <p>研究においては、18－19 世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行っている。教育においては、英詩の魅力を、音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによって、学生の理解が深まるようにしている。</p> <p>(キーワード)イギリス文学、18 世紀、19 世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、コウルリッジ、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の 18－19 世紀英国作曲家による音楽受容、18－19 世紀出版事情、予約購読出版、貸本店</p>

担当科目	<p>(教養科目)総合英語(プレレベル3), 英国文化入門 — 再発見と再利用の文化史 [人間と文学・芸術]</p> <p>(専門科目)英米文学概論 I, 英米文学演習 I, 言語と文化の諸相, 英米文学演習 II, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学特講 I, 英米文学特講 II, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)英語科授業設計, 英米文学特論 II, 言語と文化総合研究, 英米文学演習 II, 研究と教育— 知の往還をめぐって—</p>
------	--

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

Hidemi Kobayashi (訳), "Visitors Guide: Tenshin Monuments", Ibaraki University, 全ページ, 2014.

研究業績(2) 学会発表など

小林英美, 「予約購読出版詩集と定期刊行物書評—— Grant 夫人の場合」(欧米言語文化学会第 127 回例会・2013 年 12 月)

イギリス・ロマン派講座・名詩の解釈と鑑賞(講座の司会)(2013 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

欧米言語文化学会 監査役(2001 年 04 月～)

[非常勤講師]早稲田大学教育学部(2007 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス ロンドン、オックスフォード・大英図書館、オックスフォード大学[資料収集、調査研究](2013 年 9 月:12 日間)

科学研究費補助金などの受領

「英国 18-19 世紀予約購読出版詩集と定期刊行物における書評についての研究」[科研費](代表)
(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 竝木 崇康
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年1月
学歴・職歴	<p>東京教育大学大学院文学研究科博士課程中退(1976年03月)</p> <p>教育学部教授</p> <p>大学院教育学研究科教授(1995年04月～)</p> <p>教育学部助教授(1984年10月～1995年03月)</p> <p>教育学部助手(1976年04月～1978年03月)</p> <p>教育学部講師(1978年04月～1984年09月)</p> <p>フルブライト若手研究員として、アメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語形態論の研究に従事(1982年08月～1983年08月)</p> <p>大学院教育学研究科助教授(1990年04月～1995年03月)</p> <p>文部省在外研究員としてアメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語と日本語の形態論の研究に従事(1997年03月～1998年01月)</p>
学位	文学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	茨城大学平成20年度推奨授業により学長表彰(Ibaraki University)(2009年06月10日)
所属学会	大塚英文学会, The Linguistic Society of America, Morphology and Lexicon Forum, 日本英語学会
専門分野	形態論 語彙 日本語学 語形成 英語学
教育研究概要	(キーワード)語形成、形態論、語彙論、複合語、語の構造、複合語の意味解釈
担当科目	<p>(教養科目)学習・調査・レポート作成の基礎力養成[主題別ゼミナール], 総合英語(学術)</p> <p>(専門科目)英語学演習 I, 英語学概論 II, 英文法, 英語学演習 II, 英語学概論 I, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)英語学特論 I, 英語科授業設計, 言語と文化総合研究, 英語学演習 I</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

竝木 崇康「日英対照 英語学の基礎」, くろしお出版, 31-59, 2013.

社会的活動、地域貢献など

日本英語学会 日本英語学会評議員(1990年11月～)

「自然言語処理の高度化に向けて」(共同研究):(不明年～)

「日本語レキシコンの文法的・意味的・形態的特性」(共同研究): 国立国語研究所(2009年10月～)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](1998年04月～)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 齋藤 英敏
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1966 年 7 月
学歴・職歴	博士課程修了(2000 年) 茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006 年 04 月～) 茨城県立土浦湖北高等学校英語科教諭(1989 年 04 月～1991 年 07 月) (1992 年 08 月～1994 年 05 月) 千葉大学外国語センター 非常勤講師(英語)(1998 年 04 月～1999 年 03 月) フェリス女学院大学 非常勤講師(英語)(1998 年 04 月～1999 年 03 月) 立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語)(1999 年 04 月～2000 年 03 月) 北星学園大学経済学部 専任講師(2000 年 04 月～2003 年 03 月) 北星学園大学経済学部 助教授(2003 年 04 月～2004 年 03 月) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004 年 04 月～2006 年 03 月)
学位	PhD
受賞歴	なし
所属学会	National Council on Measurement in Education, 日本言語テスト学会, 大学英語教育学会, 日英・英語教育学会, 全国語学教育学会
専門分野	外国語テスト、評価 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教育
教育研究概要	外国語教育での評価、テスト、外国語学習 (キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導
担当科目	(教養科目)総合英語(レベル3) (専門科目)英語科教育法研究 II, 英語科教科論 II, 英語コミュニケーション, 英語コミュニケーション II, 英語コミュニケーション VII, 英語科教育法特講, 卒業研究 (大学院科目)英語科授業設計, 英語教育学特論 II, 言語と文化総合研究, 英語教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

SAITO, Hidetoshi, "The development of a new assessment form for the EFL discussion contest for junior high school students--Ibaraki Interactive English Forum", 茨城大学教育学部紀要, 62, 269-281, 2013. 齋藤英敏. 「統合的スキル活動群をデザインする」, 第 36 回関東甲信地区英語教育研究協議会茨城大会報告書, 71-76, 2013.
--

JACETSLA 研究会(編著).「第二言語習得と英語科教育法」. 開拓社. 2013.

研究業績(2)学会発表など

Saito, H. (2013). **Qualitative change in junior high school students' peer assessments on speaking performances. The 35th Annual Language Testing Research Colloquium (Seoul, Korea)**

佐野富士子・齋藤英敏・吉田晴世. (2013). 「教員免許 6 年制のための英語科カリキュラム作成の試みーグローバルな人材育成の教育を目指して」. 大学英語教育学会 第 52 回国際大会. (京都大学).

社会的活動、地域貢献など

National Council of Teachers of English(Research in Teaching English)査読員・(2012 年 10 月～)

日本教育大学協会 日本教育大学協会研究年報査読委員・(2012 年 05 月～)

日本教育大学協会 外国語部門副部門長・(2012 年 04 月～)

日本言語テスト学会 JLTA Journal 査読員・(2012 年 04 月～)

Language Assessment Quarterly (Lawrence Earlbaum)査読員・(2012 年 01 月～)

全国語学教育学会 JALT Journal 査読委員・(2009 年 04 月～)

日本言語テスト学会 広報委員・(2007 年 09 月～)

日本言語テスト学会 理事(2013 年 9 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・Korea Chamber of Commerce and Industry Building[学会参加](2013 年 7 月:4 日間)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 新井 英靖
-------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1972 年 5 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998 年) 茨城大学教育学部(准教授)(2007 年 10 月～) 茨城大学教育学部(講師)(2000 年 10 月～) 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998 年 04 月～2000 年 09 月)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本発達障害学会, 日本教育学会, 日本教育方法学会, 日本特別ニーズ教育学会, 日本特殊教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)特別支援教育入門[主題別ゼミナール], 障害者と社会[生活・福祉系科目] (専門科目)病弱児の教育方法, 障害児教育学特論 II, 知的障害児の教育方法, 障害児教育演習 II, 障害児教育学演習 II, 学校における子ども虐待の予防と防止/情報文化特講/学校における子ども虐待の予防と防止, 特別なニーズをもつ子どもの教育, 肢体不自由児の教育方法, 知的障害児指導法演習, 障害児教育学演習 II, 修了研究, 卒業研究, 障害児教育学特別研究 II (大学院科目)特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

新井英靖・寺門宏美「集団に参加できない自閉症児を指導する教師の関係構築方略に関する質的研究—特別支援学校教師に対する半構造化面接法を通して—」, 茨城大学教育実践研究, 32, 125-138, 2013.

新井英靖「キャリア発達の基盤となる人間関係形成能力の指導—自己理解・他者理解の成長をめぐって—」, 発達障害研究, 35, 4, 47-53, 2013.

新井英靖「発達障害児などの学習困難児に対する教科指導の方法論」. 日本方法学会編『教育方法 42 教師の専門的力量と教育実践の課題』, 図書文化社, 56-67, 2013.

新井英靖「自閉症児教育の課題と集団における教育実践の展開」障害児教育実践研究会編『拓き・

確かめ・響き合う知的障害児教育の実践』, 田研出版, 23-33, 2013.

「現代の病弱教育システムの特徴と課題」「発達障害を伴う病気の子どもの特徴と支援」. 全国病弱教育研究会編『病気の子どもの教育入門』, クリエイツかもがわ, 182-190, 190-196, 2013.

「考える看護学生を育む授業づくりの基礎」新井英靖・荒川眞知子・池西静江・石束佳子編著『考える看護学生を育む授業づくり 意欲と主体性を引き出す指導方法』, メヂカルフレンド社, 10-97, 2013.
新井英靖「生活と教科の論理をふまえた教育実践の開発」. 渡邊健治監修・障害児教育実践研究会編『「考える力」を育てる教育実践の探求』, ジアース教育新社, 42-56, 2013.

社会的活動、地域貢献など

日本特殊教育学会 理事長補佐(2013年01月～2016年05月)

日本特殊教育学会 編集委員(2013年01月～2016年05月)

日本特殊教育学会 広報委員会幹事(2013年01月～2016年05月)

日本発達障害学会 編集委員(2012年04月～2015年03月)

日本特別ニーズ教育学会 理事・事務局長(2004年10月～2013年09月)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 荒川 智
-------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年8月
学歴・職歴	筑波大学教育学研究科博士課程修了(1988年) 茨城大学教育学部教授(2002年04月～) 日本学術振興会特別研究員(1988年04月～1989年03月) 神奈川県立衛生短期大学講師(1989年04月～1994年03月) 茨城大学教育学部助教授(1994年04月～2002年03月)
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996年)
所属学会	日本特殊教育学会, 日本教育学会, 教育史学会, 日本特別ニーズ教育学会(SNE学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育、特別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)障害者と社会[生活・福祉系科目] (専門科目)特別支援教育研究法, 特別支援教育原論, 障害児教育総論, 障害児教育演習 I, 特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児教育学演習 I, 卒業研究 (大学院科目)特別課題研究、障害児教育学特論 I, 障害児教育学演習 I, 障害学総合研究, 修了研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「ドイツにおけるインクルーシブ教育の挑戦と苦悩」, 茨城大学教育実践研究, 32, 97-109, 2013. 荒川 智「発達障害と教育実践」, 新英語教育, , 527, 2013. 荒川 智「障害者権利条約とインクルーシブ教育、そして特別支援教育」, 人間と教育, , 78, 52-59, 2013. 「インクルーシブ教育の本質を探る」, 全国障害者問題研究会出版部, 3-5, 10-51, 2013. 荒川 智「現代日本の教育史3 幼児教育・障害児教育」, 日本図書センター, 第2部障害児教育 313-600 編集、「解説」603-618 執筆, 2013.

社会的活動、地域貢献など

日本特殊教育学会 代議員(2011年 6 月～)

全国障害者問題研究会 全国障害者問題研究会・全国委員長(2009 年 08 月～)

[非常勤講師]茨城県教育委員会(2006 年 08 月～)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 勝二 博亮
-------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1970年9月
学歴・職歴	東京学芸大学連合学校教育学研究科博士課程(1999年) 茨城大学助教授教育学部(2005年10月～2007年03月) 日本学術振興会 特別研究員(1998年04月～1998年06月) 茨城大学助手教育学部(1998年07月～2000年03月) 茨城大学講師教育学部(2000年04月～2005年09月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004年02月～2005年02月)
学位	教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	日本臨床神経生理学会 第14回奨励論文賞(日本臨床神経生理学会)(2012年11月09日)
所属学会	日本LD学会, International Society for Brain Electromagnetic Topography, 認知神経科学会, 日本脳電磁図トポグラフィー研究会, 日本生理心理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本特殊教育学会
専門分野	認知神経科学 障害児教育 実験系心理学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)行動の心理学的基礎[人間と心] (専門科目)特別支援教育研究法, 病弱児の生理, 障害児生理学特論I, 障害児生理演習II, 知的障害児の生理, 障害学総合研究, 特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児生理学演習I, 障害児生理機能評価法, 障害児生理心理学, 障害児生理学演習II, 修了研究, 卒業研究, 障害児生理学特別研究II (大学院科目)特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

親松紗知・平山太市・勝二博亮「視線パターンからみた手話読み取り能力—手話熟達度の違いによる検討—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 2014(印刷中).

菅原 透・勝二博亮「視知覚困難を示す脳性まひ児への漢字書支援」, 茨城大学教育実践研究, 32, 111-123, 2013.

研究業績(2)学会発表など

Hiroaki Shoji, Shiori Onuki, Taichi Hirayama, Hisaki Ozaki, "Cerebral hemodynamic changes due to facial expression using near-infrared spectroscopy" (30th International Congress of Clinical Neurophysiology (ICCN2014), 2014 年 03 月)

Taichi Hirayama, Hiroaki Shoji, Hisaki Ozaki, "ERP study on cerebral integration of audio-visual information in male and female" (30th International Congress of Clinical Neurophysiology (ICCN2014), 2014 年 03 月)

平山太市・勝二博亮・尾崎久記, 「事象関連電位からみた視聴覚同時呈示時における顔処理過程の性差」(第 43 回日本臨床神経生理学会学術大会・2013 年 11 月)

勝二博亮・小貫詩織・平山太市・溝越彩乃・尾崎久記, 「NIRS からみた表情の違いによる脳血流変化」(第 43 回日本臨床神経生理学会学術大会・2013 年 11 月)

細川美由紀・勝二博亮, 「幼児のひらがな読み習得と認知機能との関連性における縦断的検討」(日本 LD 学会第 22 回大会・2013 年 10 月)

勝二博亮, 「小学生における文章理解力と語彙力との関連」(日本 LD 学会第 22 回大会・2013 年 10 月)

福山剛司・勝二博亮, 「言語的コミュニケーションに困難をもつ ADHD 児への集団参加支援」(日本 LD 学会第 22 回大会・2013 年 10 月)

, 「重症心身障害事例の能動動作解発における脳血流変化」(第 39 回日本重症心身障害学会学術集会・2013 年 09 月)

勝二博亮, 「体育の授業を通じた知的障害児の基本運動スキル獲得—基本運動発達アセスメントを用いて—」(日本特殊教育学会第 51 回大会・2013 年 09 月)

平山太市・勝二博亮, 「読みと視線移動に困難を示す児童への支援」(日本特殊教育学会第 51 回大会・2013 年 08 月)

吉田聖美・尾崎久記・勝二博亮, 「脳血流からみた重症心身障害事例における能動動作解発過程の検討」(第 31 回日本生理心理学会大会・2013 年 05 月)

小貫詩織・勝二博亮・平山太市・溝越彩乃・尾崎久記, 「近赤外線光トポグラフィからみた表情認知」(第 31 回日本生理心理学会大会・2013 年 05 月)

社会的活動、地域貢献など

日本臨床神経生理学会 評議員(2009 年 10 月～)

聖学院大学 非常勤講師(2013 年 09 月)

那珂市立第二中学校 講師(2013 年 08 月)

NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む会 講師(2013 年 08 月～2013 年 11 月)

茨城県教育委員会(発達障害児等に関する専門家派遣事業) 専門家(2013 年 07 月～2013 年 11 月)

茨城県教育委員会(茨城県教育職員免許法認定講習) 講師(2013 年 07 月～2013 年 08 月)

茨城県立盲学校 教科用図書選定協議会委員(2013 年 06 月～2013 年 07 月)

茨城県教育委員会 茨城県教育職員免許法認定講習講師(2013 年 06 月～2013 年 12 月)

茨城大学教員免許状更新講習専門委員会 教員免許状更新講習講師(2013 年 06 月～2013 年 12 月)

茨城県立盲学校 学校評議員(2013年04月～2014年03月)
 茨城キリスト教大学 非常勤講師(2013年04月～2014年03月)
 放送大学学園 非常勤講師(2013年04月～2013年09月)
 [非常勤講師]聖学院大学[非常勤講師](2013年09月～)
 [兼業]那珂市立第二中学校[講師](2013年08月～)
 [兼業]NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む会[講師](2013年08月～2013年11月)
 [兼業]茨城県教育委員会(発達障害児等に関する専門家派遣事業)[専門家](2013年07月～2013年11月)
 [兼業]茨城県教育委員会(茨城県教育職員免許法認定講習)[講師](2013年07月～2013年08月)
 [兼業]茨城県立盲学校[教科用図書選定協議会委員](2013年06月～2013年07月)
 [兼業]茨城県教育委員会[茨城県教育職員免許法認定講習講師](2013年06月～2013年12月)
 [兼業]茨城大学教員免許状更新講習専門委員会[教員免許状更新講習講師](2013年06月～2013年12月)
 [兼業]茨城県立盲学校[学校評議員](2013年04月～2014年03月)
 [非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](2013年04月～2014年03月)
 [非常勤講師]放送大学学園[非常勤講師](2013年04月～2013年09月)

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ギーセン、ベルリン・ギーセン大学、エストレルホテル&コンベンションセンター[研究打合せ、学会参加](2014年3月:6日間)

科学研究費補助金などの受領

「自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2011年04月01日～2015年03月31日)
 「書字困難児の早期支援プログラムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011年04月01日～2015年03月31日)
 「「神経教育学」への展開を目指した技術系教科と脳科学の融合」[科研費](分担)(2011年04月01日～2014年03月31日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 東條 吉邦
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年5月
学歴・職歴	東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了(1978年) 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979年10月～1992年09月) 国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992年10月～1999年03月) 国立特殊教育総合研究所分室長(1999年04月～2004年03月) 茨城大学教育学部教授(2004年04月～) 放送大学客員教授(2006年04月～2011年03月)
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会, 日本発達心理学会, 日本自閉症スペクトラム学会, 日本特殊教育学会, 日本臨床発達心理士会, 日本生理心理学会, 日本教育心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 臨床心理学 教育心理学
教育研究概要	<p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「障害児発達臨床学」、「発達障害児教育概論」、「障害児心理学研究法」、「障害児心理演習」、「障害児心理学特論」、「障害児心理学演習」等を担当し、これらのコース・専攻の学生・院生・特別専攻科生の論文指導にあっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物－心理－社会の統合的アプローチから、自閉症スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1)自閉症スペクトラムにおける感覚・感情・表情認知などに関する研究、2)心の理論(他者の考えを推測する能力)に関する研究、3)アセスメント技法の開発、4)コミュニケーション支援、5)社会性の発達(特に対人関係と自己統制力の発達と育成)、6)大脳の左右半球機能差の研究などを展開している。</p> <p>(キーワード)自閉症スペクトラム、発達障害、臨床発達心理学、認知神経科学、生物－心理－社会アプローチ、大脳の左右半球機能差、社会性の発達、心の理論、視線、不安</p>
担当科目	(教養科目)行動の心理学的基礎[人間と心] (専門科目)特別支援教育研究法, 発達障害児教育概論, 障害児心理学特論 II, 特

	別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児心理学演習 II, 修了研究, 卒業研究, 障害児心理学特別研究 II (大学院科目)障害児心理学特論 II, 障害児心理演習 II, 特別課題研究
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Akechi, H., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Neural and behavioural responses to face-likeness of objects in adolescents with autism spectrum disorder.", *Scientific Reports*, 4, 3874, 1-7, 2014.

Usui, S., Senju, A., Kikuchi, Y., Akechi, H., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Presence of contagious yawning in children with autism spectrum disorder.", *Autism Research and Treatment*, 2013, 971686, 1-8, 2013.

Kikuchi, Y., Senju, A., Hasegawa, T., Tojo, Y., & Osanai, H., "The effect of spatial frequency and face inversion on facial expression processing in children with autism spectrum disorder.", *Japanese Psychological Research*, 55, 118-130, 2013.

鈴木友歩子, 東條吉邦, 「大学生における発達障害の理解に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 157-181, 2014.

渡邊喜久枝, 東條吉邦, 「自閉症スペクトラム障害児と母親の不安に対する支援」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 139-156, 2014.

研究業績(2)学会発表など

Akechi, H., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Cross-situational word-face learning in children with ASD." (12th International Meeting for Autism Research, 2013 年 05 月)

Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., "Does eye contact enhance the accuracy of hand imitation in children with ASD?: An eye-tracking study." (12th International Meeting for Autism Research, 2013 年 05 月)

渡邊喜久枝, 東條吉邦, 「自閉症スペクトラム児とその母親の不安感について」(日本自閉症スペクトラム学会第 12 回研究大会・2014 年 08 月)

Miura, Y., Matsui, T., Fujino, H., Tojo, Y., Osanai, H., "ASD children's identification of face and referent from speaker's affective voice." (The 10th Autism Europe International Congress, 2013 年 09 月)

浅田晃佑, 東條吉邦, 長内博雄, 長谷川寿一, 熊谷晋一郎, 「自閉症スペクトラム児におけるパーソナルスペースについて」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

田中望, 藤野博, 松井智子, 東條吉邦, 長内博雄, 「高機能 ASD 児における“ホット”な実行機能と心の理論の関連」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

明地洋典, 菊池由葵子, 東條吉邦, 長内博雄, 長谷川寿一, 「自閉症児における通状況的学習-対象物の特性による違い-」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

菊池由葵子, 東條吉邦, 長内博雄, 長谷川寿一, 「自閉症児におけるアイコンタクトと手の模倣行動の

関係(2)」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

安田哲也, 小林春美, 東條吉邦, 長内博雄, 長谷川寿一, 「教示者の視線方向と指さしの統合的利用における児童の語意推測」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

柏井希与, 藤野博, 篠田もえぎ, 松井智子, 東條吉邦, 長内博雄, 「高機能 ASD 児におけるイベント・ナラティブの特徴—定型発達児との比較—」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

篠田もえぎ, 藤野博, 柏井希与, 松井智子, 東條吉邦, 長内博雄, 「高機能 ASD 児におけるパーソナルおよびフィクショナル・ナラティブの特徴—定型発達児との比較—」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

長谷川絵里, 藤野博, 松井智子, 東條吉邦, 長内博雄, 「高機能 ASD 児における皮肉の理解と課題のタイプの関係—文章・アニメーション・実写動画条件間の比較—」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

神井享子, 藤野博, 田中望, 松井智子, 東條吉邦, 長内博雄, 「自閉症スペクトラム障害児における心の理論と実行機能の関連について(3)—プランニングと誤信念理解との関係—」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

三浦優生, 松井智子, 藤野博, 東條吉邦, 長内博雄, 「自閉症スペクトラム児における感情プロソディーの理解(2)」(日本発達心理学会第 25 回大会・2014 年 03 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本自閉症スペクトラム学会 常任理事(2006 年 04 月～)

日本自閉症スペクトラム学会 編集委員長(2002 年 03 月～2013 年 03 月)

科学研究費補助金などの受領

「自閉症児に不安を与えない支援のあり方の検討」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

「自閉症児の音声受容特性に関する基礎研究—会話スキルの向上を目指して」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2009 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 加藤 崇英
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1970年11月
学歴・職歴	山形大学教育学部講師(2002年～2005年) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005年～2006年) 国立教育政策研究所 研究員(2006年～2007年) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007年～2009年) 茨城大学教育学部准教授(2009年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本学校事務学会, 日本スクールコンプライアンス学会, 日本教育行政学会, 日本教育経営学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	学校組織に関する理論的・実証的研究 学校評価に関する研究 学校規模に応じた学校マネジメントに関する研究 学校経営における業務改善に関する研究 上記、研究課題に関する学校現場・教職員への支援 (キーワード)学校経営、学校評価
担当科目	(専門科目)教育の制度と経営, 教育行政特講, 教育の制度と経営, 教育行政演習, 卒業研究 (大学院科目)学校経営論特論, 学校経営論演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「被災時の学校・教職員の対応とコンプライアンス」, 学校経営研究, 38, 12-20, 2013.
「学校経営と教職員の感情(課題研究報告 分権改革下における学校組織の変容と教職員の感情(3) 学校調査の分析と理論的総括)」, 日本教育経営学会紀要, , 55, 137-142, 2013.
木岡一明編「教育改革をめぐる重要課題」, 学事出版, 109-121, 2013.

研究業績(2)学会発表など

<パネリスト> 日本教育経営学会第53回大会シンポジウム「教育経営における「つながり」の再構築—子どもの成長を支援する多様な協働へ—(子どもの「位置づけ」から「主体的かかわり」へ—研究者の立

場から) (2013 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

2009 年から毎年、担当している。(2014 年現在) [JICA 筑波 中南米からの教員研修による本学訪問時における講義] (2009 年～)

平成 25 年度 小美玉市学校適正規模配置検討委員会・委員長

平成 25 年度「教員の勤務負担軽減等の取組」に係る学校の業務改善等に向けた実践研究指定校(業務改善モデル校)事業(茨城県教育庁義務教育課 市町村教育推進室)助言者及び講師

平成 25 年度 鹿嶋市教育行政評価委員会・委員長

科学研究費補助金などの受領

科研費

代表者として

基盤 C 学校経営組織における評価フィードバック機能に関する理論研究 (2013/04/01～

2016/03/31)

分担者として

基盤 B 学校適正規模と適正配置に関する教育政治経済学的研究 (2011/04/01～2014/03/31) (代表: 天笠茂・千葉大学)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 三輪 壽二
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年10月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科修士課程修了(1991年)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本カウンセリング学会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	コンサルテーションによる学校支援についての研究、TAT法の解釈に関する研究 (キーワード) コンサルテーション、不登校、TAT、系列分析、ナラティブ
担当科目	(教養科目)心理学から見る人間理解[人間と心] (専門科目)学校教育相談, 総合演習/心理特別演習 II, 心理臨床援助法実習 I, 心理臨床診断法, 心理特別演習 I, 心理臨床援助法実習 II, 臨床心理学, 心理学実験, 卒業研究, 空想・物語と社会 (大学院科目)人格心理学特論, 教育臨床心理特論, 臨床家族心理学特論, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小林英二、三輪壽二「いじめ研究の動向～定義といじめ対策の視点をめぐって～」, 茨城大学教育実践研究, , 32, 163-174, 2013.

小川哲哉、佐藤環、村野井均、三輪壽二、渡部玲二郎、丸山広人、生越達、杉本憲子、望月厚志、加藤崇英「教育の最新事情」, 協同出版, 22-27, 128-136, 2013.

社会的活動、地域貢献など

[その他]思春期に起きやすい問題行動, いはらき思春期保健協会(2013年度実施)

[その他]不登校の子どもたちへの対応, 茨城町教育委員会(2013年度実施)

[その他]児童生徒の心の発達から指導を考える, 茨城県教育研究会(2013年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]茨城大学教員免許法認定講習, 茨城県教育庁(2013年度実施)

[その他]いじめを要因とした不登校問題やその保護者への対応, 水戸地区学校教育相談研究会(2013年度実施)

[自治体での社会教育]発達障害がある児童生徒の特性や支援のあり方について, 笠間市教育研究会
学校健康教育研究部(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]児童生徒の特性や支援の在り方, 水戸教育事務所(2013 年度実施)

[その他]不登校を出さない学校の取り組み, 茨城町教育委員会(2013 年度実施)

[その他]キレる子ども、多動児の指導のあり方2, 茨城県学校教育相談研究会(2013 年度実施)

適応指導教室相談員研修会(茨城町)(2013 年度)

水戸市教育相談担当者研修会(3回)(2013 年度)

水戸市家庭裁判所委員会(2013 年度)

水戸市小中学校教科用図書審議会委員(2010 年度～)

学茨城学習センター 客員教員(2013 年 04 月～2014 年 03 月)

茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2013 年 04 月～2014 年 03 月)

[兼業]放送大学茨城学習センター[客員教員](2013 年 04 月～2014 年 03 月)

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2013 年 04 月～2014 年 03 月)

[社団法人いはらき思春期保健協会副理事長](2012 年 04 月～), 協会副理事長

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 望月 厚志
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年12月
学歴・職歴	立教大学文学研究科博士課程単位取得満期退学(1987年) 茨城大学教育学部教授(2005年04月～) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科教授(2001年10月～2003年03月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科専任講師(1991年04月～1995年03月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科助教授(1995年04月～2001年09月) 常葉学園大学教育学部生涯学習学科教授(2003年04月～2005年03月)
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	<p>・教育活動</p> <p>1. 授業関係 学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 総合演習, 主題別ゼミナール, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。 大学院:生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 学校教育総合研究, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。</p> <p>2. 学生指導 2005年度入学生学年担任, 委託生指導, 全学就職センター相談員。</p> <p>3. 学外関係 社会教育主事講習(文部科学省), 栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), 10年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), 社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学), 茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), 高校での大学模擬授業, 担当。</p> <p>・研究活動 「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。 「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。 「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究</p>

	費補助金研究)の研究。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)キャリア形成と自己実現(1)[就業力育成・ステップアップ系科目] (専門科目)教育実践と教師, 教師のキャリア・デザイン, 社会教育演習, 生涯学習概論, 社会教育, 生涯学習論, 社会教育実習, 卒業研究 (大学院科目)生涯教育論特論, 実践的キャリアデザイン論

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 村野井 均
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年12月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学(1984年) 国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005年10月～) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004年04月～2004年12月) 弘前学院大学一般教育部 講師(1984年04月～1987年03月) 弘前学院大学一般教育部 助教授(1987年04月～1988年03月) 福井大学教育学部 助教授(1988年04月～1999年03月) 福井大学教育地域科学部 助教授(1999年04月～2004年03月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005年01月～2005年09月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター長(2010年04月～2012年03月) 茨城大学教育学部附属小学校長(2012年04月～2015年03月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	福井大学 IT 優秀アイデア賞(2002年), 福井大学 IT 優秀アイデア賞(2001年)
所属学会	日本教育メディア学会, 日本教育工学会, 日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	子どものテレビ理解, 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品の放送 子どものテレビ理解 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品の放送 (キーワード)メディア・リテラシー テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送
担当科目	(専門科目)発達心理学, 現代社会の人間関係, 総合演習/心理特別演習 II, 生涯学習とメディア, 心理学文献講読 II, 心理特別演習 I, 発達の理解 II/発達の理解B, 心理学実験, 卒業研究 (大学院科目)発達心理学特論, 発達心理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

村野井均「発達心理学事典」, 丸善株式会社, 252-253, 2013.

村野井均「メディアリテラシー」, 東大出版会, 「発達心理学」 無藤隆・子安増男編 -4章 家族・地

域・メディア, 270-276, 2013.

村野井均「第5章 メディアと子ども 「教育の最新事情」, 協同出版, 118-127, 2013.

村野井均、三輪壽二、渡部玲二郎、丸山広人「第2章 子どもの変化についての理解 「教育の最新事情」, 協同出版, 16-38, 2013.

研究業績(2)学会発表など

村野井均, 「茨城大学附属学校における連絡進学の結果の検証」(関東附属学校連盟 神奈川大会・2013年11月)

村野井均, 「博物館情報・メディア論」を検討する」(第20回日本教育メディア学会・2013年10月)

社会的活動、地域貢献など

日本教育メディア学会 常任理事(2006年10月～)

日本教育メディア学会 研究委員会委員(2003年10月～)

日本教育メディア学会 日本教育メディア学会井内賞選考委員会・選考委員会副委員長(2012年04月～2014年03月)

日本教育メディア学会 日本教育メディア学会編集委員会・編集委員(2010年10月～2014年03月)

[出前授業]テレビ理解の心理学, 茨城県立麻生高等学校(2013年度実施)

[自治体での社会教育]ふたたび『生きる力』を考える, 茨城県教育研究会(2013年度実施)

日本教育大学協会関東地区(2013年度)

日本教育大学協会(2013年度)

弘道館・水戸城周辺地区の歴史まちづくりに向けた関係機関連絡会議(2013年度)

茨城県教育会(2013年度)

「テレビと幼児のかかわり 家庭視聴と集団視聴(幼稚園・保育所)」(受託研究): NHK 番組 制作局 財団法人日本放送教育協会(2004年～2005年03月)

「幼児教育番組とメディアリテラシー」(受託研究): 2003年度 NHK 番組制作局からの受託研究 (財)日本放送教育協会(2003年～2004年04月)

[兼業]NHK 放送文化研究所[Reviewer](2010年04月～2016年03月)

[出前授業]茨城県立 伊奈高等学校[講師](2009年11月～)

[非常勤講師]福島県立 白河高等学校[講師](2009年10月～)

[非常勤講師]茨城県立 石岡高等学校[講師](2009年10月～)

[出前授業]学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市)[講師](2009年10月～)

[出前授業]青森県青森東高等学校[講師](2007年11月～)

[その他]水戸市教育委員会[講師](2007年03月～)

ディベート審査委員[茨城県立清松高等学校](2010年03月～)

科学研究費補助金などの受領

「教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実践的研究」[科研

費]萌芽研究(分担)(2012年04月01日～2015年03月31日)

「教員養成修士レベル化に対応するための附属学校の受け入れ体制の整備と試行」[茨城大学 平成25年度茨城大学教育改革推進経費]茨城大学教育改革推進経費(分担)(2013年04月01日～2014年03月31日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 小川 哲哉
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年2月
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科博士後期課程修了(2005年03月) 茨城大学教育学部 教授(2010年04月～) 九州産業大学 講師(1988年10月～1992年03月) 広島大学教育学部助手(1987年04月～1988年03月) 九州産業大学 助教授(1992年04月～2001年03月) 九州産業大学 教授(2001年04月～2004年03月) 九州産業大学大学院 教授(2004年04月～2010年03月)
学位	博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本ペスタロッチャー・フレール学会, 教育哲学会, 日本教育学会, 日本教育メディア学会, 日本道德教育学会, 日本道德教育方法学会
専門分野	教育学、教育哲学、道德教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)現代教育の諸問題[人間・文化系科目] (専門科目)教育の本質と理念, 教育哲学特講, 教育史演習 I, 教育の本質と理念, 学校外教育・学習活動の理論と実践, 卒業研究 (大学院科目)教育原論特論, 教育原論演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

小川哲哉『主体的<学び>の理論と実践―「自律」と「自立」を目指す教育―』, 青簡舎, 1-197, 2014.

小川哲哉, 佐藤和彦, 廣戸隆共編「二つの学びが新生する公立学校 ―茨城町立青葉中学校の誕生―」, 協同出版, 16-21, 170-175, 177-181, 189-191, 2014.

小川哲哉, 長島利行, 渡邊哲郎共著「高校道德の実践的諸問題―自己評価の問題を中心に―」, 茨城大学教育実践研究, 32, 151-162, 2013. 小川哲哉, 生越達, 佐藤環, 杉本憲子, 加藤崇英, 三輪壽二, 望月厚志, 村野井均, 丸山広人, 渡部玲二郎「教育の最新事情―現代教育の諸相―」, 協同出版, 6-15, 98-107, 2013.

研究業績(2)学会発表など

小川哲哉(茨城大学)石井純一(茨城県教育庁)「討論活動を通じた道德教育の可能性」(日本道德教育方法学会第 20 回大会・2014 年 06 月)

長島利行(茨城県教育庁)小川哲哉(茨城大学),「高校道德の実践的評価の問題」(日本道德教育方法学会第 19 回大会・2013 年 06 月)

〈招待講演〉平成 26 年度 豊かな心育成コーディネーター等研究協議会(主催:茨城県教育庁高校教育課)(講話「高等学校の道德教育に求められる課題」)(2013 年 06 月)

〈招待講演〉平成 25 年度 豊かな心育成コーディネーター等研究協議会(主催:茨城県教育庁高校教育課)(講話「高等学校の道德教育に求められる課題」)(2013 年 05 月)

社会的活動、地域貢献など

日本道德教育方法学会 理事(2013 年 09 月～)

日本ペスタロッチー・フレーベル学会 理事(2012 年～2015 年)

茨城県教育庁 研修会講師(2014 年 06 月)

[兼業]茨城県教育庁[研修会講師](2014 年 06 月)

茨城県教育庁 研修会講師(2013 年 05 月)

[兼業]茨城県教育庁[研修会講師](2013 年 05 月)

科学研究費補助金などの受領

「教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実践的研究」[科研費]萌芽研究(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 生越 達
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程(1992年) 茨城大学教育学部教授(2004年04月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本生活指導学会, 社会臨床学会, 日本人間性心理学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)生活指導の方法, 教育的関係論特講, 生活指導の方法, 教育的関係論演習, 卒業研究 (大学院科目)教育方法学特論, 児童・生徒指導特論, 教育方法学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「文化的多様性を育む存在としての養護教諭」, 学校健康相談研究, 10, 1, 2-13, 2013.
「教育課程・方法の論究」, 青かん社, 63-101, 2013.

社会的活動、地域貢献など

[自治体での社会教育]潮来市研修会講師(2013年度実施)
[自治体での社会教育]日立市教育委員会研修会講師(2013年度実施)
[自治体での社会教育]常総市講演会講師(2013年度実施)
[自治体での社会教育]笠間市講演会講師(2013年度実施)
[自治体での社会教育]東海村講演会講師(2013年度実施)
[自治体での社会教育]那珂市研修会講師(2013年度実施)
[その他]教育研究連盟研究会 講師(道徳)(2013年度実施)
[その他]看護専任教員要請運営委員会(2013年度実施)
[その他]日本教職員組合養護教諭部研修会講師(2013年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]社会教育主事講習 講師(2013 年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]免許更新講習講師(2013 年度実施)

[その他]茨城県看護教員研修会 講師(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]茨城県スクールカウンセラー(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]いばらき県研修センター教育相談研修会講師(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]水戸市総合教育研究所 教育相談事例検討会助言者(2013 年度実施)

[その他]茨城県いじめ対策助言者(2013 年度実施)

[その他]大洗町教育委員会評価委員(2013 年度実施)

[その他]茨城大学附属中学校研究会助言者(道徳)(2013 年度実施)

[その他]茨城大学附属小学校研究会助言者(こころの時間)(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]かすみがうら市コミュニティースクール検討委員会 講師(2013 年度実施)

看護専任教員養成運営委員会委員(2013 年度)

茨城県いじめ対策 助言者(2013 年度)

大洗町評価委員会委員(2013 年度)

茨城県教育庁 教育判定委員(2013 年度)

[出前授業]水海道第一高等学校(2007 年 11 月～)

[出前授業]中央高等学校(2007 年 10 月～)

[出前授業]牛久栄進高等学校(2007 年 10 月～)

[出前授業]日立第一高等学校(2007 年 10 月～)

[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2007 年 07 月～)

[非常勤講師]看護協会 教育原理(2007 年 07 月～)

[出前授業]鉾田第一高等学校(2007 年 07 月～)

[公開講座]実践心理教育相談講座(初級)(2007 年 05 月～)

[出前授業]茨城県土浦湖北高等学校(2006 年 11 月～)

[出前授業]茨城県下館第一高等学校(2006 年 10 月～)

[出前授業]茨城県土浦第二高等学校(2006 年 08 月～)

[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校(2006 年 07 月～)

[出前授業]茨城県総和高等学校(2006 年 07 月～)

[公開講座]実践心理教育相談講座(2006 年 05 月～)

[兼業]NPO 法人すだち理事(2006 年 04 月～)

[公開講座]実践心理教育相談講座(2005 年 09 月～)

[その他]水戸市立第五中学校学校評議員(2004 年 04 月～)

[その他]茨城県カウンセリングアドバイザー(2002 年 04 月～)

[兼業]茨城県スクールカウンセラー(1996 年 04 月～)

[NPO 法人すだち](年度不詳), [茨城県カウンセリングアドバイザー](年度不詳), [茨城県青少年アドバイザー](年度不詳), [いわき市](年度不詳), [東海村](年度不詳), [大子町](年度不詳)

科学研究費補助金などの受領

給食・清掃の時間の現象学的解明に基づくいじめ予防教育プログラムの開発

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 佐藤 環
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960 年 4 月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995 年 03 月) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・専任講師(1995 年～1998 年) 岡山女子短期大学(現岡山短期大学)幼児教育学科・助教授(1998 年～2001 年) 常磐大学人間科学部・助教授 准教授(2001 年～2010 年) 常磐大学人間科学部・教授(2010 年～2012 年) 茨城大学教育学部・教授(2012 年～)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	中等教育史学会, 日本教育史研究会, 日本教育史学会, 全国地方教育史学会, 日本教育学会, 教育史学会
専門分野	教育学 日本教育史 日本史
教育研究概要	(キーワード)藩校教育, 数学, 武芸, 弓術, 学校における業績主義の定着, 試験制度, 近代女子中等教育史, 高等女学校, 「高等女学校ニ類スル各種学校」
担当科目	(専門科目)学校教育課程論, 教育史特講, 学校教育課程論, 学校と教育の歴史, 教育史演習 II, 学校外教育・学習活動の理論と実践, 卒業研究 (大学院科目)学校教育総合研究, 近代学校教育史特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>佐藤環・菱田隆昭「幼稚園における家庭・地域との連携を担保する教育実践 ―幼稚園教育要領の実践への投影―」, 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター『茨城大学 教育実践研究』, , 32, 175-189, 2013.</p> <p>茨城大学教育学部学校教育教室編「教育の最新事情 ―現代教育の諸相―」, 協同出版, 6-15,108-117, 2013.</p> <p>小川哲哉・生越達・佐藤環・杉本憲子「教育課程・方法の論究」, 青簡舎, 13-37,49-60, 2013.</p>

社会的活動、地域貢献など

<p>全国地方教育史学会 事務局長(2012 年 06 月～)</p> <p>全国地方教育史学会 常任幹事(2011 年 05 月～)</p>

全国地方教育史学会・事務局長(2012年06月～)
全国地方教育史学会・常任幹事(2011年05月～)
中等教育史研究会・(2006年05月～)
日本教育史研究会・(1996年04月～)
日本教育史学会・(1994年04月～)
全国地方教育史学会・会員(1994年02月～)
日本数学史学会・(1993年05月～2014年03月)
日本教育学会・(1992年12月～)
教育史学会・(1990年04月～)
[その他]第58回茨城県教育研究連盟集会・助言者(人権保障と共生の教育),茨城県教育研究連盟
(2013年度実施)
[出前授業]茨城県立佐竹高等学校「教育の“常識”を考える」,茨城県立佐竹高等学校(2013年度実
施)
[非常勤講師]常磐大学[非常勤講師](2012年04月～)
[茨城県弓道連盟代議員 堀原支部](2009年04月～)

科学研究費補助金などの受領

「中等学校教育課程における武術導入に関する研究 一戦前期の弓道を中心として」[科研費]基盤
研究(C)一般(代表)(2013年04月01日～2017年03月31日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 杉本 憲子
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973年7月
学歴・職歴	名古屋大学教育発達科学研究科博士課程単位取得満期退学(2001年)
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会, 日本生活科・総合的学習教育学会, 中部教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究
担当科目	(教養科目)教育学入門[主題別ゼミナール], 教育問題の研究[人間・文化系科目] (専門科目)生活科内容研究, 教育の方法と技術, 学習指導特講, 教育の方法と技術, 生活科教育法研究, 学習指導の方法, 学習指導演習, 卒業研究 (大学院科目)教授学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

杉本憲子「授業における ICT の活用に関する一考察:思考力の育成や学び合いの充実を図る ICT の活用を中心に」, 茨城大学教育実践研究, 32, 191-201, 2013.

的場正美、柴田好章、サルカール アラニ・モハメッド レザ、杉本憲子他「授業研究と授業の創造」, 溪水社, 59-75, 2013.

小川哲哉・生越達・佐藤環・杉本憲子「教育課程・方法の論究」, 青簡社, 102-135, 2013.

社会的活動、地域貢献など

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]教育政策の動向についての理解, 茨城大学(2013年度実施)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]特別活動の今日的課題と実践, 茨城大学(2013年度実施)

[出前授業]子どもの学びを考える(2013年度実施)

科学研究費補助金などの受領

「集団思考の深化を図る授業過程の構築に関する理論的・実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表)

(2012 年 04 月～)

養護教諭養成課程	氏名 青柳 直子
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	
学歴・職歴	東京大学大学院 教育学研究科博士課程 公益財団法人 労働科学研究所 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 専任講師 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 准教授 茨城大学教育学部養護教諭養成課程 准教授
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本時間生物学会, 日本学校保健学会, 日本健康教育学会, 日本小児保健学会, 日本ストレス学会, 日本幼児体育学会, 日本産業衛生学会, 産業疲労研究会, 日本 疲労学会, 茨城県小児保健協会
専門分野	時間生物学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード) 生体リズム、心身機能評価
担当科目	(専門科目) 小児・思春期保健学, 保健科内容研究 I, 保健科内容研究 II, 保健科教育 法研究/保健体育科教育法研究 III, 保健科教育法演習, 保健学演習, 卒業研究 (大学院科目) ヘルスプロモーション論特論, ヘルスプロモーション論演習

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

「小学生の心身ストレスと生活行動に関する研究」, 浜松学院大学短期大学部研究論集, 9, 51-55,
2013.
「保育内容「健康」ー遊びと園生活から育む豊かな心とからだー」, 大学図書出版, 66-72, 85-87, 2013.

研究業績(2) 学会発表など

「大学生における性感染症の教育に関する教職カリキュラムのあり方ー教員養成課程における学習方法に焦点を当ててー」(第 60 回日本学校保健学会・2013 年 11 月)
「小・中学生における通学手段・通学環境と身体活動習慣との関連」(第 22 回日本健康教育学会学術大会・2013 年 06 月)
〈招待講演〉平成 25 年度茨城県小児保健協会講演会(生体リズムと心身の健康)(2013 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

日本時間生物学会 評議員(2010 年～)

茨城県小児保健協会 理事(2013 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

通学形態と自覚症状および身体活動・生活行動に関する縦断的研究, 文部科学省科学研究費補助金
(研究代表者), 2011/04-

養護教諭養成課程	氏名 廣原 紀恵
----------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1957年6月
学歴・職歴	茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了(2000年03月) 茨城大学教育学部(2011年04月～) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008年04月～2011年03月)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	発育発達学会 優秀研究論文賞(発育発達学会)(2010年03月27日), 日本公衆衛生学会 優秀演題賞((日本公衆衛生学会))(2009年10月20日)
所属学会	学校健康相談研究学会, 日本発育発達学会, 日本人類学会, 日本小児保健学会, 中国・四国小児保健学会, 中国・四国学校保健学会, 日本公衆衛生学会, 日本養護教諭教育学会, 日本看護研究学会, 日本教育カウンセリング学会, 日本思春期学会, 日本学校保健学会
専門分野	学校看護学 学校保健 健康教育
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 発育発達 学校看護
担当科目	(教養科目)学校保健と健康教育[身体・行動系科目] (専門科目)学校救急看護, 学校看護学実習, 学校看護学概論, 学校救急看護実習, 学校救急看護演習 I, 卒業研究, 臨床医学・看護学臨床実習 (大学院科目)養護学総合研究, 地域教育資源フィールドスタディ/教科コラボレートケーススタディ, 学校救急看護学特論, 授業展開ケーススタディ, 学校救急看護学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

廣原紀恵 郷木義子「幼児教育系短期大学生の麻疹、風疹に関する意識と知識の実態調査」, インターナショナル Nursing Care Research, 12, 1, 171-178, 2013.

研究業績(2)学会発表など

郷木義子 棟方百熊 西岡かおり 廣原紀恵, 「中学生の性感染症の知識と意識に関する調査—講演会前後の比較—」(第60回日本学校保健学会・2013年11月)
窪田美也子 廣原紀恵, 「唾液潜血検査を用いた歯肉要観察の児童への個別指導」(第60回日本学

校保健学会・2013 年 11 月)

新谷敦子 竹下誠一郎 廣原紀恵 斉藤ふくみ 宮川八平, 「養護教諭の救急処置における内容と手順に関する実態調査」(第 60 回日本学校保健学会・2013 年 11 月)

廣原紀恵 服部恒明, 「発育期身体プロポーションの時代的变化」(第 60 回日本学校保健学会・2013 年 11 月)

社会的活動、地域貢献など

日本養護教諭教育学会 編集委員(2012 年 05 月～)

日本小児保健学会 代議員(2012 年 05 月～)

[非常勤講師]常磐短期大学(2012 年 04 月～)

[日本小児保健協会 評議員](2012 年 04 月～), 茨城県内の高校生約 4000 人を対象に食に関する質問紙調査を実施。その結果を分析、考察を高等学校の養護教諭とともに行う。食に関する指導案に対し、指導助言する。[茨城県高等学校教育研究会養護部 食に関する調査研究委員会](2012 年 04 月～2014 年 03 月), [茨城小児保健協会 理事 事務局](2012 年 01 月～), 茨城教育研究連盟研究集会において、指導助言を行う[茨城県教育研究連盟](2011 年 10 月～), いはらき性教育研究会の副会長として、会の運営に携わる[いはらき性教育研究会(全国性教育研究団体連合茨城県支部)](2011 年 05 月～), [日本教育大学協会全国養護教諭部門研究委員会 研究委員](2011 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

科学研究費助成事業(基盤C) 研究分担 2011 年 04 月～2015 年 03 月

養護教諭養成課程	氏名 石原 研治
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1971 年 5 月
学歴・職歴	東北大学薬学研究科博士後期課程修了(2000 年 03 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009 年 04 月～) 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999 年 04 月～2007 年 03 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007 年 04 月～2008 年 03 月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008 年 04 月～2009 年 03 月)
学位	博士 (薬学)[東北大学]
受賞歴	財団法人 東北開発記念財団 海外 (国際学会) 派遣(2005 年), 財団法人 薬学研究奨励財団 海外 (国際学会) 派遣(2005 年)
所属学会	日本学校保健学会, International Eosinophil Society, アレルギー・好酸球研究会, 日本薬学会, 日本アレルギー学会
専門分野	膠原病・アレルギー・感染症内科学 耳鼻咽喉科学
教育研究概要	(キーワード)アレルギー 好酸球 気管支喘息 ニッケル 聴覚 難聴
担当科目	(教養科目)アレルギーを知らう[身体・行動系科目] (専門科目)免疫学 I, 解剖生理学, 薬理学, 免疫学 II, 解剖生理学演習, 卒業研究 (大学院科目)養護学総合研究, 学校安全特論, 学校安全演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

柳田歩 石原研治「教員とともに考える発達障害児理解のためのケースメソッド教育」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 231-349, 2014.
野口友里恵 石原研治「救急処置に対する中学生の意識調査 ～閉鎖療法を中心に」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 267-281, 2014.
沼尾成美 石原研治「乗り物酔いに対する小学生の気持ちと養護教諭としてのサポート」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 283-298, 2014.
矢口杏子 石原研治「アレルギーに対する子どもたちの気持ちと養護教諭としての配慮」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 251-265, 2014.
高橋梓 石原研治「中学生の医薬品の使用実態とセルフメディケーション能力の育成」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 299-312, 2014.

石原研治, 風間悠「東日本大震災時の避難所における養護教諭の活動に関する研究 -茨城県における調査結果から-」, 学校保健研究, 55, 1, 24-34, 2013.

「炎症の制御と修復 「好酸球と慢性炎症」」, 北陸館, Vol2, 74-77, 2013.

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]東京学芸大学[非常勤講師](2011年10月～)

科学研究費補助金などの受領

「新規 IL-5Ra 鎖の生物活性と好酸球分化における役割の解明」[科研費]若手研究(B)(代表)(2011年04月～2014年03月)

養護教諭養成課程	氏名 齊藤 ふくみ
----------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年10月
学歴・職歴	広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了(2006年03月) 茨城大学教育学部教授(2014年04月～) 熊本大学教育学部講師(2000年09月～2006年03月) 熊本大学教育学部助教授(2006年04月～2007年03月) 熊本大学教育学部准教授(2007年04月～2008年03月) 茨城大学教育学部准教授(2008年04月～2014年03月)
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本健康相談活動学会, 日本養護教諭教育学会, 日本学校保健学会
専門分野	教科教育学 養護学、養護実践学、健康教育、質的研究
教育研究概要	<p>大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較－テキスト・マイニング手法を用いて－</p> <p>本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できると思われる。</p> <p>(キーワード)養護教諭、学校保健学、養護学、健康教育、養護実践、養護活動、養護実習、質的研究</p>
担当科目	(教養科目)養護教諭論[主題別ゼミナール] (専門科目)健康相談活動I, 養護活動演習II, 養護学概論I, 養護実践論, 養護活動演習I, 養護活動と関連法規, 教職実践演習(養護教諭), 卒業研究

(大学院科目)養護学総合研究, 養護教諭論特論, 養護教諭論演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

大久保香梨・斉藤ふくみ「小中学生のおしゃれに関する研究－主におしゃれ障害に関して－」, 茨城大学教育学部紀要教育科学, 63, 219-230, 2014.

會田樹梨・高橋裕子・長谷川秀子・斉藤ふくみ「養護教諭に対応と子どもの安心感との関連性に関する研究－スキンシップ・タッチに着目して－」, 茨城大学教育学部紀要教育科学, 63, 219-230, 2014.

松永恵・斉藤ふくみ・上原美子「事例提供者が満足できる事例検討会のあり方について－「事例提供してよかった」と発言した事例提供者の語りの分析を通して－」, 学校健康相談研究, 10, 2, 141-149, 2014.

高橋真理・川崎尚子・斉藤ふくみ「アサーショントレーニングによる児童の自己主張行動の変化について」, 茨城大学教育実践研究, 32, 139-149, 2013.

「「いじめ問題に起因する不登校生徒」に対する養護教諭の支援」, 学校健康相談研究, 10, 1, 119-128, 2013.

「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム「養護に関する科目」における現行カリキュラムの開講状況～5領域別の教育内容に視点を当てて～」, 学校保健研究, 55, 3, 244-253, 2013.

斉藤ふくみ・小玉正志・新井猛浩・笠巻純一・河田史宝・中下富子・竹鼻・ゆかり・岡田加奈子・後藤ひとみ・北口和美・高橋香代・田嶋八千代・上村弘子・本田優子・松田芳子・山梨八重子「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラムに関する研究－「養護に関する科目」における科目区分の検討－」, 学校保健研究, 55, 3, 228-243, 2013.

斉藤ふくみ「2015 年度 50 都道府県市別教科別教員採用試験「養護教諭参考書」シリーズ」, 協同出版, 1-291, 2013.

斉藤ふくみ「2014 年度 50 都道府県市別教科別教員採用試験「養護教諭参考書」シリーズ」, 協同出版, 1-291, 2013.

研究業績(2)学会発表など

大塚朱美・松永恵・斉藤ふくみ, 「生徒の介入拒否から考察する養護の作用－1型糖尿病をもつ生徒の事例検討から－」(日本学校健康相談学会第10回学術集会・2014年03月)

會田樹梨・高橋裕子・長谷川秀子・斉藤ふくみ, 「養護教諭の対応と子どもの安心感との関連性に関する研究－スキンシップ・タッチに着目して－」(第60回日本学校保健学会・2013年11月)

新谷敦子・竹下誠一郎・廣原紀恵・斉藤ふくみ・宮川八平, 「養護教諭の救急処置における内容と手順に関する実態調査」(第60回日本学校保健学会・2013年11月)

斉藤ふくみ・小瀬古貴子・櫻井文子, 「養護教諭対象の聞き取り調査(2)－宮本常一の民俗学的手法を参考に－」(第60回日本学校保健学会・2013年11月)

大久保香梨・斉藤ふくみ, 「小中学生のおしゃれに関する研究－主におしゃれ障害に関して－」(第60回日本学校保健学会・2013年11月)

斉藤ふくみ・後藤ひとみ・今野洋子・松田芳子, 「養護教諭の実践力育成を目指したリフレクション・プロ

グラムの検討ーシンガポールNIEの教師教育を参考としてー」(日本養護教諭教育学会第21回学術集会・2013年10月)

後藤ひとみ・斉藤ふくみ・松田芳子,「養護教諭志望学生の省察力育成を目指した学内実習の展開ー仮想学校における体験を中心にー」(平成25年度日本教育大学協会研究集会・2013年10月)

後藤ひとみ・斉藤ふくみ・松田芳子・今野洋子,「学生の省察力育成を目指した学内実習の意義と効果ー「仮想学校」での模擬体験を活用した養護活動実習を例にー」(日本教師教育学会第23回研究大会・2013年09月)

平成25年度10年次研修講座(養護教諭)(講師「健康課題の解決に向けた健康教育の理論と方法」)(2013年10月)

<基調講演> 第15回茨城県高等学校・県立学校保健主事研究協議会(講師)(2013年09月)

平成25年度茨城県5年次研修講座(養護教諭)(講師「健康相談活動」)(2013年09月)

平成25年度岩手県養護教諭授業力向上研修講座(専門)(講師「健康相談の理論及び方法」)(2013年08月)

平成25年度茨城県新規採用養護教諭研修講座(講師「性に関する指導の実際」)(2013年07月)

社会的活動、地域貢献など

日本養護教諭教育学会 編集委員会事務局(2012年04月～)

日本養護教諭教育学会 理事(2012年04月～)

日本学校健康相談学会 理事(2010年04月～)

日本養護教諭教育学会編集委員会・編集委員会事務局(2012年04月～)

日本養護教諭教育学会・理事(2012年04月～)

日本健康相談学会・理事(2010年04月～)

日本養護教諭教育学会編集委員会・編集委員(2006年04月～)

[その他]平成25年度常陸太田市学校保健会・給食会合同講演会講師・子どものころに寄り添うこと(2013年度実施)

「事例提供者の期待に応える事例検討のありかたについて」(共同研究):(2012年10月～2013年09月)

愛知教育大学大学院 非常勤講師(2013年11月～2014年03月)

放送大学 非常勤講師(2013年04月～2014年03月)

[非常勤講師]愛知教育大学大学院[非常勤講師](2013年11月～2014年03月)

[非常勤講師]放送大学[非常勤講師](2013年04月～2014年03月)

出前授業[茨城県立中央高等学校](2013年11月～), 出前授業[茨城県立水戸第三高等学校]

(2012年12月～), 出前授業[福島県立いわき光洋高等学校](2012年10月～), 出前授業[茨城県立水戸第二高等学校](2012年10月～), 出前授業[茨城県立日立北高等学校](2012年07月～),

出前授業[茨城県立水戸第三高等学校](2011年12月～), 出前授業[福島県立いわき光洋高等学校]

(2011年11月～), 出前授業[大成女子高等学校](2011年06月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール ナンヤング・NIE、North Vista Primary School、HUAMIN PRIMARY SCHOOL[授業参観、施設見学](2013年9月:3日間)

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程修了(1992年) 茨城大学教育学部教授(2002年04月～) 日本学術振興会特別研究委員(1990年04月～1992年03月) 茨城大学教育学部助手(1995年04月～1996年03月) 茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2002年03月)
学位	博士(医学)[大阪大学], 博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	第12回日本医史学会学術奨励賞(2006年), 日本公衆衛生学会奨励賞(1999年), 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994年)
所属学会	日本医史学会, 日本衛生学会, 日本教育学会, 日本公衆衛生学会, 日本生活指導学会, 日本学校保健学会, 日本健康教育学会, 日本在宅ケア学会, 日本教育保健学会, 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)保健福祉論, 精神保健/メンタルヘルス, 公衆衛生学, 衛生学, 学校保健概論, 保健学演習, 卒業研究 (大学院科目)養護学総合研究, 教育保健経営特論, 教育保健経営演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

瀧澤利行「生きる力を高める在宅ケアの思想と課題」, 日本在宅ケア学会誌, 17, 1, 5-10, 2013.
 瀧澤利行「現代社会における生活指導実践主体の生活危機と「養生的接近」の意義」, 生活指導研究, 30, 31-41, 2013.

社会的活動、地域貢献など

日本高齢者虐待防止学会 理事(2011年07月～)
 日本医史学会 代議員(2011年06月～)
 日本教育保健学会 副理事長(2011年04月～)
 日本生活指導学会 会計監査(2010年09月～)

日本衛生学会 倫理委員会委員(2008年04月～)
日本在宅ケア学会 倫理委員長(2007年03月～)
日本教育保健学会 常任理事(2002年03月～)
日本在宅ケア学会 理事(2001年03月～)
日本衛生学会 評議員(2000年03月～)
日本医史学会 評議員(1999年05月～)
日本学校保健学会 理事(1998年11月～)
日本医史学会 編集委員(1998年05月～2013年05月)
日本健康教育学会 評議員(1996年06月～)
[兼業]放送大学[客員教授](2004年04月～)
[兼業]東京都練馬区協働推進会議副座長(2010年04月～)
[兼業]東洋大学大学院非常勤講師(2009年04月～)
[兼業]国立大学法人お茶の水女子大学非常勤講師(2006年04月～)
[兼業]東京都中央区協働推進会議会長(2005年06月～)
[兼業]茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長(2005年04月～)
[兼業]慶応義塾大学非常勤講師(1999年04月～)
[兼業]國學院大學非常勤講師(1993年04月～)

情報文化課程	氏名 林 延哉
--------	---------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1961年11月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1987年)
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	日本リハビリテーション工学協会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会, 日本発達心理学会, 日本理科教育学会
専門分野	社会臨床論 コンテンツ批評 紙芝居研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)情報処理概論[情報処理概論], 学習と研究の基礎演習[主題別ゼミナール], 情報文化基礎演習[コミュニケーション論] (専門科目)情報文化広報プロジェクトI, 映像工房プロジェクトI, 子ども文化プロジェクトI, 音×環境プロジェクト1, 特別演習I, 統計の初歩, ウェブ制作(初級)a, ウェブ制作(初級)b, 情報文化広報プロジェクトII, 映像工房プロジェクトII, 子ども文化プロジェクトII, 音×環境プロジェクト2, 社会臨床演習I, 社会臨床演習II, 特別演習II, 卒業研究, 課題図書講読I, 課題図書講読II, 課題図書講読III

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

林延哉「映画『八日目の蝉』の作品構造と訴求要因について」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学・芸術), 62, 139-159, 2013.

社会的活動、地域貢献など

日本社会臨床学会 事務局長(1994~2013)
日本社会臨床学会 運営委員(1994~)
水戸市地域福祉推進委員会委員(2013~2015)
茨城大学紙芝居研究会顧問(水戸市、近代美術館等の委嘱を受けての紙芝居制作・実演を指導)
千葉県立中央博物館作成の野草カードのウェブ化への協力。[千葉県立中央博物館](年度不詳)

科学研究費補助金などの受領

「形態学の知識がなくても使える生物検索システムの開発」(2012~2014)

情報文化課程	氏名 本田 敏明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年4月
学歴・職歴	広島大学教育学研究科博士課程(1981年)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	教育システム情報学会, 日本教育工学会, 日本教育方法学会, 情報科教育学会
専門分野	教育工学 教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー
担当科目	(専門科目)情報科教育法 II, マルチメディア・コンテンツ制作, 情報リテラシーと情報モラル, コンピュータプレゼンテーション技法/プログラミング入門, 卒業研究 (大学院科目)教授学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「学習の継続と知識の創造を実現する Instructional Design の導入」, 茨城大学教育学部紀要, , 2013.

社会的活動、地域貢献など

日本情報科教育学会 研究委員会・研究委員会委員長、監査(2012年04月～)
教育システム情報学会理事、人材育成委員会副委員長(2014年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ルードヴィヒスブルク・ルートヴィヒスブルク教育大学[研究テーマに関する調査、情報交換]
(2013年8月～9月:26日間)

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	大阪市立大学生活科学研究科博士課程単位取得満期退学(2000 年)
学位	学術博士[大阪市立大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市住宅学会, 日本都市計画学会, 日本家政学会, 日本建築学会
専門分野	住環境計画, 都市計画
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)戦後昭和の住まいと暮らし[生活・福祉系科目] (専門科目)初等家庭科内容研究, 住居デザイン II, 住環境計画学, 保育内容の研究(環境), 住居計画学, 住居環境学, 居住地計画演習, 設計製図 I, 卒業研究 (大学院科目)住居学特論, 生活科学総合研究, 住居学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「原子力発電所の立地規制と地域計画 ?わが国最初の東海原発立地および核燃料再処理工場の立地過程 1956 年から 70 年の資料分析?」, 茨城大学地域総合研究所年報, , 47, 3-13, 2014.

乾 康代「東日本大震災と原発事故による茨城県の避難者の帰郷意思と支援課題」, 都市住宅学, 83, AUTUMN, 101-106, 2013.

乾 康代「東日本大震災後の全国基礎自治体の避難者支援」, 『災害に対応した建築社会システムはいかにあるべきか?』, 日本『災害に対応した建築社会システムはいかにあるべきか?』建築学会災害対応型建築社会システム特別研究部門パネルディスカッション資料, , 89-92, 2013.

研究業績(2)学会発表など

乾 康代, 「東日本大震災後の茨城県における避難者の構成と県内・外避難世帯の比較」(日本建築学会大会(北海道)・2013 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

日本建築学会 関東支部茨城支所常任幹事(2002 年 04 月～)

日本建築学会 住宅の地方性小委員会委員・(2004 年 04 月～)

日本建築学会 関東支部茨城支所・常任理事(2002 年 04 月～)

[公開講座]住居環境学(2013 年度実施)

[公開講座]「大震災と原発事故からのまちづくり」,『原子力施設と地域社会』,東海村と茨城大学との共催による公開講座(2013 年度実施)

「都市近郊農村の景観に関する研究」(共同研究):(2005 年～)

「住宅地における建築協定に関する研究」(共同研究):(1994 年～)

科学研究費補助金などの受領

「東海村臨海事故を踏まえた福島原発事故後の環境対策とまちづくりに関する総合研究」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2013 年 04 月～2017 年 03 月)

「人口減少進行の被災地における住宅復興と地域再生に関する研究,茨城県を対象に」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2012 年 04 月～2014 年 03 月)

情報文化課程	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	中央大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学(1990年)
学位	文学修士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会, 日本社会学会, 日本マス・コミュニケーション学会, 日本タイ学会, 情報通信学会
専門分野	社会情報論、社会学・マス・コミュニケーション論
教育研究概要	地域情報化、地域メディアに関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)学習と研究の基礎演習[主題別ゼミナール], 社会学の初歩[社会と人間], 情報文化基礎演習[コミュニケーション論] (専門科目)社会文化情報演習II, マス・コミュニケーション論, フィールドワークの科学, 情報文化広報プロジェクトI, 音×環境プロジェクト1, 文化の社会学, 社会学特講/情報社会論, メディア・リテラシーII, 情報文化広報プロジェクトII, 音×環境プロジェクト2, 卒業研究, 課題図書講読I, 課題図書講読II, 課題図書講読III, インターシップ (大学院科目)社会学特論, 社会学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

岩佐淳一「地域研究と社会情報学?タイを中心として」, 社会情報学研究, 16, 2, 1-12, 2013.

社会的活動、地域貢献など

日本社会情報学会 学会誌(和雑誌)担当編集委員(2010年05月～)
 社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会(2013年度)
 水戸市青少年問題協議会(2013年度)
 東海村情報公開・個人情報保護審査会(2013年度)
 水戸市青少年育成推進会議(2013年度)
 理事[NPO 法人ふるさと元気塾](2004年06月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク・チュラーロンコーン大学、タンマサート大学、タイ総理府[調査打合せ、資料収集](2013)

年 5 月～6 月:6 日間)

タイ バンコク、ローイエット、ウボンラーチャターニー・チュラーロンコーン大学、タイ総理府、タマサート大学ほか[調査準備、資料収集、現地調査インタビュー](2013 年 8 月～9 月:17 日間)

タイ バンコク・チュラーロンコーン大学、タイ国立図書館、タマサート大学[資料収集](2013 年 10 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

「東北タイの開発と市民社会形成—公共圏・社会関係資本・プラチャーコム(住民組織)」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2012 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

情報文化課程	氏名 甲斐 教行
教員履歴など	
現職	教授
生年月	1960年12月
学歴・職歴	東京芸術大学大学院美術研究科博士課程単位取得満期退学(1997年) 茨城大学教育学部教授(2011年04月～) 放送大学教養学部非常勤講師(2010年10月～2011年03月) 千葉大学非常勤講師(1999年10月～2002年03月) 順天堂大学スポーツ健康科学部非常勤講師(1997年10月～1998年03月) 都留文科大学文学部非常勤講師(1997年04月～2000年03月) 大妻女子大学非常勤講師(1997年04月～2000年03月) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1997年04月～2000年03月) 青山学院大学文学部非常勤講師(1998年04月～2000年03月) 茨城大学教育学部助教授(2007年4月より職名変更一准教授)(2000年04月～2011年03月) 青山学院大学文学部非常勤講師(2001年04月～2009年03月) 実践女子大学文学部非常勤講師(2007年04月～2008年03月)
学位	博士(文学)[千葉大学]
受賞歴	ピーコ・デッラ・ミランダ賞、第9回(2000年)(イタリア文化会館)(2000年)
所属学会	中世哲学会, 地中海学会, 大学美術教育学会, 美学会, 美術史学会
専門分野	美学・美術史
教育研究概要	近世イタリアの宗教画研究／ファシズム期具象彫刻研究 イタリア美術史、とくに図像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで16世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バルッチ、サンティ・ディ・ティート、19世紀後半に活躍した画家アレッサンドロ・フランキの作品研究を行ってきた。現在、20世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究に取り組んでいる。 (キーワード)イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バルッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズム、
担当科目	(教養科目)美術教育実践演習[主題別ゼミナール], マニエリスムとマニエラ——16世紀イタリア美術とその思想[人間と文学・芸術] (専門科目)西洋美術史特別演習I, 造形美学/造形理論, 表象文化論, 図画工作科内容研究, 西洋美術史I, メディア批評プロジェクトI, 保育内容の研究(表現), 西洋

	美術史特別演習 II, 西洋美術史 II, メディア批評プロジェクト II, 日本美術実地研究 (大学院科目) 西洋美術史研究, 美術文化総合研究, 造形芸術学, 美術教育授業設計
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

瀬分・甲斐教行「フランチェスコ・セッチ - 反映と肖像」, 五浦論叢 (茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 20, 37-57, 2013.

甲斐教行「コッラード・ヴィーニ作ラグーサ郵政電信庁舎寓意像小論」, 五浦論叢 (茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 20, 1-36, 2013.

甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「《トンド・ドーニ》とその額縁」翻訳と解題」, 五浦論叢 (茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 20, 99-111, 2013.

甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「《ロンダニーニのピエタ》の諸案について」翻訳と解題」, 五浦論叢 (茨城大学五浦美術文化研究所紀要), , 20, 113-126, 2013.

越川倫明、松浦弘明、甲斐教行、深田麻里亜「システイーナ礼拝堂を読む」, 河出書房新社, 193-234, 254-261, 2013.

ジオルジョ・ヴァザーリ(監修)「ジオルジョ・ヴァザーリ『美術家列伝』第一巻」, 中央公論美術出版, 2014.

社会的活動、地域貢献など

茨城県美術館協議会(2013年度)

水戸市芸術文化活性化事業実行委員会(2013年度)

委員[茨城県美術館協議会](2013年07月～2015年06月), 監事[水戸市芸術文化活性化事業実行委員会](2011年04月～), 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室紀要編集委員[東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室](2011年04月～), 海外旅行アドバイザー[茨城県近代美術館友の会](2010年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ヴュルツブルク、ローテンブルク、バイロイトほか・ヴュルツブルク市内、ローデンブルク市内、バイロイト市内ほか[資料収集、市内見学、美術館見学ほか](2013年7月:7日間)

イタリア フィレンツェ・フィレンツェ美術史研究所[資料収集](2013年7月～8月:26日間)

オーストリア ザルツブルク・ザルツブルク市内 大祝祭劇場[ザルツブルク音楽祭 ワーグナー上演等見学](2013年8月:3日間)

イタリア フィレンツェ・フィレンツェ美術史研究所[資料収集](2013年8月～9月:34日間)

イタリア フィレンツェ・フィレンツェ[調査研究](2013年12月:11日間)

イタリア フィレンツェ・美術史研究所、ピッティ宮殿フィレンツェ近代美術館[資料収集、プレゼンテーション](2014年3月～4月:28日間)

科学研究費補助金などの受領

「コッラード・ヴィーニの公共彫刻の政治史的・文化史的解読」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011

年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年6月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学大学院美術研究科修士課程(1978年)</p> <p>茨城大学教育学部附属中学校長(2011年04月～)</p> <p>愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003年04月～)</p> <p>茨城大学教授(現在に至る)(2000年04月～)</p> <p>東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999年04月～)</p> <p>若関酒造株式会社企画部長(1989年10月～1990年03月)</p> <p>若関酒造株式会社(1979年04月～1984年03月)</p> <p>いわき市立美術館学芸員(1984年04月～1989年09月)</p> <p>郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990年04月～1991年03月)</p> <p>郡山市教育委員会美術館建設準備室主任学芸員(1991年04月～1993年06月)</p> <p>郡山市立美術館主任学芸員(1993年07月～1996年03月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2000年03月)</p> <p>東北大学文学部非常勤講師(平成14年3月まで)(1997年04月～2002年03月)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	美術評論家連盟, 文化資源学会, 大学美術教育学会, 美術史学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	<p>五浦時代の岡倉天心および近代彫刻史の研究を行っている。また美術館での鑑賞教育についての実践的, 理論的研究を行うとともに, 現代美術家の作品に対する研究・評論活動を行っている。</p> <p>(キーワード) 岡倉天心、近代彫刻、現代美術、美術館教育</p>
担当科目	<p>(教養科目) 美術教育実践演習[主題別ゼミナール]</p> <p>(専門科目) 日本美術史特別演習 I, 造形美学/造形理論, 表象文化論, 博物館学 III (資料論)/博物館学 III/博物館学 III, 日本美術史 I, メディア批評プロジェクト I, 博物館実習 I, 日本美術史特別演習 II, 現代アート論/現代美術論, 現代文化批評, 保育内容の研究(表現), 日本美術史 II, メディア批評プロジェクト II, 視聴覚教育メディア論, 動画像処理(初級)a/動画像処理(初級)b, 博物館実習 II, 卒業研究, 日本美術実地研究</p>

(大学院科目)日本美術史研究, 美術文化総合研究, 日本美術史演習, 美術教育授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「岡倉天心と異文化交流・研究ノート」, 大倉山論集, , 60, 3-21, 2014. 「日本美術院での活動」, 岡倉天心 近代美術の師(別冊太陽 日本のこころ 209), , 134-145, 2013. 中村愿、清水恵美子「増補改訂 岡倉天心アルバム」, 中央公論美術出版, 206-219,, 2013.
--

研究業績(2)学会発表など

<p><パネリスト> シンポジウム「五浦の天心、天心の五浦」(パネリスト)(2014年03月)</p> <p><招待講演> 河野保雄コレクション展ゲストトーク(講師)(2014年02月)</p> <p><招待講演> 「第三の男」観山の実力を見る(講師)(2014年01月)</p> <p><招待講演> 茨城県の近代美術と白牙会の作家たち(講師)(2013年11月)</p> <p><司会・議長・コンビーナ・コーディネータ> 座談会「アーティストが語る岡倉天心」(司会)(2013年10月)</p>
--

社会的活動、地域貢献など

<p>茨城町文化的施設設計者選定委員会(2013年度)</p> <p>常陸大宮市教育行政点検評価委員会(2013年度)</p> <p>茨城県立高等学校入学者選抜協議会(2013年度)</p> <p>茨城県近代美術館美術資料収集委員会(2013年度)</p> <p>水戸市教育事務評価専門委員会(2013年度)</p> <p>栃木県立美術館作品等収集評価委員会(2013年度)</p> <p>宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会(2013年度)</p> <p>芸術選奨推薦委員(2013年度)</p> <p>[非常勤講師]多摩美術大学大学院[非常勤講師](2008年11月～2014年03月)</p> <p>[非常勤講師]東京芸術大学美術学部[非常勤講師](2006年10月～2014年03月)</p> <p>[非常勤講師]愛知県立芸術大学美術学部[非常勤講師](2004年04月～2014年03月)</p>

情報文化課程	氏名 小島 秀夫
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年1月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科修士課程修了(1975年) 茨城大学教授 教育学部(1992年10月～) 茨城大学助手 教育学部(1977年04月～1979年03月) 茨城大学講師 教育学部(1979年04月～1985年06月) 茨城大学助教授 教育学部(1985年07月～1992年09月)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本教育社会学会, 日本社会学会
専門分野	教育社会学
教育研究概要	教育社会学、社会階層論、社会調査法 (キーワード)教師の職業的社会的化研究 調査方法論
担当科目	(教養科目)総合英語(学術) (専門科目)学校・教師の社会学/社会意識論, 外書講読 I, 社会調査法, 社会文化 情報演習 I, 統計学, 外書講読 II, 地域社会論, 社会統計学, 卒業研究 (大学院科目)教育社会学特論, 教育社会学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「教師の職業的社会的化の研究」茨城大学教育学部紀要(教育科学), 62, 473-487, 2013.

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年7月
学歴・職歴	東北大学工学研究科修士課程修了(1985年)
学位	博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会, 日本産業技術教育学会, 日本金属学会, 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料・材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。 (2) 中学校技術科教材に関する研究
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)情報リテラシー[情報処理概論], 技術教育概論[主題別ゼミナール] (専門科目)構造力学, 金属加工演習, 金属加工学, 技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術, 情報技術の基礎, 基礎金属加工, 製図 II, 金属加工の応用技術, 教職実践演習(教諭), 現代教育の実践的課題, 卒業研究 (大学院科目)金属工学特論, 技術と生活総合研究, 金属工学演習, 技術科授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>川崎裕典, 小祝達朗, 野崎英明「中学校技術科金属加工学習のためのスチール缶矯正装置の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 63, 113-122, 2014.</p> <p>松本亮, 佐久間博志, 野崎英明「中学生に「丈夫な構造」を理解させるための光弾性教材の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 63, 103-111, 2014.</p> <p>竹内優平, 松本亮, 野崎英明「「丈夫な構造」を理解させるための教材の開発」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 62, 223-230, 2013.</p> <p>藤井貴広, 白坂高司, 野崎英明「新学習指導要領における中学校技術科の指導状況に関する調査研究」, 日本産業技術教育学会誌, 55, 3, 155-162, 2013.</p>

研究業績(2)学会発表など

川崎裕典, 小祝達朗, 野崎英明「中学校技術科金属加工学習のためのスチール缶矯正装置の開発」
--

(日本産業技術教育学会第 25 回関東支部大会(東京)・2013 年 12 月)
 松本亮, 佐久間博志, 野崎英明, 「中学校技術科における「丈夫な構造」の学習のための光弾性教材の開発」(日本産業技術教育学会第 25 回関東支部大会(東京)・2013 年 12 月)
 久郷英典, 野崎英明, 「多角形/多面体介在物の解を使用した数値的な等価介在物法に関する研究」(日本機械学会第 21 回茨城講演会・2013 年 09 月)
 松本亮, 野崎英明, 「技術科における製作品の丈夫さに関する学習のための光弾性教材の開発」(日本産業技術教育学会第 56 回全国大会(山口)・2013 年 08 月)

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

日本産業技術教育学会関東支部理事(2012 年 04 月～)
 [自治体での社会教育]平成 25 年度茨城県教育研究連盟助言者, 茨城県教育研究連盟(2013 年度実施)
 [非常勤講師]独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[非常勤講師]
 (2013 年 04 月～2014 年 03 月)
 [兼業]東京書籍株式会社[教科書編集委員](2013 年 04 月～2014 年 03 月)

科学研究費補助金などの受領

[科学研究費補助金]基板研究(C)ものづくり学習担当教員養成プログラムの開発(2012 年 04 月～2014 年 03 月)

情報文化課程	氏名 齋木 久美
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年2月
学歴・職歴	千葉大学教育学研究科国語教育修士課程修了 茨城大学教育学部(2003年04月～)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(茨城大学大学教育センター)(2007年03月27日)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会, 全国大学書写書道教育学会, 計量国語学会, 全日本書写書道教育研究会, 全国大学書写書道教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究の方法や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。 (キーワード)
担当科目	(教養科目)仮名の書に親しむ[人間と文学・芸術] (専門科目)初等国語科教育法研究, 書道科教育法研究 I, 表象文化論, 初等書写内容研究, 書道 I, 書道 III, 漢字書法研究, 子ども文化プロジェクト I, 初等国語科教育法研究, 書論, 初等書写内容研究, 書道 II, 子ども文化プロジェクト II, 卒業研究(大学院科目)言語文化総合研究, 書写書道教育研究, 国語教育授業設計, 書写書道教育演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「大学生のアンケートに見る小中学校期のノート指導の実態とその成果に関する一考察」, 『茨城大学教育実践研究』, 32, 219-232, 2013.

「高等学校芸術科書道における鑑賞指導とその展開」
203-217」, 『茨城大学教育実践研究』, 32, 203-217, 2013.

「小学校第二学年における速書の学習指導に関する一考察」第13号, 38-47頁.」, 『茨城の国語教育』, 第13号, 38-47, 2013.

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<芸術系の活動・建築作品等>平成25年度年度全国大学書道学会会員書作展出品(2013年10月)

＜芸術系の活動・建築作品等＞第 12 回中韓日文化人書藝展 出品(2013 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

全国大学書写書道教育学会 理事(企画・広報局)(2012 年 04 月～)

全国大学書写書道教育学会 理事(企画広報局)(2012 年 04 月～)

全日本書写書道教育研究会 本部役員 研究局 大学部長(2005 年 10 月～)

科学研究費補助金などの受領

「書字学習における幼小連携を円滑にする教材の開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2012 年 04 月 10 日～2015 年 02 月 28 日)

「書字困難児の早期支援プログラム開発」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月～2014 年 03 月)

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
教員履歴など	
現職	教授
生年月	1962年2月
学歴・職歴	京都大学工学研究科博士課程後期修了 福島大学大学院地域政策科学研究科修士課程修了 茨城大学教育学部・教授(2011年04月～) 茨城大学教育学部・准教授(2007年04月～2011年03月) 茨城大学教育学部・助教授(2006年10月～2007年03月) 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004年04月～2006年09月) 川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000年04月～2004年03月)
学位	博士(工学)[京都大学], 修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	第10回インテリアデザインコンペ 2013/奨励賞(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2013年10月), 第10回インテリアデザインコンペ 2013/入選(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2013年10月), 第9回インテリアデザインコンペ 2012/入選(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2012年11月), 第8回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(1)(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2011年11月), 第8回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(2)(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2011年11月), 第7回インテリアデザインコンペ 2010/優秀賞(社団法人日本インテリアファブリックス協会)(2010年11月), かわさき産業デザインコンペ 2005/入賞(川崎市)(2005年11月), かわさき産業デザインコンペ 2005/佳作(川崎市)(2005年11月), 第1回札幌国際デザイン賞/佳作(札幌市)(1992年02月), 住まいのインテリアコーディネートコンテスト'88/インテリア産業協会会長賞[一般の部](社団法人インテリア産業協会)(1988年10月), 第1回アダルファニチャーデザインコンペ/アダル奨励賞(株式会社アダル)(1988年03月)
所属学会	日本建築学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本福祉のまちづくり学会
専門分野	リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	生活環境のユニバーサルデザインの研究 ①プロダクト(生活支援工学, プロダクトデザイン, リハビリテーション工学) ②建築・インテリア(建築計画学, 建築デザイン, インテリアデザイン) (キーワード)高齢者, 介護施設, 車いす, 入浴介護, 福祉用具, バリアフリー, ユニバーサルデザイン, インテリアデザイン

担当科目	(教養科目)福祉機器・福祉空間入門[生活・福祉系科目] (専門科目)図学演習, 建築法規, 設計製図 II, 設計製図 III, ユニバーサルデザイン演習, 人間工学, インテリアデザイン演習, 地域活動プロジェクト II, 卒業研究 (大学院科目)デザイン演習 II, 工芸・デザイン演習, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計
------	---

研究業績(2)学会発表など

〈招待講演〉 いばらき成長産業振興協議会(講演「福祉工学におけるユニバーサルデザインの可能性と限界」)(2014年01月)

社会的活動、地域貢献など

日本建築学会 建築計画委員会建築人間工学小委員会・委員(2004年08月～)
 日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持・世話人(2001年08月～)
 [非常勤講師]茨城キリスト教大学[非常勤講師](2008年04月～)
 [非常勤講師]独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[非常勤講師]
 (2008年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

フィリピン(マニラ・セブ・他), インドネシア(バリ), マレーシア(クアランプール), タイ(バンコク・チェンマイ), シンガポール, 他 [調査活動](2013年5月～9月:119日間)

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年1月
学歴・職歴	北海道大学工学研究科修士課程(1984年) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月～) 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984年10月～1990年03月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年04月～2004年09月)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本視覚学会, 人間工学会, 日本特殊教育学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, 日本音響学会, 日本 ME 学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)
担当科目	(教養科目)福祉機器・福祉空間入門[生活・福祉系科目], 情報文化基礎演習[コミュニケーション論] (専門科目)情報処理の基礎技術 I, 感覚の科学, 地域活動プロジェクト I, 静止画像処理(初級)a, 静止画像処理(初級)b, 情報技術演習 I, 地域活動プロジェクト II, 卒業研究 (大学院科目)電気工学特論 II, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

真家優子、佐々木忠之「数字探索課題におけるカラーグラスの効果」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), , 62, 53-62, 2013.

日本特殊教育学会 訳編「障害百科事典」

情報文化課程	氏名 島田 裕之
教員履歴など	
現職	教授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	東京芸術大学美術研究科修士課程修了(1988年) 茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004年10月～) 茨城県取手市立第二中学校教諭(1980年04月～1984年03月) 茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984年04月～1986年03月) 東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988年04月～1990年03月) 桐生短期大学生活デザイン科専任講師(1990年04月～1993年03月) 茨城大学講師 教育学部(1993年04月～1995年03月) 茨城大学助教授 教育学部(1995年04月～2004年09月)
学位	芸術学修士
受賞歴	かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999年), 第7回NAAC展TGC部門TGC賞(1989年), 第66回二科展商業美術部特選賞(1981年), 第64回二科展商業美術部特選賞(1979年)
所属学会	日本デザイン学会, 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作 (キーワード) 平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	(教養科目)美術教育実践演習[主題別ゼミナール], 美術の表現[人間と文学・芸術] (専門科目)デザインI/デザイン史演習, デザイン表現演習I, 図画工作科内容研究, 情報文化広報プロジェクトI, 映像工房プロジェクトI, 子ども文化プロジェクトI, IllustratorでDTP(初級), デザイン基礎/視覚コミュニケーション演習, デザインII/絵本制作演習, デザイン表現演習II, 美術教育授業研究I, 美術教育授業研究III, 情報文化広報プロジェクトII, 映像工房プロジェクトII, 子ども文化プロジェクトII, 静止画像処理(中級), 卒業研究, 日本美術実地研究 (大学院科目)工芸・デザイン研究, 地域教育資源フィールドスタディ/教科コラボレートケーススタディ, 美術文化総合研究, デザイン研究I, 授業展開ケーススタディ, 美術教育授業設計, デザイン演習I, 特別課題研究

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

< 芸術系の活動・建築作品等 > 第8回現代茨城作家美術展出品(2014年01月～2014年02月)

< 芸術系の活動・建築作品等 > 第3回茨城大学美術科教員展(2013年12月)

< 芸術系の活動・建築作品等 > 個展: 境・界 Illustration of acrylic paints 展(2013年12月)

< 芸術系の活動・建築作品等 > 個展: 花・景・色(2013年05月～2013年06月)

社会的活動、地域貢献など

茨城県美術館協議会(2013年度)

茨城県芸術祭映像コンクール(2013年度)

茨城県芸術祭美術展覧会(2013年度)

茨城デザイン振興協議会(2013年度)

人間環境教育課程	氏名 郡司 晴元
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 4 月
学歴・職歴	京都大学理学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1998 年 07 月) 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 08 月～2003 年 03 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 04 月～2007 年 03 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 04 月～)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会, 日本環境教育学会, 子どもと自然学会, 日本霊長類学会, 日本人類学会, 日本環境共生学会, 日本科学教育学会
専門分野	人類学 環境教育
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究しています。 2. 動物園・博物館・科学館などとの連携による効果的な教育について実践も交えて教育・研究しています。 3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化について研究しています。 (キーワード)学社連携 自然体験学習 ESD
担当科目	(教養科目)環境から見る自然史[環境・政策系科目], 文章作成法1[コミュニケーション論] (専門科目)情報化社会の諸問題, 環境教育演習, 環境科学総論, 生活の中の環境問題, 教育における平和学, 知識解析論, 環境教育論 (大学院科目)理科教育学演習, サステイナビリティ教育特論 I, 理科教育学特論, 理科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

郡司晴元・大辻永「「ポスト震災社会のサステイナビリティ学—地域と大学の新たな協働をめざして—」の
コラム 16「教育の場にサステイナビリティの視点を」を執筆」, 国際文献社, 171, 2014.

研究業績(2)学会発表など

郡司晴元・入江紗友美・根本卓哉, 「茨城大学生への環境意識調査—廃陶器リサイクルと食品廃棄物
について—」(子どもと自然学会 第 20 回京都山科大会・2013 年 11 月)

社会的活動、地域貢献など

[兼業]子どもと自然学会 理事(2012 年～)
 [兼業]茨城県シェアリングネイチャー協会 理事(2013 年～)
 [兼業]科学教育研究協議会茨城支部 支部長(2013 年～)
 [兼業]茨城県教育委員会[助言者](2013 年 11 月)
 [兼業]茨城県教育委員会[助言者](2013 年 10 月)
 [兼業]茨城県教育研究連盟[助言者](2013 年 10 月)
 [兼業]茨城大学教員免許状更新講習専門委員会[教員免許状更新講習講師](2013 年 08 月)
 [兼業]茨城県教育委員会[助言者](2013 年 08 月)
 [兼業]茨城県教育研修センター[講師](2013 年 07 月)
 [兼業]科学の祭典・鹿行地区大会実行委員会[科学の祭典・鹿行地区大会推進委員](2013 年 05 月～2014 年 03 月)
 [公開講座]茨城大学生涯学習教育研究センター[茨城大学偕学苑一般公開講座講師](2013 年 05 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 山東省・微山県微山湖・同湿地公園、孔子廟、微山県環境局[現地調査、意見交換](2013 年 8 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

「環境に配慮した持続可能なライフスタイルを実現する環境教育の構築に関する研究」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

人間環境教育課程	氏名 賀来 健輔
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1964年7月
学歴・職歴	日本大学法学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1995年03月) 茨城大学教育学部教授(2011年04月～) 茨城大学教育学部准教授(現在)(2000年04月～) 岩手大学人文社会科学部講師、助教授(1995年04月～2000年03月)
学位	政治学修士[日本大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本政治学会, 日本行政学会, 日本地方自治学会, 日本地方自治研究学会, 日本オンブズマン学会
専門分野	行政学
教育研究概要	政治学、行政学、地方自治論、環境問題に関する社会科学的アプローチ等 (キーワード)住民参加、政治参加、自治体広報
担当科目	(教養科目)地方自治と私たち—その仕組みと役割を学ぶ—[社会・国際系科目] (専門科目)現代の地方自治, 政治学概論/現代社会の構図, 環境と社会, 現代社会と行政, 公害・環境問題史, 卒業研究 (大学院科目)政治学特論, 社会・文化総合研究, 政治学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

賀来 健輔「近時の条例の制定・改廃の直接請求に関する通時的考察—1999～2009—」, 地方自治研究, 28, 2, 43-54, 2013.

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]文教大学情報学部(2011年09月～)
[非常勤講師]日本大学法学部〔非常勤講師〕(2005年04月～)

人間環境教育課程	氏名 加藤 敏弘
教員履歴など	
現 職	准教授
生年月	1961 年 6 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1986 年) 国立大学法人茨城大学准教授教育学部(2007 年 04 月～) 国立高岡短期大学助手(1986 年 04 月～1990 年 03 月) 茨城大学講師教育学部(保健体育講座)(1990 年 04 月～1994 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(保健体育講座)(1994 年 04 月～1996 年 03 月) 茨城大学助教授教育学部(知識経営講座)(1996 年 04 月～2004 年 03 月) 国立大学法人茨城大学助教授教育学部(2004 年 04 月～2007 年 03 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本体育・スポーツ哲学会, 日本スポーツ教育学会, 日本養生学会, 人体科学会
専門分野	コーチ学(バスケットボール) 技能普及教育論 体育原理
教育研究概要	ナレッジマネジメントとしてのコーチング ナレッジマネジメント(知識経営)としてのコーチングについて、教育活動を通して研究中。特に個人が身につけている技術(=技能)を他者に伝えるためのノウハウを観察し、その体系化を試みている。そのために、まず人間の活動を正しく理解し、集団(チーム)における役割分担やコミュニケーション手段について実践研究中。技能を普及し伝達するという行為は、スポーツ場面に限らず、社会全般で求められる能力であり、暗黙知(身体知)の観点からアプローチしている。学校という枠組みにとらわれてきた教授法を越え、社会におけるさまざまな場面へのコーチングの可能性について考察しており、チームづくりと組織づくりの有機的連携についても研究中。フィールドとしてバスケットボールコーチング、体育授業を中心に据えているが、地域力の向上やFD(ファカルティ・ディベロップメント)、そしてビジネス場面への応用も試みている。 (キーワード)コーチング バスケットボール 知識経営 暗黙知 身体知 ボディ・ワーク チームワーク 技能伝達 コミュニケーション 体育原理
担当科目	(教養科目)屋内ボールゲーム II(C)[身体活動], 屋内ボールゲーム II(C)[身体活動], 屋外ボールゲーム II(C)[身体活動], アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～[身体・行動系科目]

(専門科目)技能伝達法, バスケットボール, ボールゲーム方法論 I, 総合演習/スポーツ特別演習 II, 体育学概論, コーチング論 II, バスケットボール, コミュニケーション演習, チームワーク&コーチング論, 体育科教育法研究, スポーツ特別演習 I, スポーツ実習 I, 卒業研究
--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

森田勝・吉野聡・加藤敏弘「ボールを持たないときの動きに焦点をあてたバスケットボールの授業モデル」, 茨城大学教育学部紀要, 63, 437-455, 2014.

加藤敏弘「茨城県バスケットボールスクールの成果と課題」, 茨城大学教育学部紀要, 63, 457-476, 2014.

加藤敏弘・新保淳「バスケットボール指導者の指導観の変容過程～茨城県バスケットボールスクールの指導を体験して～」, 教科開発学論集, , 2, 117-127, 2014.

「ステップアップ高校スポーツ」, 大修館書店, 102-123, 2013.

研究業績(2)学会発表など

平成 25 年度日本バスケットボール協会公認 B 級コーチ養成講習会(企画・運営・講師)(2014 年 03 月)

平成 25 年度学校体育担当教員実技指導者研修会(種目バスケットボール)(講師)(2013 年 11 月)

〈基調講演〉平成 25 年度千葉県香取市教頭会研修会(講師)(2013 年 08 月)

〈基調講演〉年目看護師のリーダーシップ育成(講師)(2013 年 06 月)

〈企画・運営〉平成 25 年度日本バスケットボール協会公認 B 級コーチ養成講習会(企画・運営・講師)(2013 年 06 月)

〈基調講演〉年目看護師のリーダーシップ育成(講師)(2013 年 05 月)

〈基調講演〉平成 25 年千葉県競技力向上推進本部ヘッドコーチ・強化担当者会議(「海外の子どもたちへのコーチングに学ぶ」講師)(2013 年 05 月)

社会的活動、地域貢献など

茨城県バスケットボール協会 育成部・部長(2013 年 04 月～2015 年 03 月)

関東大学女子バスケットボール連盟 広報部・副部長(2013 年 04 月～2015 年 03 月)

茨城県教育庁保健体育課 第 74 回国民体育大会茨城県準備委員会 競技運営専門委員会・委員(2012 年 10 月～)

公益財団法人 日本バスケットボール協会 テクニカル委員会・副委員長(2012 年 06 月～2014 年 03 月)

全日本大学バスケットボール連盟 広報部・部長(2012 年 04 月～2015 年 03 月)

[自治体での社会教育]平成 25 年度日本バスケットボール協会公認 B 級コーチ養成講習会, 公益財団法人日本バスケットボール協会(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]年目看護師のリーダーシップ育成, 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]平成 25 年度千葉県競技力向上推進本部ヘッドコーチ・強化担当者会議講演, 千葉県教育委員会(2013 年度実施)

[非常勤講師]筑波大学・体育センター[非常勤講師](2006 年 04 月～2015 年 03 月)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学・文学部〔非常勤講師〕(2006 年 04 月～2015 年 03 月)

人間環境教育課程	氏名 勝本 真
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 9 月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1984 年) サントリー株式会社嘱託(1982 年 4 月～1984 年 3 月) 活水女子短期大学特別講師(1984 年 4 月～1985 年 3 月) 活水女子短期大学専任講師(1985 年 4 月～1990 年 3 月) 活水女子短期大学助教授(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 茨城大学助教授教育学部(1991 年 4 月～2006 年 3 月) 茨城大学教授教育学部(2006 年 4 月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本スポーツ方法学会, 日本バレーボール学会, 日本教育工学会, 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	バレーボールの指導法に関する研究 研究は, 1)バレーボールの技術指導に関する研究, 2)バレーボールのゲーム分析に関する研究, 3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。 1)は, 画像分析を用いてオーバー・アンダーハンドパスやスパイク動作の分析し, バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は, 様々なレベルに合わせて作成しており, 中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。 2)は, DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い, 競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し, ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し, その要因をもとにして-BASIC 言語を用いて誰もが簡単に使えるゲーム分析ソフトを開発している。 3)は, 中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め, その経験をもとに, 中学校のバレーボールにワンバウンドでの 3 人制ルールを導入した授業研究や 3 人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年, 小学校にソフトバレーボールが導入され, バレーボール教材の再検討が求められており, 中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた

	教材を開発して実践している。高校の指導者講習会においても、新しい指導方法を紹介している。
	(キーワード)バレーボール指導法 体育科教育 コーチング ゲーム分析
担当科目	(教養科目)身体活動[ネットスポーツ(C)], 身体活動[バドミントン(C)], 身体活動[ソフトボール(C)] (専門科目)バレーボール指導法/バレーボール(中教科:保体)/バレーボール(人間環境)/バレーボール指導法/バレーボール(人間環境), ボールゲーム方法論 II/ボールゲーム方法論 II(健康), 体育科教育法研究[後期], 運動学概論, スポーツ実習 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)保健体育授業設計, スポーツ指導論特講, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

B.BERTUCCI,T. YOSHIDA,MAKOTO KATSUMOTO,Y. NAKANISI(2012) “THE COMPLETE VOLLEYBALL HANDBOOK”,COACHES CHOICE

研究業績(2)学会発表など

<その他> 平成 23・24 年度岐阜県認定スポーツ指導者養成講習会(「競技スポーツと IT」に関する講義)(2012 年 07 月)、日本バレーボール学会 18 回大会発表(中学校体育授業におけるバレーボールのドリル教材開発)(2113 年 3 月)

社会的活動、地域貢献など

日本バレーボール学会 理事(2009 年 04 月～)
日本バレーボール学会・(2008 年 04 月～)
第 74 回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部(2012 年度)
[兼業]「スポーツと健康」・宇都宮大学[講師](2006 年 04 月～2012 年 09 月)
[非常勤講師]「保健体育」・独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校[講師](2011 年 04 月～)

人間環境教育課程	氏名 木村 競
----------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1956年4月
学歴・職歴	東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学(1988年) 茨城大学 教育学部 教授(2003年04月～) 茨城大学 教育学部 助教授(1992年04月～2003年03月)
学位	文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本倫理学会, 日本哲学会, 哲学会, 日本カント協会, 現代風俗研究会, 日本公民教育学会, ハイデガー・フォーラム
専門分野	哲学・倫理学
教育研究概要	<p>教育活動></p> <p>大学院:教育学研究科・教科教育専攻・社会科教育専修(倫理学) 授業:倫理学特論、倫理学演習 特別課題研究指導 大学院共通科目等</p> <p>学部:教育学部・人間環境教育課程・課程共通科目およびコース専門科目 授業:社会と思想、プロジェクト・マネジメント等 卒業研究指導 学校教育教員養成課程・社会選修 授業:倫理学演習、ナショナリズムと社会等 卒業研究指導 教養科目・総合科目 授業:「つながり」の力等</p> <p><研究活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行為および文化の定型化と変化に関する理論 ・教員養成における倫理学の役割について ・「学級力」を基盤とした学力向上モデルの構築 ・サステナビリティ学についての学内研究者との共同研究 ・近代ヨーロッパを中心とする哲学・倫理思想史研究 <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)大学で学ぶことを学ぶ[主題別ゼミナール], つながりの力[人間・文化系科目]</p> <p>(専門科目)社会と思想, 倫理学特別演習 I, プロジェクト・マネジメントA, 倫理学概論, 現代のナショナリズム, 倫理学特別演習 II, 卒業研究</p> <p>(大学院科目)倫理学特論, 倫理学演習, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

木村競「学級力」の基盤形成としての哲学リテラシー育成プログラム その2」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 2014.

木村競「学校教育と「部活」ー教員養成・研修で「部活」指導を扱うためにー その1」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 2014.

木村競「新しい安全・安心な社会と共生の知 その1」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 63, 2014.

木村競「ポスト震災社会のサステナビリティ学ー地域と大学の新たな協働をめざしてー」, 国際文献社, 3-9,29-40,43-56,173-182, 2014.

社会的活動、地域貢献など

[その他]茨城県立水戸第一高等学校「社会人インタビュー」, 茨城県立水戸第一高等学校(2013 年度実施)

[兼業]茨城県教育庁[茨城県生涯学習審議会委員および茨城県社会教育委員](2008 年 08 月～)

[非常勤講師]水戸市医師会看護専門学院[非常勤講師](2001 年 04 月～)

[非常勤講師]鯉淵学園農業栄養専門学校[非常勤講師](2000 年 10 月～)

科学研究費補助金などの受領

「学級力」を基盤として学力向上モデルの構築」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011 年 04 月～2014 年 03 月)

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 4 月
学歴・職歴	東京大学教育学研究科博士課程単位取得満期退学(2003 年) 東京大学大学院教育学研究科助手(2003 年 04 月～2005 年 06 月) 茨城大学教育学部助教授(2005 年 07 月～2007 年 03 月) 茨城大学教育学部准教授(2007 年 04 月～)
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本学生相談学会, 日本心理臨床学会, 日本コミュニティー心理学会 日本人間性心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)心理学から見る人間理解[人間と心] (専門科目)コミュニティー心理学, 総合演習/心理特別演習 II, 人間教育の心理学, 不適応問題と学校, 学校心理学, 心理学史, 健康心理学, 心理特別演習 I, 人間教育の心理学, 心理学実験, 卒業研究, (大学院科目)学校教育総合研究, 教育心理学特論, 教育情報処理特論, 学校心理学研究法特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

丸山広人「学校でのこころのケア:スクールカウンセラーの立場から」, 精神科, 24, 3, 358-362, 2014.
沼尻茜・丸山広人「いじめ場面における第三者はどのように動くのか」, 茨城大学教育学部紀要, 62, 2013.
丸山広人「子どもの経験世界に即した支援について:通常学級における高機能自閉症児の変容をとおして」, 人間性心理学研究, 30, 27-38, 2013.
丸山広人「教育の最新事情—現代教育の諸相— 第2部 現代教育の諸問題 第10章 児童・生徒の変化についての理解と対応—環境調整の基本について—」, 協同出版, 147-156, 2013.
村野井均・三輪壽二・渡部玲二郎・丸山広人「教育の最新事情—現代教育の諸相— 第1部 現代教育の最新事情 第2章 子どもの変化についての理解」, 協同出版, 16-38, 2013.

社会的活動、地域貢献など

[自治体での社会教育]第 58 回茨城県教育研究連盟研究集会助言者, 茨城県教育研究連盟(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]明秀学園日立高等学校研修会講師, 明秀日立高等学校(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]日立市立日立特別支援学校研修会講師, 日立市立日立特別支援学校(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]茨城いのちの電話養成講座講師, 茨城いのちの電話(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]茨城県高等学校教育研究会家庭部研究協議会, 茨城県高等学校教育研究会家庭部(2013 年度実施)

[自治体での社会教育]教育相談に関する臨床研修スーパーバイザー, 茨城県教育研修センター(2013 年度実施)

鹿嶋市教育振興基本計画策定委員会(2013 年度)

茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2013 年 05 月～2015 年 03 月)

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2013 年 05 月～2015 年 03 月)

[兼業]茨城北西看護専門学校[カウンセラー](2011 年 12 月～2015 年 03 月)

[兼業]茨城県教育研究連盟[助言者](2007 年 10 月～)

[兼業]茨城いのちの電話[講師](2006 年 04 月～)

人間環境教育課程	氏名 松坂 晃
----------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年4月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1979年) 筑波大学体育科学系文部技官(1979年04月～1984年03月) 茨城大学教養部講師(1986年04月～1987年03月) 茨城大学教養部助教授(1987年04月～1996年03月) 茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2000年03月) 茨城大学教育学部教授(2000年04月～) 茨城大学教育学部附属特別支援学校長(2009年04月～2012年03月) 茨城大学学生就職支援センター長(2013年04月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	North American Society of Pediatric Exercise Medicine, American College of Sports Medicine, 日本体力医学会, 日本体育学会, 日本肥満学会, 日本栄養改善学会, 日本特殊教育学会
専門分野	応用健康科学
教育研究概要	子どもの身体活動, 体力運動能力, および肥満に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)フィジカルフィットネスI(T)[身体活動], 里山ハイキング(M)[身体活動] (専門科目)運動生理学, 体育科教育法研究, 運動処方論, 現代人の健康, 小児健康運動学, 卒業研究 (大学院科目)健康生理学特論, 養護学総合研究, 研究と教育—知の往還をめぐって—

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

松坂 晃, 茂木武啓, 吉野 聡「知的障害児の運動スキルに関する予備調査」, 茨城大学教育実践研究, 32, 233-241, 2013.

松坂 晃(浅野勝己編)「運動生理学概論第2版」, 杏林書院, 65-82, 2013.

研究業績(2)学会発表など

周水冷, 松坂 晃「日本と内モンゴルの小学生の身体活動量とQOL」, 日本体力医学会関東地方会,

2012.12.8. 東京農工大学.

松坂 晃「知的障害特別支援学校児童生徒の運動スキル」, 日本特殊教育学会, 2012.9.30. つくば国際会議場.

松坂 晃, 小島佑太「知的障害児の肥満と踵骨骨強度」, 日本体力医学会, 2012.9.16. 長良川国際会議場.

松坂 晃「知的障害児の前思春期肥満と発育スパート」, 日本教育医学会, 2012.8.26. 筑波大学.

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・(株)KNT KOREA[インターンシップ受入学生の指導及び監督ほか](2013年10月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

「知的障害児童生徒の体育学習内容策定の試み」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2011年04月01日～2014年03月31日)

人間環境教育課程	氏名 関友作
----------	--------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年12月
学歴・職歴	東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程(1996年) 日本鉱業株式会社(現・JX 日鉱日石エネルギー(株))(1987年04月～1990年03月)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会, テクニカル コミュニケーター協会, 教育システム情報学会, 日本科学教育学会, 日本認知科学会
専門分野	教育工学 科学教育
教育研究概要	(キーワード) 科学技術コミュニケーション 理解しやすい説明の方法 文書の理解(紙・電子文書)
担当科目	(教養科目) 文章作成法1[コミュニケーション論], システムとしてみる社会[文明・技術系科目] (専門科目) 情報の収集と活用, データ解析法, 情報処理の基礎技術 II, 情報編集法 (大学院科目) 認知心理学演習

社会的活動、地域貢献など

日本教育工学会 国際交流委員(2012年09月～)
 日本教育工学会 日本教育工学会 国際交流委員会・委員(2012年09月～)
 日本教育工学会 日本教育工学会 編集委員会・特任編集委員(2010年03月～)

人間環境教育課程	氏名 富樫 泰一
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	筑波大学体育研究科修士課程修了(1983年) 茨城大学教育学部教授(2003年01月～) 茨城大学教育学部助教授(1996年04月～2002年12月) 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983年04月～1984年03月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985年04月～1988年03月) 茨城大学教養部講師(1988年04月～1989年03月) 茨城大学教養部助教授(1989年04月～1996年03月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会, 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	(教養科目)屋内ボールゲームⅡ(C)[身体活動]/バイオメカニクス特論, 屋内ボールゲームⅡ(C)[身体活動], カヌー(C)[身体活動] (専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, スポーツ医学, 水泳/アクアフィットネス/水泳指導法, 現代人の健康, スキー/スキー指導法, 救急処置法/運動障害救急法, 卒業研究, 野外運動指導法 (大学院科目)保健体育授業設計, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

富樫泰一「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引き(三訂版)」, 文部科学省, 7-10, 2014.

研究業績(2)学会発表など

<その他> 19th Congress of Federation International of Ski Patrol(member) (2014年03月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

＜審判員＞公益財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術競技大会(福島県・南郷スキー場)

(2014 年 03 月)

＜審査員＞公益財団法人全日本スキー連盟公認スキーパトロール検定会(岐阜県・ほおのき平スキー

場)(2014 年 02 月～2014 年 03 月)

＜その他＞公益財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術員研修会講師(2013 年 11 月～2013

年 12 月)

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]駿河台大学スポーツ教育センター[非常勤講師(健康スポーツ科目)](2005 年 04 月～2015 年 03 月)

[非常勤講師]筑波大学体育専門学郡[非常勤講師(専門基礎科目・水泳実習(臨海))](1988 年 04 月～2014 年 07 月)

赤十字救急法短期講習[茨城県社会福祉協議会](2014 年 02 月), 赤十字救急法短期講習講師[水戸市古宿東町内会](2013 年 11 月), 赤十字救急法・基礎・救急員養成・救急員継続講習講師[茨城県スキー連盟安全対策部](2013 年 10 月), 赤十字救急法短期講習講師[茨城県立水戸飯富特別支援学校](2013 年 05 月)

科学研究費補助金などの受領

「携帯端末を活用した水泳学習支援システム(iSwim)の開発」[科研費](代表)(2011 年 04 月 01 日～2014 年 03 月 31 日)

人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 8 月
学歴・職歴	筑波大学大学院医学研究科博士課程修了(1999 年) 茨城大学准教授教育学部(2007 年 04 月～) 茨城大学助教授教育学部(2001 年 10 月～2007 年 03 月) 茨城県立中央看護専門学校非常勤講師(1996 年 04 月～1999 年 03 月) 茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997 年 04 月～2000 年 03 月) 筑波大学助手社会医学系(1999 年 04 月～2001 年 09 月) 茨城キリスト教大学非常勤講師(2002 年 04 月～2011 年 03 月)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本公衆衛生学会, 日本疫学会, 日本民族衛生学会, 日本健康教育学会, 日本学校保健学会, 日本体力医学会, 日本教育保健学会
専門分野	応用健康科学 公衆衛生学・健康科学 学校保健学 健康教育 疫学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	(教養科目)フィジカルフィットネスⅡ(M)[身体活動], テニスⅡ(C)[身体活動], ボデーワークⅠ(M)[身体活動] (専門科目)保育内容の研究(健康), 健康特別演習Ⅱ, 健康運動指導実習, 体育科教育法研究, スポーツ医学, 学校保健概論, 健康特別演習Ⅰ, 陸上競技方法論, 陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技, 現代人の健康, 衛生公衆衛生学概論, 卒業研究 (大学院科目)人間システム基礎論Ⅱ, 学校保健特論Ⅰ, 保健体育授業設計, 体育科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Takakura M, Hamabata Y, Ueji M, Kurihara A, "Measurement of social capital at school and neighborhood among young people", School Health, 10, 1-8, 2014.

鈴木麻理, 渡邊将司, 上地 勝, 疾走中におけるストライド長の左右差に影響を与える要因, 陸上競技研究, 92, 15-18, 2013.

荒井信成, 森 信二, 添田孝幸, 上地 勝, 田神一美, 高専生の生活習慣及び携帯電話の使用方法とソーシャルサポートの関連, 茨城工業高等専門学校研究集報, 48, 41-47, 2013.

「最新高等保健体育指導ノート保健編3社会生活と健康」, 大修館書店, 52-67, 2013.

「最新高等保健体育指導ノート保健編1現代社会と健康」, 大修館書店, 4-19, 2013.

「現代高等保健体育指導ノート保健編3社会生活と健康」, 大修館書店, 56-79, 2013.

「現代高等保健体育指導ノート保健編1現代社会と健康」, 大修館書店, 4-19, 2013.

「最新高等保健体育」, 大修館書店, 102-105, 2013.

「現代高等保健体育」, 大修館書店, 104-109, 2013.

研究業績(2)学会発表など

荒井信成, 上地 勝, 「高校生の健康リスク行動とレジリエンスの関連の縦断的検討」(第 60 回日本学校保健学会・2013 年 11 月)

高倉 実, 宮城政也, 上地 勝, 栗原 淳, 濱畑有衣子, 中尾言里, 「沖縄の高校生の学校や近隣におけるソーシャル・キャピタルと健康関連行動」(第 60 回日本学校保健学会・2013 年 11 月)

荒井信成, 上地 勝, 「日本におけるレジリエンス研究の動向」(第 72 回日本公衆衛生学会総会・2013 年 10 月)

上地 勝, 荒井信成, 「地域在宅中高齢者の体力要因と QOL の関連についての探索的分析」(第 72 回日本公衆衛生学会総会・2013 年 10 月)

荒井信成, 上地 勝, 「アメリカの健康教育関連用語のターミノロジーの変遷」(第 22 回日本健康教育学会学術大会・2013 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

日本民族衛生学会 編集委員(2010 年 01 月～2013 年 12 月)

日本民族衛生学会 評議員(2003 年 01 月～)

日本民族衛生学会 日本民族衛生学会編集委員会委員・(2010 年 01 月～2013 年 12 月)

平成25年度 健康教育指導者養成研修 健康コース(2013 年度)

学習指導要領実施状況調査(小学校 保健領域)問題作成委員会委員(2013 年度)

科学研究費補助金などの受領

「思春期のレジリエンスと健康行動の関連についての実証的研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)
(2011 年 04 月～2014 年 03 月)

「青少年におけるソーシャル・キャピタルと健康に関する社会疫学的研究」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2012 年 04 月～2014 年 03 月)

人間環境教育課程	氏名 渡部 玲二郎
----------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程単位取得満期退学(1994年) 茨城大学教育学部教授(2011年10月～) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2007年03月) 茨城大学教育学部講師(1995年01月～1999年09月) 茨城大学教育学部准教授(2007年04月～2011年09月)
学位	博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本カウンセリング学会, 日本発達心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード)子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	(教養科目)心理学から見る人間理解[人間と心] (専門科目)心理学研究法I, 心理学文献講読I, 総合演習/心理特別演習II, 発達の理解I/発達の理解A, 心理学統計法, 心理特別演習I, 心理学研究法II, 心理学実験, 卒業研究 (大学院科目)人間関係特論/学校教育心理学特論, 発達論演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

安齋佳菜恵・岸良範・渡部玲二郎「日本における「許し」研究のこれまでと展望」, 茨城大学大学院教育学研究科学校臨床心理専攻 心理臨床研究, 6, 38-45, 2014.

村野井均・三輪壽二・渡部玲二郎・丸山広人「教育の最新事情—現代教育の諸相— 第1部 現代教育の最新事情 第2章 子どもの変化についての理解」, 協同出版, 16-38, 2013.

渡部玲二郎「教育の最新事情—現代教育の諸相— 第2部 現代教育の諸問題 第9章 教師の児童・生徒理解に関する心理検査の効用」, 協同出版, 137-146, 2013.

渡部玲二郎・小林千夏「進路決断に至るプロセスの検討—「自分に合う仕事」探しからどう抜け出すのか—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63, 415-435, 2014

社会的活動、地域貢献など

日本カウンセリング学会 日本カウンセリング学会常任編集委員(2008年04月～2017年03月)

日本教育心理学会 日本教育心理学会編集委員(2008年01月～2013年12月)
 日本カウンセリング学会 日本カウンセリング学会常任編集委員・常任編集委員(2011年04月～2017年03月)
 日本教育心理学会 日本教育心理学会編集委員・編集委員(2011年01月～2013年12月)
 社団法人茨城県看護協会「茨城県専任教員養成講習会」講師(2013年度)
 社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師(2013年度)
 「教師による小・中学生のコミュニケーション能力向上プロジェクト」(共同研究): 一般財団法人田中教育研究所・田研出版(2007年12月～2016年03月)
 茨城県立医療大学 (2013年04月～2014年09月)
 [非常勤講師]筑波大学人間学群(1998年04月～)
 [非常勤講師]茨城北西看護専門学校(2010年04月～)
 [非常勤講師]茨城県立医療大学(2013年04月～2014年09月)

科学研究費補助金などの受領

「関係性攻撃と心理・社会的適応との関連についての生涯発達心理学的研究」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2009年04月01日～2014年03月31日)

附属教育実践総合センター	氏名 五島 浩一
--------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 1 月
学歴・職歴	北浦村立北浦中学校(1984 年 04 月～1990 年 03 月) 水戸市立新荘小学校(1990 年 04 月～1994 年 03 月) 茨城大学教育学部附属小学校(1994 年 04 月～2009 年 03 月) 牛久市立下根中学校(2009 年 04 月～2011 年 03 月) 水戸市立第一中学校(2011 年 04 月～2013 年 03 月)
学位	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)教科教育、理科教育、教育方法、教師教育
担当科目	(専門科目)教師の資質と教職設計A, 教師の資質と教職設計B

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「模擬授業室の活用とその効果についての研究」, 平成 25 年度大学教育センター紀要(第 4 号), , 2014.

社会的活動、地域貢献など

日立市立諏訪小学校校舎改築事業設計プロポーザル審査委員会委員長

附属教育実践総合センター	氏名 昌子 佳広
--------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年10月
学歴・職歴	島根大学大学院教育学研究科修士課程修了(1998年03月) 茨城大学教育学部助教授(2004年10月～) 茨城大学教育学部講師(2001年04月～) 島根県公立小学校教諭(1988年04月～1991年03月) 島根大学教育学部附属小学校教諭(1991年04月～2001年03月)
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本文学協会, 表現学会, 日本読書学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会
専門分野	地方における国語教育実践史の研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法特講 II, 教職のためのパブリックスピーキング, 初等国語科教育法研究, 国語科教育法演習 I, 読書と豊かな人間性, 卒業研究 (大学院科目)言語文化総合研究, 国語科教育特論 II, 国語教育授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「国語科教育におけるICT活用」, 茨城の国語教育, 13, 10-22, 2013.
昌子佳広「文学的文章教材における「挿絵」の機能とその活用に関する考察—言葉・挿絵間の「同一性」・「非同一性」に基づいて—」, 月刊国語教育研究, , 493, 50-57, 2013.

社会的活動、地域貢献など

東海村立東海中学校 講師(2013年11月)
茨城県立太田第一高等学校 (2013年11月)
茨城県立中央看護学校 非常勤講師(2013年05月～2013年07月)
[兼業]東海村立東海中学校[講師](2013年11月)
[出前授業]茨城県立太田第一高等学校(2013年11月)

[非常勤講師]茨城県立中央看護学校〔非常勤講師〕(2013 年 05 月～2013 年 07 月)

学校臨床心理教室	氏名 正保 春彦
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年11月
学歴・職歴	筑波大学心理学研究科博士課程(1988年) 筑波大学心理学系助手(1988年06月～1990年03月) 明海大学外国語学部専任講師(1990年04月～1995年03月) 明海大学外国語学部助教授(1995年04月～2000年09月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター助教授(2000年10月～2009年09月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター教授(2009年10月～2012年3月) 茨城大学大学院教育学研究科教授(2012年4月～)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会, 日本人間性心理学会, 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング 集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	(教養科目)カウンセリングと心の世界[人間と心] (専門科目)カウンセリング特講, グループアプローチ特講, ころを育てるグループワーク, 卒業研究 (大学院科目)臨床心理基礎実習 I, 臨床心理基礎実習 II, 特別課題研究, グループアプローチ特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

正保春彦・葉山大地「基本的コミュニケーションスキル測定尺度 ikisy 作成の試み」, 茨城大学教育学部紀要, 63, 2014.

正保春彦「茨城大学心理教育相談室の歴史」, 心理臨床研究, , 6, 57-64, 2014.

社会的活動・地域貢献など

学校で使えるグループアプローチ研究会・代表(2005年04月～)

[非常勤講師]筑波大学[非常勤講師](2005年04月～)

患者会実施協力[筑波大学附属病院](年度不詳), 研修委員[茨城いのちの電話](年度不詳), 研修会講師[社会福祉法人同仁会](2007年02月～), 相談員研修会講師[水戸市教育委員会](2006年～), 調査官研修会講師[水戸家庭裁判所](2006年～), 研修会講師[日立市教育委員会](2006年08月～), 水戸教育事務所明るい学校作り指導者研修会実施協力[茨城県教育委員会](2006年05月～), 親子合宿実施支援協力[水戸家庭裁判所](2006年04月～)

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973年2月
学歴・職歴	早稲田大学文学研究科修士課程修了(1999年) 茨城県スクールカウンセラー(2004年04月～) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003年02月～) 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997年04月～2003年03月) 財団法人博慈会高等看護学院 非常勤講師(1998年04月～2003年03月) 学校法人山野学苑山野美容専門学校 非常勤講師(1999年04月～2002年03月) 学校法人日本医科大学千葉看護専門学校 非常勤講師(1999年04月～2003年03月)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会, The International Transactional Analysis Association, 日本心理臨床学会, 日本心理学会, 日本遊戯療法学会, 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践(主として Transactional Analysis (交流分析)および投射描画法テストバッテリー) (キーワード)交流分析(TA), 親子の臨床心理学的問題, 投影描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	(専門科目)学校における子ども虐待の予防と防止/情報文化特講/学校における子ども虐待の予防と防止 (大学院科目)臨床心理査定演習 I, 臨床心理実習 I, 臨床心理学講読演習, 臨床心理研究法演習, 臨床心理実習 II, 臨床心理査定演習 II, 思春期臨床心理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

トニー・ティルニー(著), 深澤道子(監訳), 金丸隆太他(分担訳)(訳)「交流分析辞典」, 実務教育出版, 2013.

研究業績(2)学会発表など

「投射描画法テスト・バッテリーの有効性その3」共著, 日本心理臨床学会, 2013年

「ワルテッグ描画テスト研究の将来について」共著，日本心理臨床学会，2013 年

社会的活動、地域貢献など

[兼業]茨城県教育委員会[スクールカウンセラー](2004 年 04 月～)

[兼業]茨城県教育委員会[幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた指導に関する専門家派遣事業専門家](2013 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

「通常学級に在籍する発達障がいをもつ児童生徒への健康支援スキル向上プログラム開発」(基盤 C, 分担)(2013～2014)

「児童福祉施設の専門職連携教育プログラムの開発」(基盤 C, 分担)(2013～2015)

学校臨床心理専攻	氏名 岸 良範
----------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年8月
学歴・職歴	
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	Master Professor of the year 2011,2012,2013(茨城大学)
所属学会	日本心理臨床学会, 日本箱庭療法学会, 日本精神分析学会, 日本学生相談学会
専門分野	臨床心理学、精神分析的な心理療法
教育研究概要	心理療法における治療機序研究
	(キーワード)間身体図式の再構築
担当科目	(教養科目)カウンセリングと心の世界[人間と心] (大学院科目)臨床心理実習 I, 臨床心理学特論 II, 臨床心理行政特論, 臨床心理実習 II, カウンセリング特論, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

多数

研究業績(2)学会発表など

多数

社会的活動、地域貢献など

日本心理臨床学会 代議員(2009年～)
日本箱庭療法学会 理事・編集委員・研修委員(2005年～2013年)
代議員 編集委員・研修委員(2013年～)

学校臨床心理専攻	氏名 守屋 英子
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1952年10月
学歴・職歴	<p>京都大学教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学(1988年)</p> <p>茨城大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻(2006年04月～)</p> <p>福田カウンセリングルーム・福田クリニック(つくば市・福田恒也院長)(1998年01月～)</p> <p>茨城県スクールカウンセラー(非常勤)(1997年04月～)</p> <p>いずみ病院(沖縄県・高江洲義英院長)(1994年12月～1997年03月)</p> <p>沖縄リハビリテーション福祉学園非常勤講師(1994年10月～1997年03月)</p> <p>京都府八幡市母子通所訓練教室(1976年04月～1980年03月)</p> <p>奈良子鹿園相談部(1977年04月～1980年03月)</p> <p>江戸川区教育研究所教育相談室(1981年02月～1993年03月)</p> <p>琉球大学教育学部非常勤講師(1994年04月～1996年09月)</p> <p>金町慈友クリニック(葛飾区・待鳥浩司院長)(2005年02月～2006年03月)</p>
学位	教育学修士[京都大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本質的心理学会, 日本描画テスト・描画療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会, 日本芸術療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	<p>臨床心理学(芸術療法、遊戯療法、子どもの問題行動に関連しての親・教師への援助、思春期から成人までの心理療法)</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)カウンセリングと心の世界[人間と心]</p> <p>(大学院科目)心理療法特論, 臨床心理学特論I, 臨床心理査定演習I, 臨床心理基礎実習I, 臨床心理基礎実習II, 特別課題研究, 箱庭療法特論</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

村上静・守屋英子「被虐待児・非行傾向のある子どもとの関わりで体験する不安・戸惑い・傷つき ―一時保護所の宿日直員(嘱託)のインタビュー分析―」, 茨城大学教育実践研究, , 32, 243-256, 2013.

研究業績(2)学会発表など

〈企画・運営〉 茨城大学戦略的地域連携プロジェクトによるシンポジウム「フレックスな学びと心のサポートーキャンパスエイドの実践からー」(企画・運営)(2014 年 02 月)

社会的活動、地域貢献など

日本芸術療法学会 評議員(2010 年 04 月～)

日本心理臨床学会 日本心理臨床学会代議員会・代議員(2013 年 05 月～2015 年 05 月)

茨城県臨床心理士会 茨城県臨床心理士会教育領域委員会委員長(2012 年 05 月～2014 年 05 月)

茨城県臨床心理士会 茨城県臨床心理士会スクールカウンセラー専門部会・部会長・スクールカウンセラー担当理事(2012 年 04 月～2014 年 03 月)

日本芸術療法学会・評議員(2009 年 04 月～2014 年 03 月)

茨城県警察少年サポートセンター サポートアドバイザー(2013 年度)

茨城県緊急スクールカウンセラー派遣事業に係るスーパーヴァイザー(2013 年度)

茨城県カウンセリングアドバイザー(2013 年度)

茨城県自殺対策委員会(2013 年度)

茨城県立水戸南高等学校 学校評議員会(2013 年度)

水戸保護観察所 研修会講師(2014 年 02 月・2014 年 03 月)

石岡市立東小学校 講演会講師(2014 年 01 月)

稲敷市教育委員会生涯学習課 研修会講師(2014 年 01 月)

高萩市教育委員会 研修会講師(2013 年 12 月)

石岡市教育委員会 研修会講師(2013 年 10 月)

茨城県警察本部生活安全部少年課 研修会講師(2013 年 10 月)

茨城町教育研究会 学校健康研究部 研修会講師(2013 年 08 月)

茨城県教育庁義務教育課 研修会講師(2013 年 08 月)

茨城県教育研修センター 10年経験者研修講座(養護教諭)講師(2013 年 07 月)

水戸家庭裁判所 研修会講師(2013 年 07 月)

茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2013 年 04 月～2014 年 03 月)

福田カウンセリングルーム 臨床心理士(2013 年 04 月～2014 年 03 月)

大学生・大学院生をキャンパスエイドとして結城第二高校に派遣。月 1 回のミーティングで学生達の指導を行う。また高校で行われるキャンパスエイド研究協議会に参加。年度末に地域教育臨床研究会を開催し、活動報告を行う。[茨城県立結城第二高校](2011 年 04 月～2014 年 03 月)

14	新開講座「英語コミュニケーション」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は小中学校英語教師、後半は Development Communication Skills)について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	2人	2人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	橋本 新一 マイスターズ	25-10015- 32144号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-104
15	新開講座「算数・数科」	算数・数科の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は算数・数科の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	60人	16人	16人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	原 勇	25-10015- 32150号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-105
16	新開講座「理科」	理科の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は理科の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	15人	15人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	平松 不二夫 大辻 永	25-10015- 32154号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-106
17	新開講座「道徳」	道徳の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は道徳の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	7人	7人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	原田 裕行 渡辺 孝志	25-10015- 32160号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-109
18	新開講座「音楽」	音楽の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は音楽の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	12人	12人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	中山 当三 青柳 智	25-10015- 32164号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-110
19	新開講座「体育」	体育の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は体育の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	23人	23人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	藤野 聡 渡邊 祥司	25-10015- 32168号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-111
20	新開講座「特別支援教育」	特別支援教育の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は特別支援教育の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	3人	3人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	工藤 朝男 藤巻 正孝 橋本 雅也	25-10015- 32172号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-112
21	新開講座「英語」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は英語の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	9人	9人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	佐藤 裕紀子	25-10015- 32176号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-113
22	新開講座「特別支援教育」	特別支援教育の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は特別支援教育の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	27人	27人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	橋本 雅也	25-10015- 32180号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-114
23	新開講座「英語」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は英語の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	30人	25人	25人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	伊木 薫子	25-10015- 32184号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-115
24	新開講座「英語」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は英語の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	20人	16人	16人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	生瀬 暹	25-10015- 32188号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-116
25	新開講座「英語」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は英語の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月15日	6,000円	60人	21人	21人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	藤木 久美 川崎 秀之	25-10015- 32192号	選択	教育学部	平成25年6月15日	C-121
26	新開講座「社会・保健・文化」	社会・保健・文化の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は社会・保健・文化の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月20日	6,000円	60人	15人	15人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	村山剛子 高橋 順	25-10015- 32145号	選択	教育学部 人文学部	平成25年6月20日	C-123
27	新開講座「英語」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は英語の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月20日	6,000円	30人	16人	16人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	藤野 聡 渡邊 祥司 小林 英典	25-10015- 32147号	選択	教育学部	平成25年6月20日	C-124
28	新開講座「英語」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は英語の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月20日	6,000円	60人	6人	6人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	藤巻 正孝 村田 博樹	25-10015- 32151号	選択	教育学部	平成25年6月20日	C-125
29	新開講座「英語」	英語の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は英語の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月20日	6,000円	30人	11人	11人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	矢島 裕介	25-10015- 32155号	選択	教育学部	平成25年6月20日	C-126
30	新開講座「道徳」	道徳の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は道徳の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月20日	6,000円	30人	3人	3人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	金子 一夫 藤 剛	25-10015- 32161号	選択	教育学部	平成25年6月20日	C-129
31	新開講座「音楽」	音楽の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は音楽の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月20日	6,000円	30人	14人	14人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	田中 徹哉	25-10015- 32165号	選択	教育学部	平成25年6月20日	C-130
32	新開講座「体育」	体育の教科指導、生徒指導、教育内部の充実を目指すこの講習は、前半は体育の指導について受講する。	小・中・高 特別 講習 教育 講習	08時	平成25年6月20日	6,000円	30人	23人	23人	16.0	9.0	講義 実習	水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年6月22日 平成25年6月10日	加藤 敏弘	25-10015- 32169号	選択	教育学部	平成25年6月20日	C-131

43	新課程特別支援 選修コース①②	特別支援教育の基礎知識、教育内容の充実を目指すこの講座は、もととして特別支援教育のための講座で、「特別支援教育の動向」について受講する。	6時間	平成25年8月23日	6,000円	30人	29人	講義	教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年8月22日 平成25年8月10日	栗川 智 新井 美晴	平25-10015- 5218号	選択	教育学部	平成25年8月22日	C-234
44	新課程特別支援 選修コース①②	道徳教育における教育内容の充実を目指すこの講座は、「道徳教育の今日動向」と題して、講義・演習の両方から、道徳教育の心身の発達と、学習指導要領に示された道徳教育の目標について講義する。	6時間	平成25年8月23日	6,000円	30人	29人	講義 演習	教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年8月22日 平成25年8月10日	生越 進	平25-10015- 5219号	選択	教育学部	平成25年8月22日	C-235
45	新課程講習(幼稚園 コース①②)	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、「幼稚園教育の動向」について受講する。	8時間	平成25年8月23日	6,000円	30人	27人	講義	教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年8月22日 平成25年8月10日	新井 美晴 寺門 南	平25-10015- 5219号	選択	教育学部	平成25年8月22日	C-236
46	新課程講習(小学校 コース①②)	義務教育を対象としたこの講習は、学校現場、生涯学習の充実を目指し、新制小学校の感想文・最近の話題、後者は保護者の関心事項について受講する。	6時間	平成25年8月23日	6,000円	40人	39人	講義	教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年8月22日 平成25年8月10日	寺門 南 藤原 花恋	平25-10015- 5218号	選択	教育学部	平成25年8月22日	C-237

平成25年四期

	講義の名称	講義の概要	主文 受講 対象者	時間数	講習日	受講料	定員	受講者数	授業 形態	対象職種	開始 時間 (1日目)	終了 時間 (1日目)	開始 時間 (2日目)	終了 時間 (2日目)	修了 時間 (2日目)	講義場所	受講者募集期間	担当講師	担当番号	科目 区分	備考	講習日	期講終了日	
1	教員の最新事情	「教職」についての若手・子どもの変化についての理解「教職」教育の動向について、理解「学級の体制」における課題「教職」教育の動向について、理解「学級の体制」における課題「教職」教育の動向について、理解「学級の体制」における課題	全教諭 全教諭 全教諭	12時間	平成25年10月24日 平成25年10月27日	12,000円	200人	46人	講義 演習	教諭 養護教諭	9:00	16:15	9:00	17:25		水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	小山 智哉 佐藤 理 野野村 浩二 三橋 浩二 丸山 広二 加藤 雅英 杉本 美子	平25-10015- 00279号	必修	教育学部	平成25年10月26日	平成25年10月27日	A-301
2	新課程講習 1	本学教育課程(心理)の研究・教育に携わっている56名の講義者から、心理・学習・発達・教育課程の動向について講義する。	全教諭 養護教諭	6時間	平成25年12月25日	6,000円	25人	9人	講義 演習	教諭 養護教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	藤 良嗣 佐藤 理 野野村 浩二	平25-10015- 52110号	選択	教育学部	平成25年12月25日	平成25年12月25日	B-300
3	新課程講習 2	本学教育課程で、道徳教育の研究・教育に携わっている26名の講義者から、道徳教育の動向について講義する。	全教諭 養護教諭	6時間	平成25年12月25日	6,000円	30人	27人	講義 演習	教諭 養護教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	藤 良嗣 佐藤 理 野野村 浩二	平25-10015- 52113号	選択	教育学部	平成25年12月25日	平成25年12月25日	B-302
4	新課程講習 3	本学教育課程で、教育実践の動向について講義する。	全教諭 養護教諭	6時間	平成25年12月25日	6,000円	40人	21人	講義 演習	教諭 養護教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	生越 進	平25-10015- 52119号	選択	教育学部	平成25年12月25日	平成25年12月25日	B-303
5	新課程講習 5	本学教育課程で、道徳教育の研究・教育に携わっている講師(今、ここで)の動向について、さまざまなグループワークを通して学習を行う。	全教諭 養護教諭	6時間	平成25年12月25日	6,000円	24人	5人	講義 演習	教諭 養護教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	正保 希聖	平25-10015- 52119号	選択	教育学部	平成25年12月25日	平成25年12月25日	B-305
6	新課程講習 9	前半は、本学教育課程で運動・生活・学習の研究・教育に携わっている講師が、子どもの発達・運動・生活・学習の動向について講義する。後半は、本学教育課程で道徳教育の研究・教育に携わっている講師が、道徳教育の動向について講義する。	全教諭 養護教諭	6時間	平成25年12月25日	6,000円	30人	11人	講義 演習	教諭 養護教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	佐藤 理 上島 勝	平25-10015- 52124号	選択	教育学部	平成25年12月25日	平成25年12月25日	B-309
7	新課程講習(特別支 援コース①②)	特別支援教育の基礎知識、教育内容の充実を目指すこの講習は、もととして特別支援教育のための講習で、「特別支援教育の動向」について受講する。	特別支援 教育者	6時間	平成25年12月25日	6,000円	30人	29人	講義	教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	栗川 智 新井 美晴	平25-10015- 52184号	選択	教育学部	平成25年12月26日	平成25年12月26日	C-314
8	新課程講習(道徳・ 特別コース①②)	特別支援教育における道徳教育、教育内容の充実のための講習は、もととして特別支援教育のための講習で、「特別支援教育の動向」について受講する。	特別支援 教育者	6時間	平成25年12月25日	6,000円	40人	9人	講義	教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	杉本 美子	平25-10015- 5219号	選択	教育学部	平成25年12月26日	平成25年12月26日	C-315
9	新課程講習(幼稚園 コース①②)	幼稚園教育における幼児指導、教育内容の充実のための講習は、もととして特別支援教育のための講習で、「特別支援教育の動向」について受講する。	特別支援 教育者	6時間	平成25年12月25日	6,000円	30人	9人	講義	教諭	9:00	16:40				水戸キャンパス (茨城県水戸市)	平成25年9月22日 平成25年9月10日	生越 進	平25-10015- 5219号	選択	教育学部	平成25年12月26日	平成25年12月26日	C-316

